

漁海況情報 第112号

平成18年4月26日発行

発行所：石川県水産総合センター

石川県鳳珠郡能登町字宇出津新港3丁目7番地

電話 0768-62-1324 ファックス 0768-62-4324

本県周辺海域の水深50m水温は、外浦で“平年並み”、富山湾で“やや低め”。

定置網でカタクチイワシ、底びき網でハタハタ、まき網でマアジ、刺網でフクラギ、釣りでガンドが最も多く漁獲された。

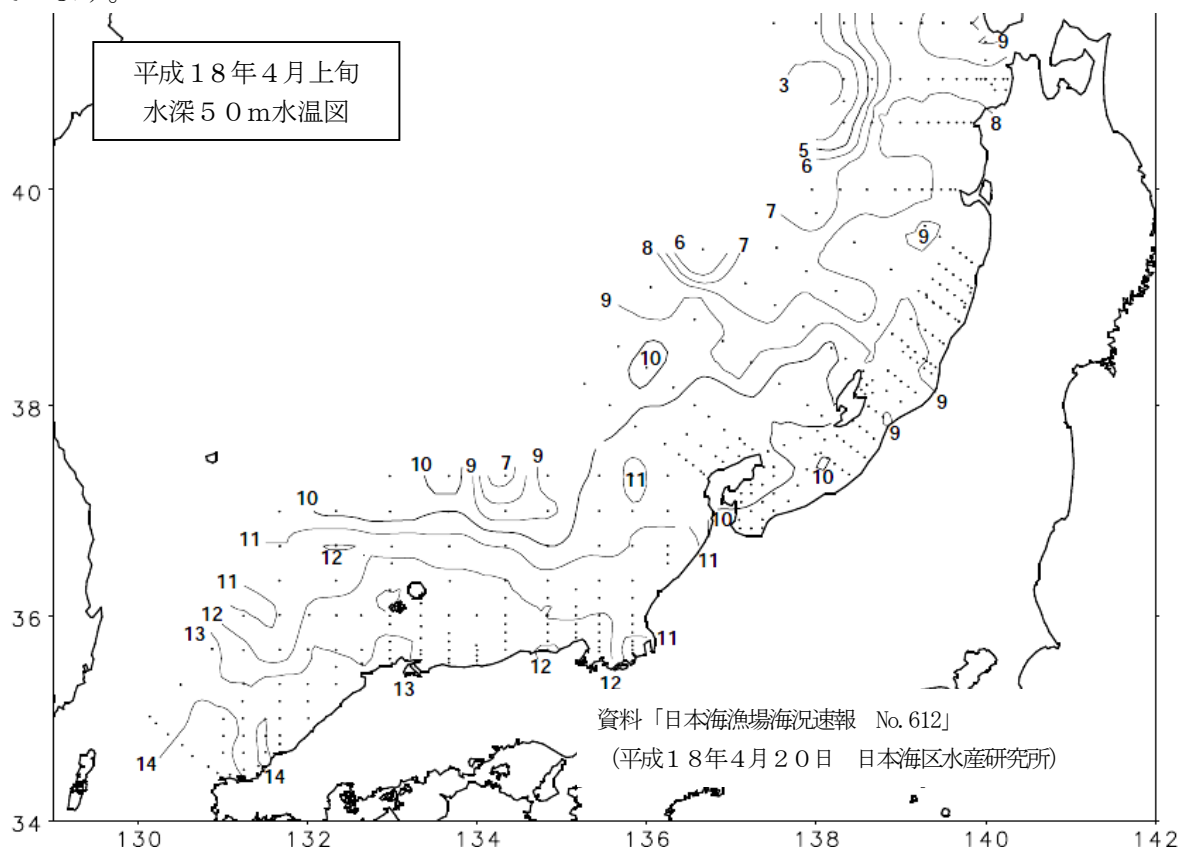
水温の状況 — 定線観測結果 —

本県周辺の水深50m水温は9～11℃台を示し、外浦海域で“平年並み”、富山湾で“やや低め”（0～1℃低め）の水温分布を示しています。

表面水温は10～11℃台を示し、外浦海域及び富山湾で“平年並み”の水温分布を示しています。

3月の水塊配置と比べると、若狭湾沖の冷水域の張り出しは引き続き接岸しており、佐渡沖の冷水域は能登半島から離岸する傾向にあります。

対馬暖流域全体の水深50m水温分布を見ると、山陰・若狭沖や佐渡沖には平年と比べて低めの海域が広がっています。山陰から能登半島にかけての沿岸域は平年並みの海域が広がっています。



漁獲の動向　－ 3月の漁獲量から－

【定置網】

主要10港合計は**1,044トン**で、**平年（過去10か年の平均）をやや下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はカタクチイワシで428トンと平年をやや下回りました。

スルメイカは222トンで平年をやや上回りました。

マアジは168トンで平年をかなり上回りました。

【底びき網】

主要10港合計は**629トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はハタハタで203トンと平年をやや上回りました。

アカガレイは115トンで平年並でした。

ニギスは112トンで平年並でした。

【まき網】

主要10港合計は**990トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はマアジで373トンと平年をかなり下回りました。

マサバは329トンで平年をかなり下回りました。

ブリは124トンで平年をかなり上回りました。

【刺網】

主要10港合計は**174トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はフクラギで62トンと平年をやや下回りました。

ガンドは20トンで平年並でした。

ハツメは9トンで平年をやや上回りました。

【釣り】

釣りの主要10港合計は**19トン**で、**平年をやや上回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はガンドで5トンと平年をかなり上回りました。

いか釣り（小型）の主要10港合計は**3トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

漁獲量統計

定置網漁業(加賀市、漁連、南浦、石川とぎ、輪島市、蛸島、宝立町、内浦、能都町、七尾地区)

	3月漁獲量(トン)			累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延続数	1,364	1,345 →	1,465 →	9,573	11,304 →	
カクチイワシ	428	49 △△△	580 ▼	503	858 ▼	
スルメイカ	222	115 △	180 △	1,231	538 △△	
マアジ	168	51 △△△	79 △△	1,176	931 △	
ウルメイワシ	42	133 ▼▼	93 ▼▼	94	316 ▼▼	
マサバ	21	76 ▼▼	47 ▼▼	185	304 ▼	
サワラ	20	38 ▼	15 △	153	112 △	
マイワシ	15	14 →	234 ▼▼	17	496 ▼▼	
ガント	14	8 △	3 △△△	330	45 △△△	
ウマヅラハギ	13	10 △	24 ▼	261	592 ▼▼	
アンコウ	7	4 △	3 △△	19	11 △	
ヤリイカ	6	11 ▼	10 ▼	18	53 ▼▼	
ブリ	3	1 △△△	13 ▼▼	262	317 ▼	
マダイ	3	1 △	2 △	66	40 △	
マダラ	2	2 →	2 ▼	11	10 →	
ヒラメ	1	1 △	0 △△△	10	5 △△	
その他	80	83 →	96 →	2,055	2,599 ▼	
合計	1,044	594 △	1,380 ▼	6,383	7,222 →	
1隻当たり	0.77	0.44 △	0.94 ▼	0.67	0.64 →	

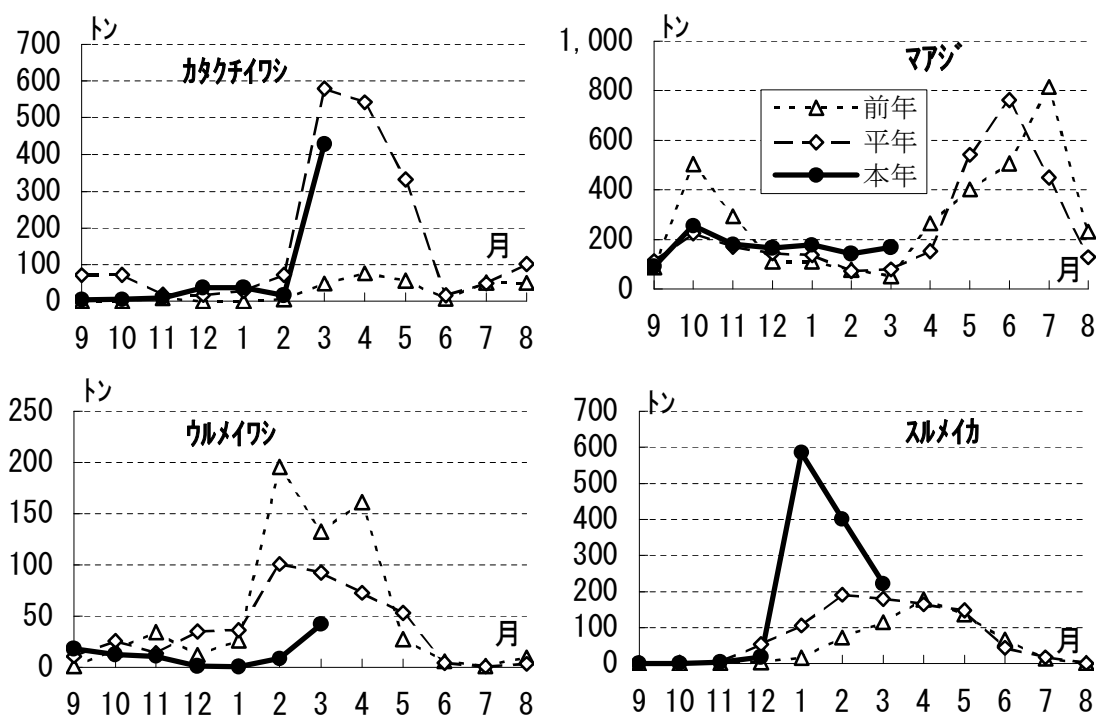
平年値は過去10年平均

単位：トン

他府県漁獲状況 (3月：定置網)

	アジ類	ウルメイワシ	カクチイワシ	マイワシ	マサバ	サワラ	ヤリイカ	スルメイカ
舞鶴	251.6	26.7	60.0	1.9	54.8	18.1	0.7	39.7
氷見	6.1	1.7	329.7	19.7	5.5	0.0	14.4	111.3

各府県水試調べによる(速報値)



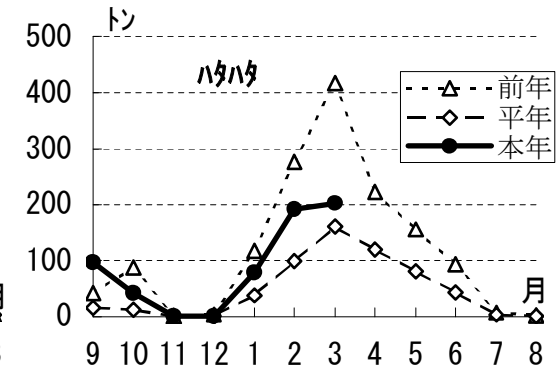
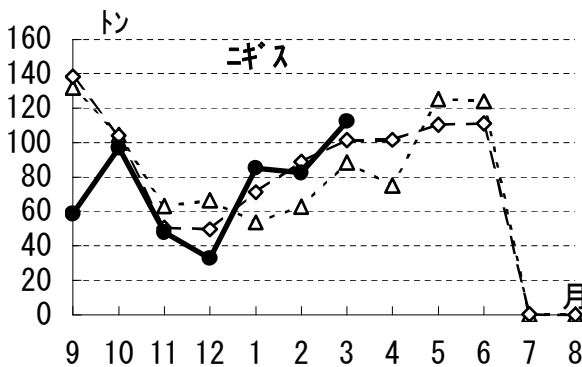
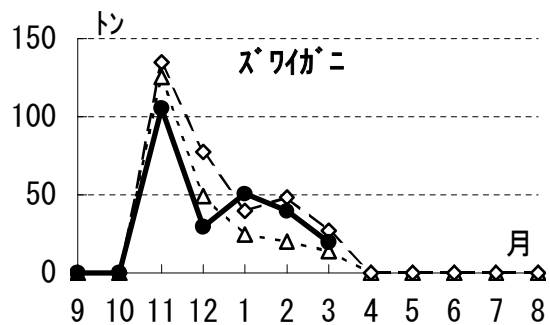
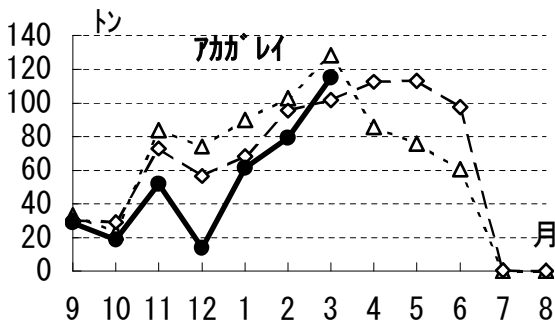
定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

(加賀市、漁連、南浦、石川とぎ、輪島市、蛸島、宝立町、内浦、能都町、七尾地区)

底びき網漁業(加賀市、漁連、南浦、石川とぎ、輪島市、蛸島、宝立町、内浦、能都町、七尾地区)

	3月漁獲量(トン)				累計漁獲量(9月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
延隻数	1,169	1,177	→	1,503	▼	7,859	9,183	→
ハタハタ	203	417	▼▼	161	△	612	326	△
アカガレイ	115	128	→	102	→	369	454	▼
ニギス	112	89	△	102	→	517	603	→
スワイガニ	20	14	△	27	▼	245	328	▼
アンコウ	19	13	△	30	▼	191	253	▼
ソウハチ	13	19	▼	16	→	42	62	▼
ヒレグロ	12	11	→	13	→	58	55	→
アマビ	10	9	→	29	▼▼	245	275	→
ミスガニ	9	6	△	14	▼	40	52	▼
マダラ	7	5	△	9	▼	46	44	→
ガスビ	6	6	→	18	▼▼	75	113	▼
ホタルイカ	6	16	▼▼	22	▼▼	19	65	▼▼
マアジ	6	2	△△	31	▼▼	20	57	▼▼
ホッケ	6	21	▼▼	18	▼▼	53	76	▼
ヤナギムシガレイ	5	3	△	5	→	52	67	▼
ムシガレイ	5	3	△	7	▼	53	66	▼
ウマヅラハギ	3	6	▼▼	8	▼▼	13	42	▼▼
マコガレイ	2	2	→	3	▼	12	14	→
ヒラメ	2	3	→	2	→	8	9	→
ハツメ	2	0	△△△	4	▼	27	41	▼
その他	65	81	▼	148	▼▼	685	1,005	▼
合計	629	853	▼	764	▼	3,381	3,968	→
1隻当たり	0.54	0.72	▼	0.51	→	0.43	0.43	→

平年値は過去10年平均



底びき網における主要魚種別漁獲量の経月変化

(加賀市、漁連、南浦、石川とぎ、輪島市、蛸島、宝立町、内浦、能都町、七尾地区)

まき網漁業(加賀市、漁連、南浦、石川とぎ、輪島市、蛸島、宝立町、内浦、能都町、七尾地区)

	3月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
延隻数	89	13	△△△	41	△△	206	110	△
マヅ	373	166	△△	809	▼▼	971	1,446	▼
マサバ	329	134	△△	883	▼▼	1,498	2,538	▼
ブリ	124	0	—	5	△△△	129	7	△△△
ガント	105	0	△△△	11	△△△	178	14	△△△
フナギ	43	0	△△△	11	△△△	76	30	△△
その他	289	58	△△△	498	▼	413	1,527	▼▼
合計	990	359	△△	2,189	▼▼	2,882	5,511	▼
1隻当たり	11	28	▼▼	53	▼▼	14	50	▼▼

平年値は過去11年平均

その他の漁業(加賀市、漁連、南浦、石川とぎ、輪島市、蛸島、宝立町、内浦、能都町、七尾地区)

	3月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
刺網漁業								
延隻数	2,292	1,880	△	2,962	▼	5,776	6,303	→
フナギ	62	57	→	85	▼	168	171	→
ガント	20	4	△△△	23	→	57	38	△
ハツメ	9	0	△△△	5	△	20	16	△
アカガレイ	8	12	▼	7	△	37	29	△
ウスバル	6	1	△△△	31	▼▼	7	32	▼▼
ミスダコ	5	4	→	6	▼	11	18	▼
マダラ	4	6	▼	3	△	157	46	△△△
マダイ	3	2	△	5	▼	11	7	△
マガレイ	3	3	→	4	→	7	9	▼
メダイ	3	11	▼▼	9	▼▼	14	35	▼▼
その他	50	50	→	96	▼	144	195	▼
合計	174	150	→	272	▼	631	597	→
1隻当たり	0.08	0.08	→	0.09	▼	0.11	0.09	→
釣り								
延隻数	637	297	△△	498	△	1,483	1,506	→
ガント	5	0	—	1	△△△	5	1	△△△
ウスバル	3	2	△	6	▼	7	11	▼
その他	14	5	△△	12	△	47	46	→
合計	19	5	△△△	12	△	51	46	→
1隻当たり	0.03	0.02	△	0.02	→	0.03	0.03	→
イカ釣り(小型)								
延隻数	37	71	▼	74	▼▼	164	217	▼
スルメカ	3	6	▼	9	▼▼	23	42	▼
1隻当たり	0.08	0.08	→	0.12	▼	0.14	0.19	▼

サヨリ船びき網(蛸島・内浦・宝立町)								
延隻数	117	118	→	199	▼	117	199	▼
サヨリ	7	10	▼	12	▼	7	12	▼
1隻当たり	0.06	0.09	▼	0.06	→	0.06	0.06	→

※表(比率)の見方

▼▼	~ 50%	△	120~199%
▼	51~ 83%	△△	200~299%
→	84~119%	△△△	300~

発行所：石川県水産総合センター

石川県鳳珠郡能登町字宇出津新港3丁目7番地

電話 0768-62-1324 ファックス 0768-62-4324

本県周辺海域の水深50m水温は、加賀海域で“平年並み”から“かなり低め”、能登半島外浦海域では“平年並み”、富山湾で“平年並み”から“やや低め”。

定置網でカタクチイワシ、底びき網でハタハタ、まき網でガンド、刺網でウスメバル、釣りでガンドが最も多く漁獲された。

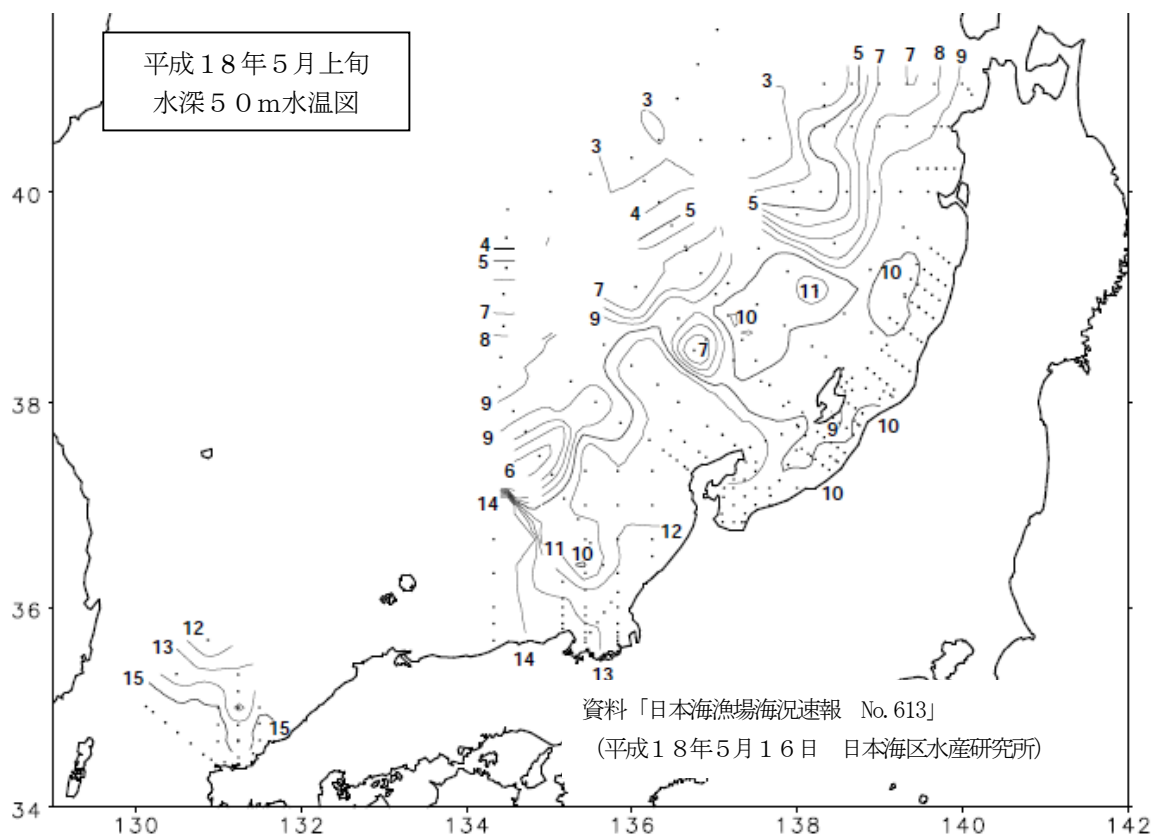
1 水温の状況 — 一定線観測結果 —

本県周辺の水深50m水温は10～12℃台を示し、加賀海域では“平年並み”から“かなり低め”（0～1℃低め）、能登半島外浦海域では“平年並み”、富山湾では“平年並み”から“やや低め”（0～1℃低め）の水温分布を示しています。

表面水温は11～12℃台を示し、加賀海域・能登半島外浦海域では“やや低め”から“かなり低め”（1～2℃低め）、富山湾では“かなり低め”（0～1℃低め）の水温分布を示しています。

4月の水塊配置と比べると、若狭湾沖の冷水域の張り出しは引き続き接岸しており、佐渡沖の冷水域も能登半島に接岸する傾向にあります。

対馬暖流域全体の水深50m水温分布を見ると、若狭沖や佐渡島周辺には平年と比べて低めの海域が広がっています。



2 漁獲の動向 - 4月の漁獲量から -

【定置網】

主要10港合計は**2,111トン**で、**平年（過去10か年の平均）をやや上回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はカタクチイワシで1,579トンと平年をかなり上回りました。

マイワシは141トンで平年をやや下回りました。

スルメイカは129トンで平年をやや下回りました。

【底びき網】

主要10港合計は**731トン**で、**平年並の漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はハタハタで294トンと平年をかなり上回りました。

ニギスは114トンで平年並でした。

アカガレイは84トンで平年をやや下回りました。

【まき網】

主要10港合計は**1,052トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はガンドで926トンと平年をかなり上回りました。

ブリは124トンで平年をかなり上回りました。

【刺網】

主要10港合計は**119トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はウスメバル（やなぎばちめ）で25トンと平年をやや下回りました。

フクラギは13トンで平年をかなり下回りました。

ミズダコは6トンで平年並でした。

【釣り】

釣りの主要10港合計は**37トン**で、**平年をやや上回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はガンドで16トンと平年をかなり上回りました。

いか釣り（小型）の主要10港合計は**29トン**で、**平年をやや上回る漁獲量**でした。

小型いか釣り漁業の水揚げ状況（5月の速報値）

石川県沖ではスルメイカの盛漁期を迎えており、主な陸揚げ港における5月1日から23日までの漁獲量は前年の122%と好漁が続いています。

銘柄別では30入が主体となっていますが、前年に比べ40入以上の占める比率が高くなっています。

銘柄別漁獲量の構成比（単位：%）

	20入	25入	30入	40入	50入	その他	計
平成18年	4	23	39	7	16	11	100
平成17年	9	36	40	0	5	10	100

石川県内主要港の速報値(日報)については以下のホームページで確認することができます。

<http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm>

3 「平成18年度日本海マアジ長期漁況予報」の概要

5月17日に日本海区水産研究所から日本海マアジ資源の今後の見通しが発表されました。

これによると、今年5月～9月の日本海西部海域への来遊量は、1歳魚（尾叉長10cm台後半の小アジ）が前年を下回り、0歳魚（初夏以降に獲れる豆アジ）が前年並み、全体の来遊量は前年を下回ると予想されています。

日本海中部以北については1歳魚を中心に前年並みと予想されています。

漁獲量統計

定置網漁業(加賀市、漁連、南浦、石川とぎ、輪島市、蛸島、宝立町、内浦、能都町、七尾地区)

	4月漁獲量(トン)				累計漁獲量(9月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
延続数	1,491	1,727	→	1,783	→	11,064	13,087	→
カタクチイワシ	1,579	77	△△△	542	△△	2,081	1,400	△
マイワシ	141	14	△△△	215	▼	158	711	▼▼
スルメイカ	129	178	▼	165	▼	1,360	703	△
マアジ	56	264	▼▼	146	▼▼	1,232	1,077	→
マサバ	46	289	▼▼	63	▼	232	367	▼
ウルメイワシ	30	161	▼▼	73	▼▼	124	389	▼▼
サワラ	18	36	▼	56	▼▼	172	168	→
マダイ	8	13	▼	22	▼▼	75	62	△
アンコウ	4	3	△	2	△	23	13	△
ウマヅラハギ	3	17	▼▼	45	▼▼	264	637	▼▼
サクラマス	3	3	→	2	△	5	4	△
クロマグロ	2	0	--	0	△△△	7	2	△△△
メジ	2	0	△△△	1	△	63	72	→
ヒラメ	2	2	→	1	△	12	6	△△
ブリ	2	2	▼	9	▼▼	264	326	▼
その他	87	97	→	151	▼	2,686	3,097	→
合計	2,111	1,153	△	1,485	△	8,494	8,707	→
1隻当たり	1.42	0.67	△△	0.83	△	0.77	0.67	→

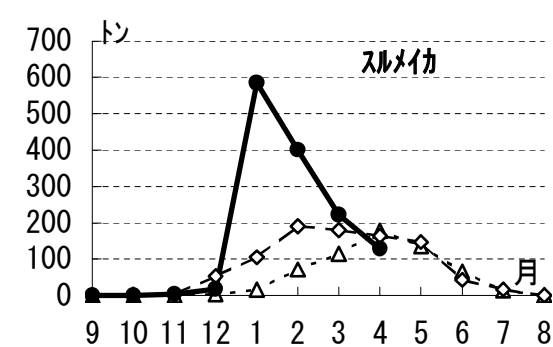
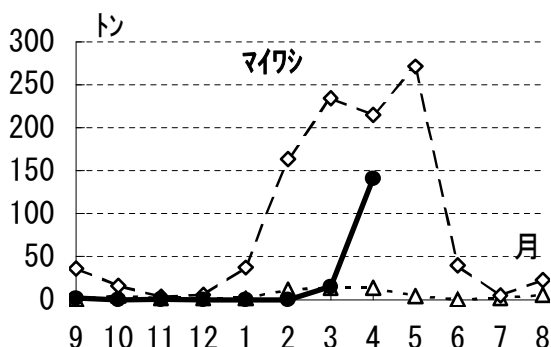
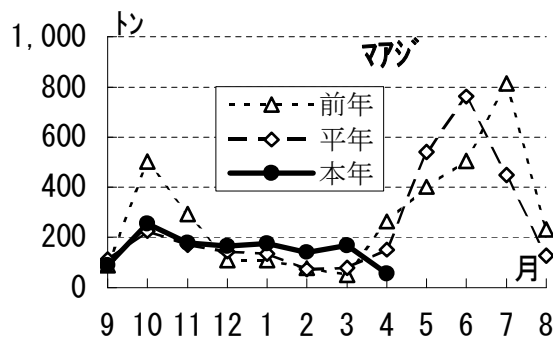
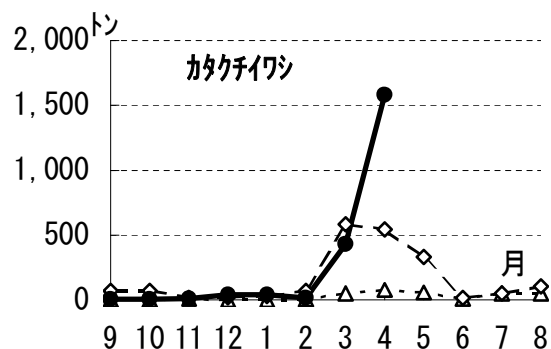
平年値は過去10年平均

他府県漁獲状況 (4月:定置網)

単位:トン

	アジ類	ウルメイワシ	カタクチイワシ	マイワシ	マサバ	サワラ	スルメイカ	クロマグロ
舞鶴	134.6	0.0	473.6	20.9	22.3	43.0	6.9	3.3
氷見	0.4	3.0	405.4	57.4	3.0	0.0	60.4	0.0

各府県水試調べによる(速報値)



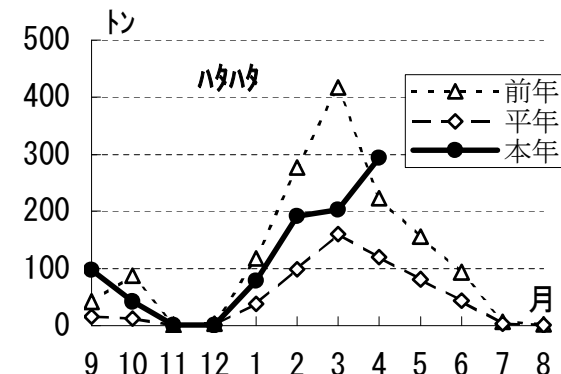
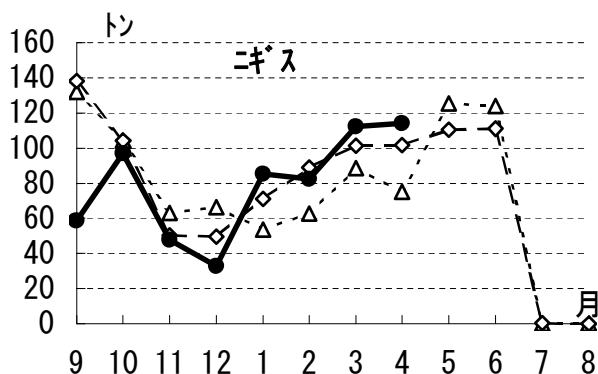
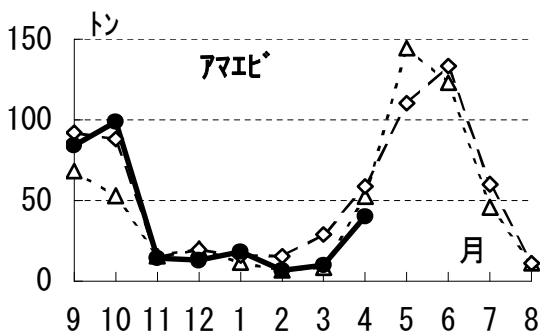
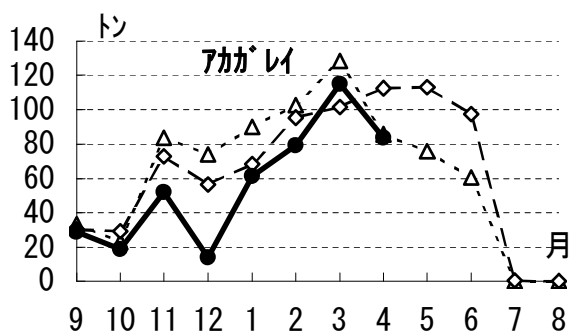
定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

(加賀市、漁連、南浦、石川とぎ、輪島市、蛸島、宝立町、内浦、能都町、七尾地区)

底びき網漁業(加賀市、漁連、南浦、石川とぎ、輪島市、蛸島、宝立町、内浦、能都町、七尾地区)

	4月漁獲量(トン)				累計漁獲量(9月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
延隻数	1,341	1,274	→	1,659	▼	9,200	10,842	→
ハタハタ	294	223	△	119	△△	905	445	△△
ニギス	114	75	△	102	→	631	705	→
アカガレイ	84	86	→	113	▼	453	566	▼
アマビ	40	52	▼	59	▼	285	334	→
ホタルカ	29	0	△△△	3	△△△	47	68	▼
アンコウ	18	17	→	22	→	210	275	▼
ソウハチ	14	13	→	16	→	56	78	▼
ガスビ	11	12	→	26	▼▼	86	139	▼
ヒレグロ	10	11	→	15	▼	68	70	→
ムシガレイ	7	7	→	10	▼	61	76	▼
ホッケ	7	21	▼▼	26	▼▼	60	102	▼
ヤナギムシガレイ	7	8	→	9	▼	59	76	▼
ハツメ	6	6	→	8	▼	33	48	▼
マダラ	5	9	▼	10	▼▼	51	54	→
マダイ	4	2	△△	4	→	24	39	▼
キダイ	3	5	▼	4	→	26	32	▼
マガレイ	3	7	▼▼	9	▼▼	44	78	▼
ヒラメ	3	5	▼	2	△	11	11	→
ウマツラハギ	3	3	→	6	▼	16	48	▼▼
マヅ	2	7	▼▼	17	▼▼	22	75	▼▼
その他	67	103	▼	150	▼▼	964	1,432	▼
合計	731	663	→	711	→	4,112	4,679	→
1隻当たり	0.55	0.52	→	0.43	△	0.45	0.43	→

平年値は過去10年平均



底びき網における主要魚種別漁獲量の経月変化

(加賀市、漁連、南浦、石川とぎ、輪島市、蛸島、宝立町、内浦、能都町、七尾地区)

まき網漁業(加賀市、漁連、南浦、石川とぎ、輪島市、蛸島、宝立町、内浦、能都町、七尾地区)

	4月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
延隻数	37	23	△	43	→	243	153	△
ガント	926	0	△△△	2	△△△	1,104	17	△△△
ブリ	124	0	—	3	△△△	253	10	△△△
マダイ	1	2	▼	11	▼▼	1	16	▼▼
その他	2	670	▼▼	1,572	▼▼	2,577	7,062	▼▼
合計	1,052	670	△	1,577	▼	3,934	7,088	▼
1隻当たり	28	29	→	37	▼	16	46	▼▼

平年値は過去11年平均

その他の漁業(加賀市、漁連、南浦、石川とぎ、輪島市、蛸島、宝立町、内浦、能都町、七尾地区)

	4月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
刺網漁業								
延隻数	2,696	3,263	▼	4,096	▼	8,472	10,399	▼
ウスハル	25	41	▼	45	▼	32	77	▼▼
フクギ	13	116	▼▼	60	▼▼	181	232	▼
ミスダコ	6	8	▼	7	→	17	25	▼
マヅ	4	5	→	4	→	15	11	△
ガント	4	21	▼▼	24	▼▼	61	62	→
マダイ	4	4	→	6	▼	14	13	→
ヒラメ	3	4	→	3	→	6	5	→
ウマヅラキ	3	6	▼▼	7	▼▼	28	19	△
アカガレイ	3	3	▼	3	→	40	32	△
アムツ	2	1	△	1	△△	6	2	△△
その他	52	77	▼	113	▼▼	350	392	→
合計	119	287	▼▼	274	▼▼	751	871	→
1隻当たり	0.04	0.09	▼	0.07	▼	0.09	0.08	→
釣り								
延隻数	641	682	→	730	→	2,124	2,236	→
ガント	16	6	△△	8	△△	21	8	△△
ブリ	5	1	△△△	3	△	6	4	△
フクギ	3	8	▼▼	4	▼	6	7	→
ウスハル	3	3	→	5	▼	10	15	▼
その他	21	20	→	22	→	68	67	→
合計	37	26	△	30	△	88	76	→
1隻当たり	0.06	0.04	△	0.04	△	0.04	0.03	△
イカ釣り(小型)								
延隻数	51	85	▼	105	▼▼	215	321	▼
ルメカ	29	10	△△△	15	△	53	58	→
1隻当たり	0.58	0.11	△△△	0.15	△△△	0.25	0.18	△

サヨリ船びき網(蛸島・内浦・宝立町)								
延隻数	76	196	▼▼	221	▼▼	193	420	▼▼
サヨリ	3	14	▼▼	10	▼▼	10	23	▼▼
1隻当たり	0.04	0.07	▼	0.05	→	0.05	0.05	→

※表(比率)の見方

▼▼ ~ 50%
▼ 51~83%
→ 84~119%

△ 120~199%
△△ 200~299%
△△△ 300~

石川県水産総合センター漁海況情報 第114号

電話：0768-62-1324 http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm

本県周辺海域の水深50m水温は、加賀海域・能登半島外浦海域で“平年並み”から“やや高め”、富山湾で“平年並み”から“やや低め”。定置網でカタクチイワシ、底びき網でハタハタが最も多く漁獲された。小型いか釣りは平年をかなり上回る漁獲量となった。

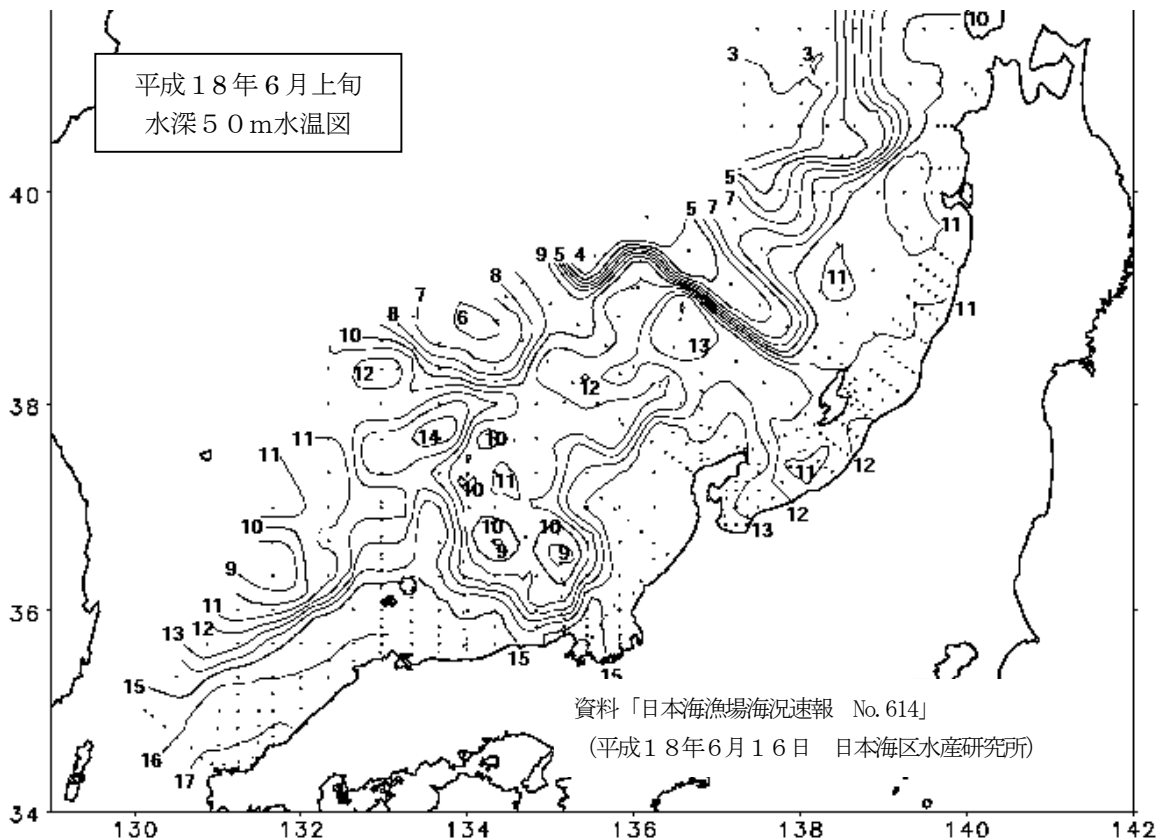
1 水温の状況 一定線観測結果

本県周辺の水深50m水温は12～14℃台を示し、加賀海域・能登半島外浦海域では“平年並み”から“やや高め”(0～1℃高め)、富山湾では“平年並み”から“やや低め”(0～1℃低め)の水温分布を示しています。

表面水温は16～17℃台を示し、加賀海域・能登半島外浦海域では“やや低め”(0～1℃低め)、富山湾では“やや低め”(0～1℃低め)の水温分布を示しています。

若狭湾沖の冷水域の張り出しは先月と同じ位置で引き続き接岸しており、佐渡沖の冷水域は先月に比べ東へ移動し能登半島から離れる傾向にあります。

対馬暖流域全体の水深50m水温分布を見ると、山陰沖から若狭沖、佐渡島北方には平年と比べてかなり低めの海域が広がっています。



2 漁獲の動向 — 5月の漁獲量から —

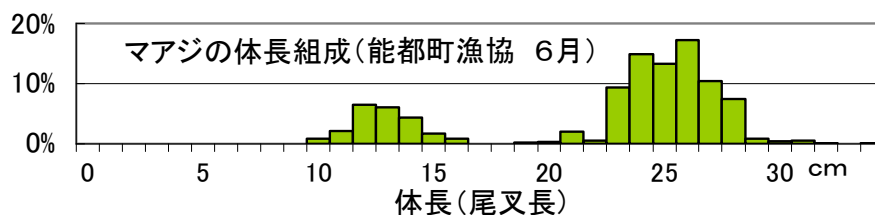
【定置網】

主要10港合計は**2,357トン**で、**平年（過去10か年の平均）並の漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はカタクチイワシで813トンと、4月に続き平年をかなり上回りました。

マアジは497トンで平年並でした。魚体サイズは例年より大型の占める割合が高くなっています。

スルメイカは286トンで平年をやや上回りました。



【底びき網】

主要10港合計は**826トン**で、**平年並の漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はハタハタで217トンと平年をかなり上回りました。

アマエビは106トンで平年並でした。

ニギスは97トンで平年並でした。

【まき網】

主要10港合計は**128トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はフクラギで49トンと平年をやや上回りました。

マダイは25トンで平年をかなり下回りました。

【刺網】

主要10港合計は**170トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はウスメバル（やなぎばちめ）で28トンと平年をやや下回りました。

ウマヅラハギは13トンで平年をやや下回りました。

サザエは12トンで平年をやや下回りました。

【釣り】

釣りの主要10港合計は**66トン**で、**平年並の漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はガンドで28トンと平年をかなり上回りました。

いか釣り（小型）の主要10港合計は**2,960トン**で、**平年をかなり上回る漁獲量**でした。

漁況日報（携帯版）の提供について

当センターのホームページでは「石川県内主要港の漁況日報」を提供していますが、6月より携帯電話からも確認することができるようになりましたのでご利用下さい。

<アクセス方法>

その1. 携帯電話から、下記アドレスを入力してアクセスしてください。

<http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.files/p-index.htm>

その2. QRコード読み取り機能付き携帯電話をお持ちの方は、右のコードを読み取ると上記サイトにアクセスできます。



漁獲量統計 (加賀市、漁連、南浦、石川とぎ、輪島市、蛸島、宝立町、内浦、能都町、七尾地区)

定置網漁業

	5月漁獲量(トン)			累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延統数	2,146	2,192 →	2,240 →	13,210	15,327 →	
カタチイワシ	813	56 △△△	332 △△	2,894	1,732 △	
マアジ	497	402 △	543 →	1,730	1,620 →	
スルメイカ	286	137 △△	147 △	1,646	850 △	
ガント	194	73 △△	29 △△△	525	78 △△△	
マサバ	129	1,078 ▼▼	168 ▼	361	535 ▼	
ブリ	85	45 △	44 △	349	370 →	
マダイ	49	74 ▼	79 ▼	123	141 →	
フクラギ	38	111 ▼▼	81 ▼▼	377	775 ▼▼	
マイワシ	36	4 △△△	271 ▼▼	194	982 ▼▼	
ウマヅラハギ	33	23 △	69 ▼▼	297	706 ▼▼	
サワラ	13	22 ▼	22 ▼	185	190 →	
トビウオ類	11	18 ▼	8 △	12	11 →	
クロマグロ	7	6 →	3 △△	14	4 △△△	
ウルメイワシ	6	27 ▼▼	53 ▼▼	130	442 ▼▼	
ヒラメ	4	4 →	2 △△	16	8 △△	
その他	162	228 ▼	176 →	2,015	2,296 →	
合計	2,357	2,304 →	2,026 →	10,851	10,733 →	
1隻当たり	1.10	1.05 →	0.90 △	0.82	0.70 →	

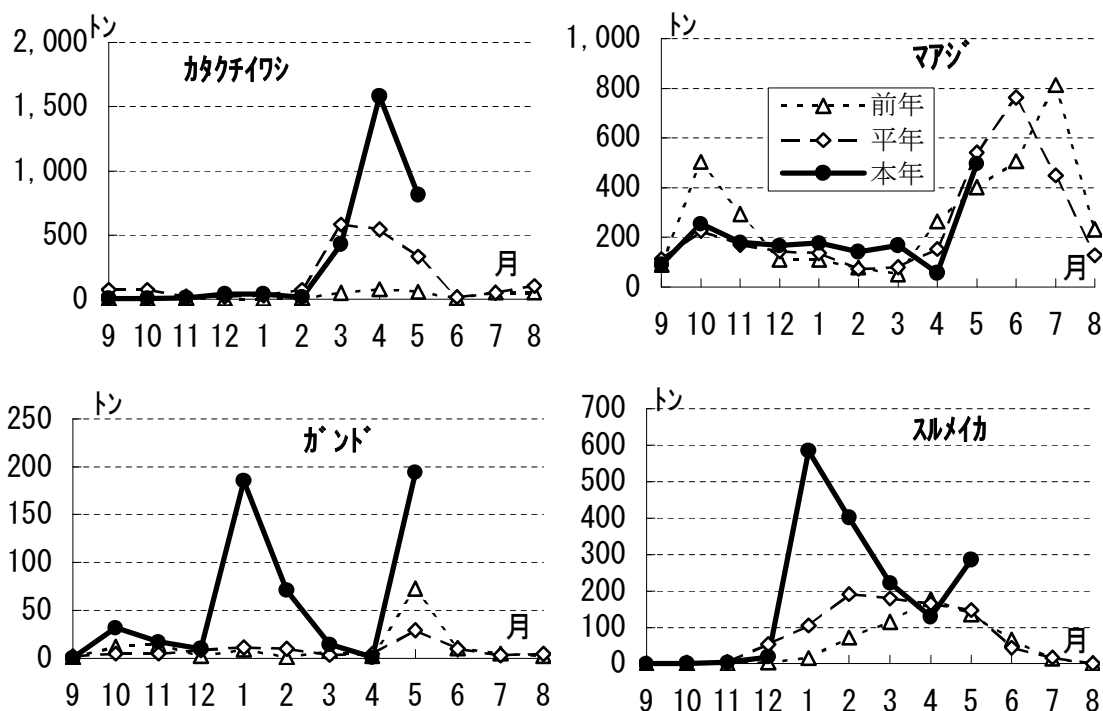
平年値は過去10年平均

単位：トン

他府県漁獲状況 (5月：定置網)

	アジ類	カタチイワシ	マイワシ	マサバ	ガント	フクラギ	サワラ	スルメイカ
舞鶴	319.1	482.2	18.6	87.7	119.1	0.0	96.6	2.9
氷見	27.6	130.5	10.9	1.3	0.0	14.9	0.0	42.3

各府県水試調べによる(速報値)

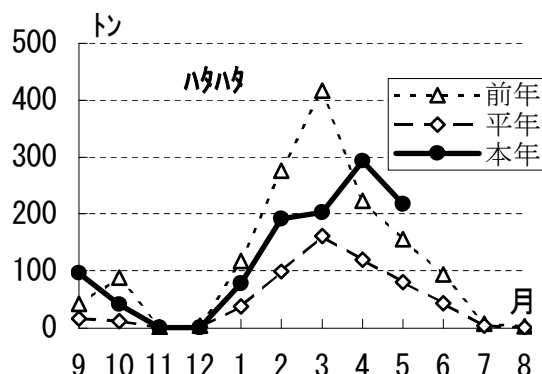
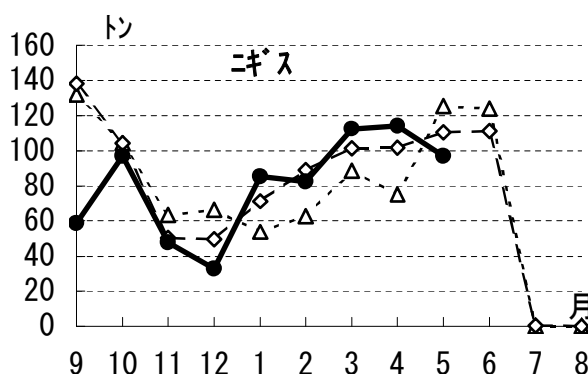
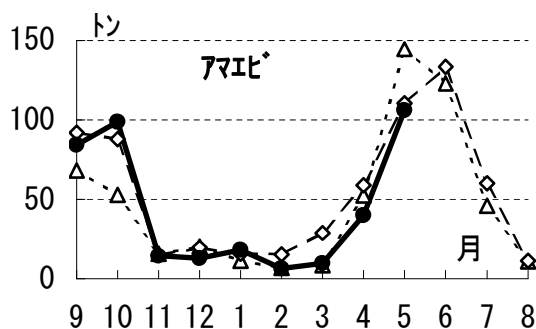
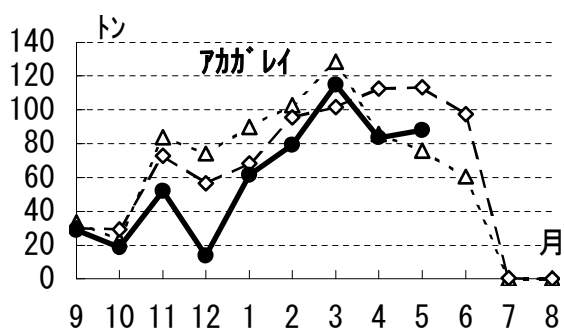


定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

底びき網漁業

	5月漁獲量 (トン)				累計漁獲量 (9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延隻数	1,670	1,926 →	1,819 →		10,870	12,660 →	
ハタハタ	217	156 △	81 △△		1,122	526 △△	
アマエビ	106	145 ▼	110 →		391	445 →	
ニギス	97	125 ▼	111 →		728	816 →	
アカガレイ	88	76 →	113 ▼		541	680 ▼	
ホッケ	64	50 △	36 △		124	139 →	
ヤナギムシガレイ	17	22 ▼	16 →		76	92 ▼	
ムシガレイ	16	13 △	13 △		77	89 →	
ソウハチ	15	13 →	18 →		72	96 ▼	
マガレイ	15	17 →	16 →		60	94 ▼	
マダラ	14	21 ▼	12 △		65	66 →	
ガスエビ	14	16 →	20 ▼		100	159 ▼	
アンコウ	13	16 →	16 ▼		223	291 ▼	
ヒレグロ	11	10 →	12 →		80	82 →	
ウマツラハギ	10	17 ▼	8 △		26	56 ▼▼	
ホタルカ	7	0 —	0 △△△		55	68 ▼	
マダイ	7	4 △	5 △		31	44 ▼	
キダイ	6	12 ▼▼	6 →		32	38 ▼	
ハツメ	5	19 ▼▼	18 ▼▼		38	67 ▼	
マコガレイ	3	7 ▼	5 ▼		17	22 ▼	
ヒラメ	3	4 ▼	2 △		14	13 →	
その他	97	135 ▼	114 →		1,069	1,541 ▼	
合計	826	874 →	730 →		4,938	5,409 →	
1 隻当たり	0.49	0.45 →	0.40 △		0.45	0.43 →	

平年値は過去10年平均



底びき網における主要魚種別漁獲量の経月変化

まき網漁業

	5月漁獲量 (トン)				累計漁獲量 (1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)		
延隻数	10	23 ▼▼	54 ▼▼	253	207	△	
ウケギ	49	22 △△	32 △	126	70	△	
マダイ	25	20 △	65 ▼▼	26	81	▼▼	
マサバ	24	69 ▼▼	212 ▼▼	1,522	3,272	▼▼	
マヅ	13	209 ▼▼	397 ▼▼	984	2,180	▼▼	
ガント	7	6 →	13 ▼	1,111	29	△△△	
その他	54	300 ▼▼	872 ▼▼	3,910	7,907	▼▼	
合計	128	342 ▼▼	969 ▼▼	4,062	8,057	▼	
1隻当たり	13	15 →	18 ▼	16	39	▼▼	

平年値は過去11年平均

その他の漁業

	5月漁獲量 (トン)				累計漁獲量 (1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)		
刺網漁業							
延隻数	4,850	5,364 →	5,802 →	13,322	16,201	▼	
ウスハル	28	42 ▼	42 ▼	60	119	▼	
ウマヅラハギ	13	18 ▼	18 ▼	41	37	→	
サザエ	12	15 →	18 ▼	15	23	▼	
ガント	12	4 △△	7 △	72	69	→	
マダイ	11	10 →	17 ▼	26	30	→	
ハツメ	6	2 △△	10 ▼	27	36	▼	
ミズダコ	6	8 ▼	6 →	23	32	▼	
アマダイ類	5	4 →	7 ▼	7	10	▼	
キダイ	5	3 △	4 △	8	7	→	
ウケギ	5	5 →	12 ▼▼	186	244	▼	
その他	67	81 →	85 ▼	455	491	→	
合計	170	194 →	227 ▼	921	1,098	→	
1隻当たり	0.04	0.04 →	0.04 →	0.07	0.07	→	
釣り							
延隻数	1,473	1,398 →	1,508 →	3,597	3,743	→	
ガント	28	14 △	9 △△△	48	17	△△	
ウケギ	10	13 ▼	8 △	16	15	→	
マダイ	9	7 △	12 ▼	10	13	▼	
ブリ	7	3 △△	3 △△	13	7	△	
ウスハル	2	1 △	5 ▼▼	12	20	▼	
その他	10	15 ▼	29 ▼▼	56	70	▼	
合計	66	54 △	67 →	154	142	→	
1隻当たり	0.04	0.04 →	0.04 →	0.04	0.04	→	
イカ釣り (小型)							
延隻数	3,792	3,428 →	2,281 △	4,007	2,602	△	
ルメカ	2,960	1,959 △	1,221 △△	3,012	1,279	△△	
1隻当たり	0.78	0.57 △	0.54 △	0.75	0.49	△	

サヨリ船びき網 (蛸島・内浦・宝立町)						
延隻数	69	156 ▼▼	142 ▼▼	262	562	▼▼
サヨリ	4	12 ▼▼	8 ▼	14	31	▼▼
1隻当たり	0.07	0.08 →	0.06 →	0.05	0.05	→

※表 (比率) の見方
 ▼▼ ~ 50% △ 120~199%
 ▼ 51~ 83% △△ 200~299%
 → 84~119% △△△ 300~

石川県水産総合センター漁海況情報 第115号

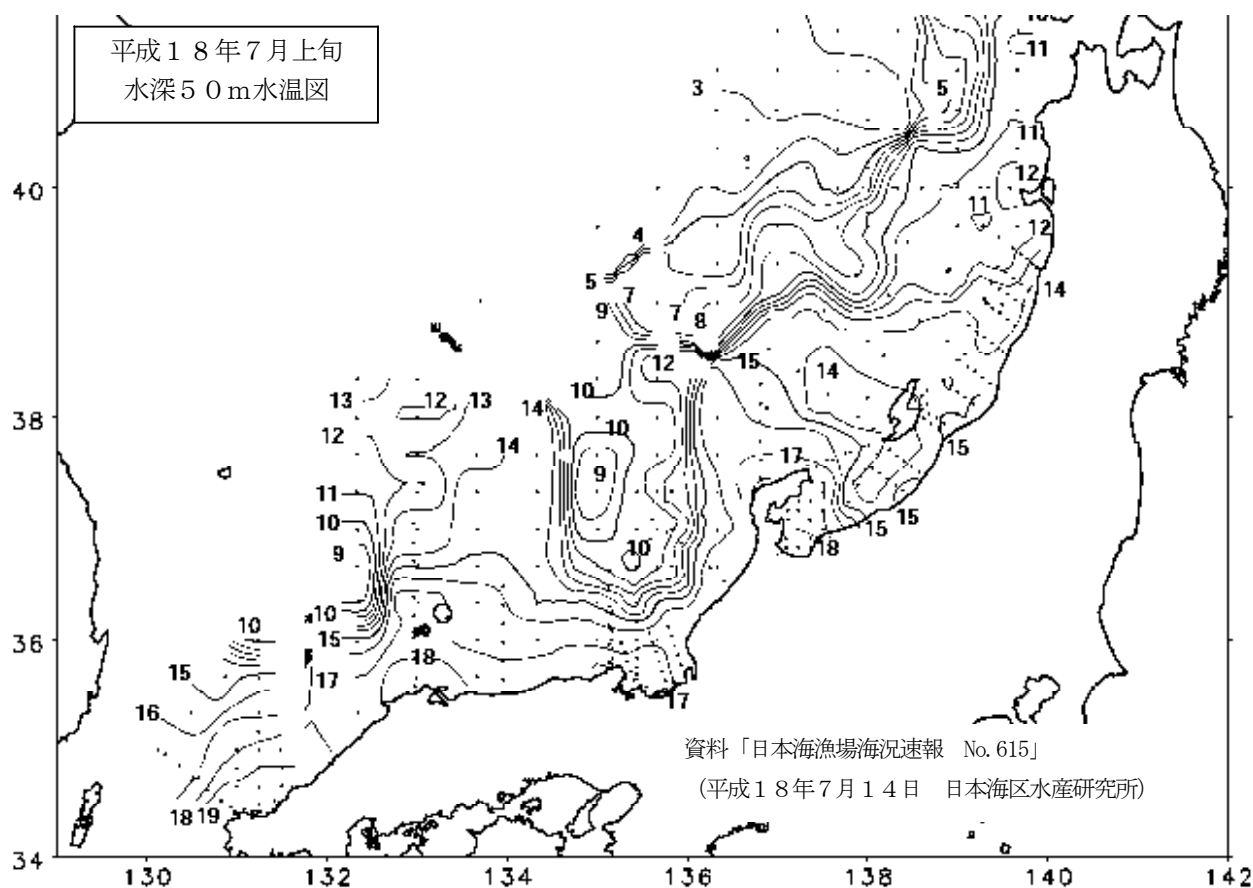
電話：0768-62-1324 <http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm>

本県周辺海域の水深50m水温は、加賀沖・能登半島西方沖で“やや低め”から“はなはだ低め”、能登半島北方沖・富山湾で“やや高め”。

定置網でマアジ、底びき網でホッケ、まき網でマサバ、刺網でサザエ、釣りでマダイが最も多く漁獲された。

1 水温の状況 — 一定線観測結果 —

- (1) 本県周辺の水深50m水温は10～18℃台を示し、加賀沖・能登半島西方沖では“やや低め”から“はなはだ低め”(1～5℃低め)、能登半島北方沖・富山湾では“やや高め”(1～2℃高め)の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は20～22℃台を示し、加賀沖・能登半島外浦沖では“平年並み”から“やや低め”(0～1℃低め)、富山湾では“平年並み”の水温分布を示しています。
- (3) 若狭湾沖の冷水域の張り出しは、加賀沖を中心に先月と比べさらに接岸する傾向にあります。
- (4) 佐渡沖の冷水域の張り出しは、先月と比べ東へ移動し能登半島から離れる傾向にあります。
- (5) 対馬暖流域全体の水深50m水温分布を見ると、山陰沖から若狭沖には平年と比べてかなり低めの海域が広がっています。



2 漁獲の動向 — 6月の漁獲量から —

【定置網】

主要10港合計は**1,504トン**で、**平年（過去10か年の平均）並の漁獲量**でした。
最も多く漁獲された魚種はマアジで663トンと平年並でした。
トビウオは275トンで平年をかなり上回りました
マサバは130トンで平年並でした。

【底びき網】

主要10港合計は**952トン**で、**平年をやや上回る漁獲量**でした。
最も多く漁獲された魚種はホッケで181トンと平年をかなり上回りました。漁獲量の約9割は輪島市漁協所属船によるものです。
ニギスは161トンで平年をやや上回りました。
アマエビは124トンで平年並でした。

【まき網】

主要10港合計は**413トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。
最も多く漁獲された魚種はマサバで180トンと平年をかなり上回りました。
マアジは74トンで平年をかなり下回りました。

【刺網】

主要10港合計は**215トン**で、**平年並の漁獲量**でした。
最も多く漁獲された魚種はサザエで50トンと平年をやや上回りました。
ウスメバル（やなぎばちめ）は23トンで平年並でした。
ウマヅラハギ（かわはぎ）は17トンで平年並でした。

【釣り】

釣りの主要10港合計は**42トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。
最も多く漁獲された魚種はマダイで16トンと平年並でした。
いか釣り（小型）の主要10港合計は**1,744トン**で、**平年をやや上回る漁獲量**でした。

3 「平成18年度第2回日本海海況予報」の概要

7月10日に日本海区水産研究所から、7月～9月の海況の見通しが発表されました。

これによると、対馬暖流域の表面水温は“平年並み”、水深50メートルの水温も“平年並み”と予想されています。

若狭沖の冷水域の張り出しはやや強く、佐渡島沖の冷水域の張り出しは平年並みと予想されています。

漁況日報（携帯版）の提供について

当センターのホームページでは「石川県内主要港の漁況日報」を提供していますが、6月より携帯電話からも確認できるようになりましたのでご利用下さい。

<アクセス方法>

その1. 携帯電話から、下記のアドレスを入力してアクセスしてください。

<http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.files/p-index.htm>

その2. QRコード読み取り機能付き携帯電話をお持ちの方は、右のコードを読み取ると上記サイトにアクセスできます。



漁獲量統計 (加賀市、漁連、南浦、石川とぎ、輪島市、蛸島、宝立町、内浦、能都町、七尾地区)

定置網漁業

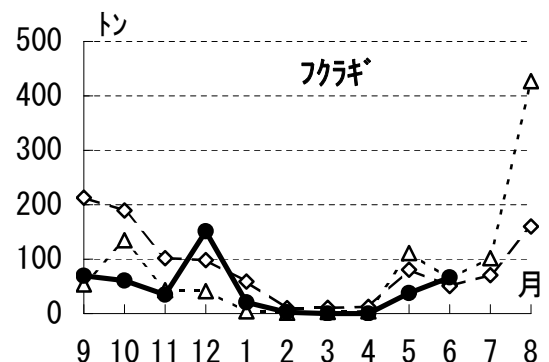
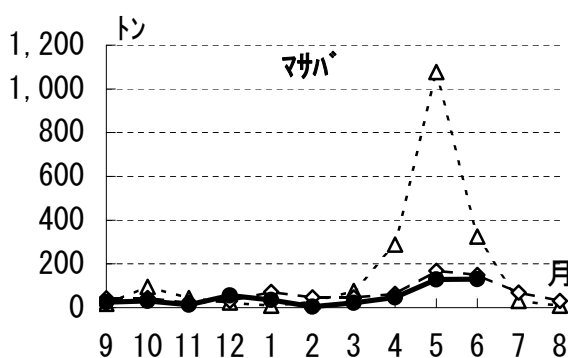
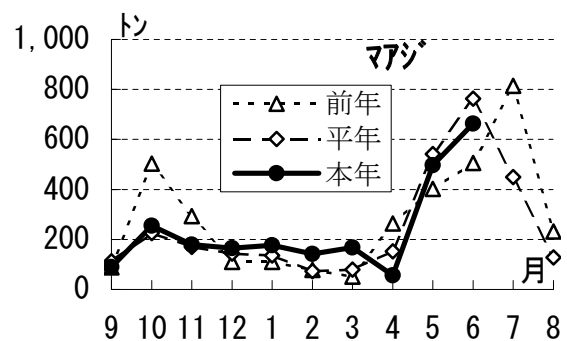
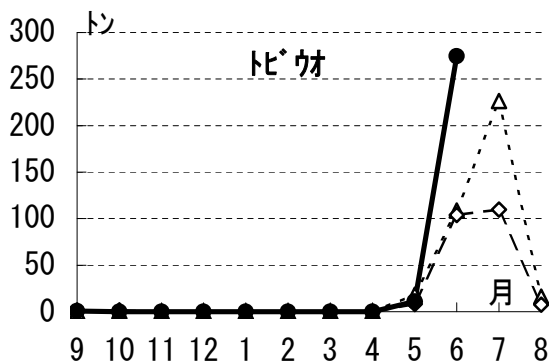
	6月漁獲量 (トン)			累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延続数	2,178	2,181 →	2,108 →	15,388	17,434 →	
マアジ	663	506 △	750 →	2,393	2,370 →	
トビウオ類	275	109 △△	104 △△	286	115 △△	
マサバ	130	325 ▼▼	149 →	491	685 ▼	
フクラギ	66	65 →	50 △	443	825 ▼	
スルメイカ	66	66 →	44 △	1,712	894 △	
ブリ	37	23 △	25 △	386	395 →	
マダイ	32	23 △	26 △	155	167 →	
カタクチイワシ	23	8 △△	16 △	2,918	1,747 △	
ガント	22	10 △△	10 △△	547	88 △△△	
サワラ	21	22 →	10 △△	206	201 →	
ウマヅラハギ	14	7 △	13 →	311	718 ▼▼	
クロマグロ	11	7 △	6 △	25	10 △△	
ケンサキイカ	5	2 △△△	2 △△△	11	4 △△	
ウルメイワシ	4	6 ▼	4 →	134	446 ▼▼	
アカマス	3	10 ▼▼	4 ▼	68	232 ▼▼	
その他	131	162 ▼	196 ▼	2,268	3,245 ▼	
合計	1,504	1,351 →	1,410 →	12,355	12,142 →	
1隻当たり	0.69	0.62 →	0.67 →	0.80	0.70 →	

平年値は過去10年平均
単位：トン

他府県漁獲状況 (6月：定置網)

	アジ類	カタクチイワシ	マサバ	ブリ・ガント	フクラギ	サワラ	トビウオ類	スルメイカ
舞鶴	512.5	105.4	35.2	8.6	0.0	27.8	27.0	6.6
氷見	5.1	8.7	6.5	3.8	8.6	0.0	0.0	20.9

各府県水試調べによる(速報値)

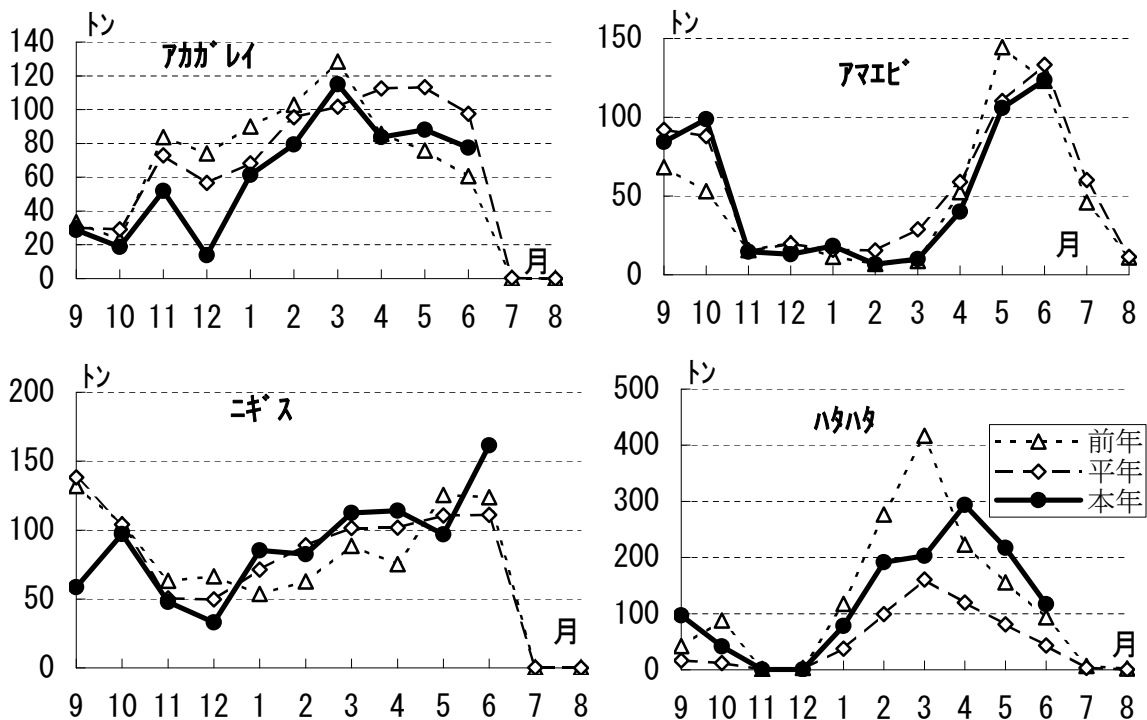


定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

底びき網漁業

	6月漁獲量 (トン)				累計漁獲量 (9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延隻数	1,944	1,941 →	1,785 →		12,814	14,455 →	
ホッケ	181	37 △△△	31 △△△		305	169 △	
ニギス	161	124 △	111 △		889	927 →	
アマエビ	124	123 →	133 →		515	578 →	
ハタハタ	117	94 △	43 △△		1,239	569 △△	
アカガレイ	77	61 △	97 ▼		618	777 ▼	
マガレイ	29	28 →	28 →		89	122 ▼	
ヤナギムシガレイ	28	31 →	20 △		104	113 →	
ムシガレイ	21	20 →	15 △		98	104 →	
マダラ	16	12 △	9 △		82	75 →	
ソウハチ	14	10 △	21 ▼		85	117 ▼	
アンコウ	10	12 ▼	13 ▼		233	304 ▼	
ガスエビ	10	10 →	11 →		109	170 ▼	
ヒレグロ	10	8 △	10 →		89	92 →	
マダイ	9	5 △	4 △△		41	48 →	
キダイ	8	20 ▼▼	7 △		40	45 →	
ウマヅラハギ	8	10 ▼	9 →		34	65 ▼	
ハツメ	6	5 →	13 ▼▼		44	80 ▼	
スケトウダラ	6	4 △	15 ▼▼		7	107 ▼▼	
ホタルカ	5	0 --	0 △△△		59	68 →	
マコガレイ	3	5 ▼	4 ▼		20	26 ▼	
その他	109	141 ▼	86 △		1,190	1,534 ▼	
合計	952	760 △	680 △		5,891	6,089 →	
1隻当たり	0.49	0.39 △	0.38 △		0.46	0.42 →	

平年値は過去10年平均



底びき網における主要魚種別漁獲量の経月変化

まき網漁業

	6月漁獲量 (トン)				累計漁獲量 (1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延隻数	26	22 →	64 ▼▼		279	271 →	
マサバ	180	120 △	71 △△		1,702	3,343 ▼	
マアジ	74	185 ▼▼	214 ▼▼		1,058	2,394 ▼▼	
クロマグロ	51	47 →	6 △△△		51	6 △△△	
ガント	42	3 △△△	18 △△		1,152	47 △△△	
ブリ	30	1 △△△	8 △△△		287	25 △△△	
マダイ	16	9 △	29 ▼		42	111 ▼▼	
ウルメイワシ	10	2 △△△	30 ▼▼		14	74 ▼▼	
その他	10	108 ▼▼	506 ▼▼		170	2,941 ▼▼	
合計	413	475 →	882 ▼▼		4,475	8,939 ▼	
1隻当たり	16	22 ▼	14 →		16	33 ▼▼	

平年値は過去11年平均

その他の漁業

	6月漁獲量 (トン)				累計漁獲量 (1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
刺網漁業							
延隻数	6,508	6,589 →	6,343 →		19,830	22,544 →	
サザエ	50	39 △	39 △		64	63 →	
ウスハバル	23	21 →	27 →		84	146 ▼	
ウマヅラハギ	17	17 →	20 →		58	57 →	
ハツメ	17	6 △△	11 △		44	46 →	
アマダイ類	12	12 →	14 →		19	24 ▼	
キダイ	11	8 △	6 △		19	13 △	
フクラギ	10	3 △△	6 △		196	251 ▼	
トビウオ類	5	19 ▼▼	11 ▼▼		5	11 ▼▼	
マダコ	4	8 ▼	8 ▼		10	22 ▼▼	
ガザミ	4	1 △△△	1 △△△		8	2 △△△	
マダイ	4	6 ▼	6 ▼		29	36 ▼	
その他	59	63 →	60 →		600	636 →	
合計	215	203 →	210 →		1,136	1,307 →	
1隻当たり	0.03	0.03 →	0.03 →		0.06	0.06 →	
釣り							
延隻数	1,893	1,761 →	1,721 →		5,490	5,465 →	
マダイ	16	16 →	14 →		25	27 →	
ウスハバル	4	3 △	6 ▼		16	26 ▼	
ガント	3	0 △△△	1 △△		52	19 △△	
チウオ	2	10 ▼▼	3 ▼		2	3 ▼	
ブリ	1	0 △△△	1 →		14	8 △	
その他	16	23 ▼	50 ▼▼		88	135 ▼	
合計	42	53 ▼	75 ▼		196	217 →	
1隻当たり	0.02	0.03 ▼	0.04 ▼		0.04	0.04 →	
イカ釣り(小型)							
延隻数	2,772	2,282 △	1,821 △		6,779	4,423 △	
ルメカ	1,744	1,109 △	1,108 △		4,756	2,386 △	
1隻当たり	0.63	0.49 △	0.61 →		0.70	0.54 △	

※表 (比率) の見方

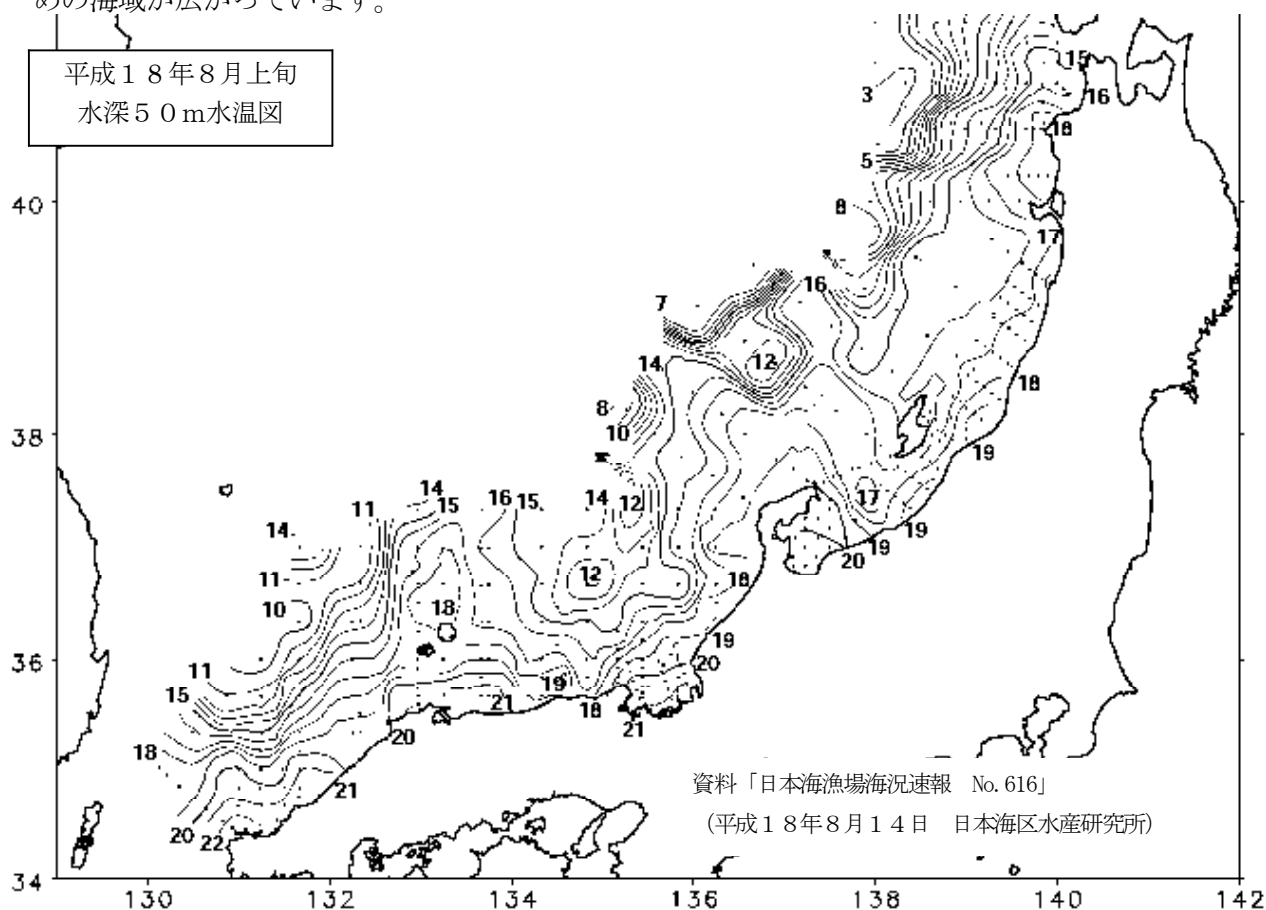
▼▼ ~ 50% △ 120~199%
 ▼ 51~ 83% △△ 200~299%
 → 84~119% △△△ 300~

本県周辺海域の水深50m水温は、加賀沖で“やや低め”から“かなり低め”、能登半島西方・北方沖で“平年並み”から“やや高め”、富山湾で“平年並み”。

外浦海域の定置網・まき網でガンドが好漁。刺網でサザエ、釣りでマダイが最も多く漁獲された。

1 水温の状況 一定線観測結果一

- (1) 本県周辺の水深50m水温は15～20℃台を示し、加賀沖では“やや低め”から“かなり低め”（平年より1～3℃低め）、能登半島西方・北方沖では“平年並み”から“やや高め”（0～2℃高め）、富山湾では“平年並み”の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は25～28℃台を示し、加賀沖・能登半島西方沖では“やや高め”から“かなり高め”（1～2℃高め）を示していますが、加賀の沿岸域では“かなり低め”となっています。能登半島北方沖・富山湾では“平年並み”から“やや高め”（0～1℃高め）の水温分布を示しています。
- (3) 若狭湾沖の冷水域の張り出しは、加賀沖を中心に先月から引き続き接岸する傾向にあります。
- (4) 佐渡沖の北方には冷水域の張り出しがみられます。
- (5) 対馬暖流域全体の水深50m水温分布を見ると、山陰沖から若狭沖には平年と比べてかなり低めの海域が広がっています。



2 漁獲の動向 — 7月の漁獲量から —

【定置網】

主要10港合計は**780トン**で、**平年（過去10か年の平均）をやや下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はマアジで248トンと平年をやや下回りました。

トビウオは141トンで平年をやや上回りました。

ガンドは103トンで平年をかなり上回りました。

【まき網】

主要10港合計は**207トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はマアジで63トンと平年をかなり下回りました。

ガンドは62トンで平年をかなり上回りました。

マイワシは49トンで平年をかなり下回りました。

【刺網】

主要10港合計は**161トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はサザエで52トンと平年並でした。

ウマヅラハギ（かわはぎ）は24トンで平年をやや上回りました。

アマダイは12トンで平年をやや下回りました。

【釣り】

釣りの主要10港合計は**37トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はマダイで4トンと平年をやや下回りました。

いか釣り（小型）の主要10港合計は**142トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

漁獲量統計 (加賀市、漁連、南浦、石川とぎ、輪島市、蛸島、宝立町、内浦、能都町、七尾地区)

定置網漁業

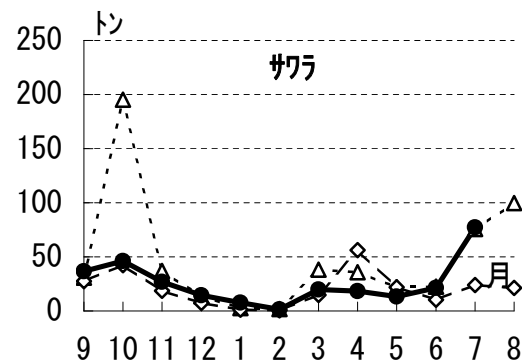
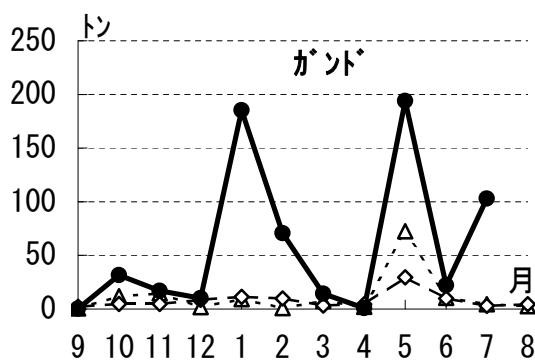
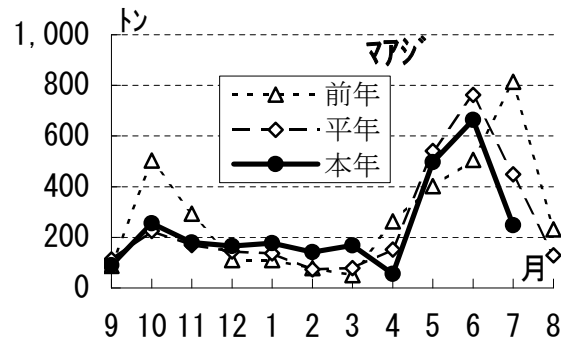
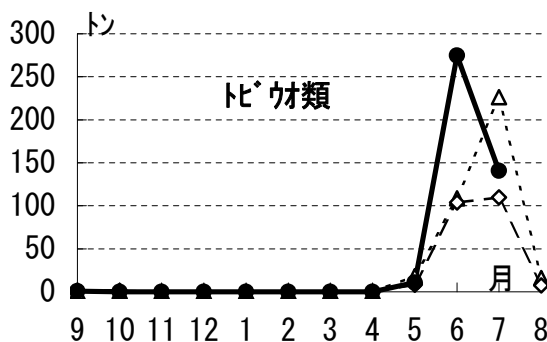
	7月漁獲量 (トン)			累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延統数	1,778	1,936 →	1,955 →	17,166	19,389 →	
マアジ	248	815 ▼▼	447 ▼	2,640	2,817 →	
トビウオ類	141	226 ▼	110 △	427	224 △	
ガンド	103	5 △△△	3 △△△	650	91 △△△	
サワラ	77	76 →	24 △△△	283	224 △	
カタクチイワシ	46	51 →	50 →	2,964	1,797 △	
マダイ	25	19 △	18 △	180	186 →	
フクラギ	23	102 ▼▼	70 ▼▼	467	895 ▼	
ウマヅラハギ	17	7 △△	11 △	328	730 ▼▼	
マサバ	14	31 ▼▼	69 ▼▼	504	754 ▼	
スルメイカ	13	13 →	17 ▼	1,725	911 △	
ブリ	7	1 △△△	5 △	393	400 →	
ケンサキイカ	6	3 △△	4 △	18	8 △△	
シイラ	5	23 ▼▼	9 ▼	162	315 ▼	
マイワシ	4	1 △△	4 ▼	198	1,026 ▼▼	
チウオ	3	7 ▼▼	5 ▼	10	12 ▼	
その他	49	159 ▼▼	96 ▼	2,187	2,695 ▼	
合計	780	1,539 ▼	942 ▼	13,135	13,085 →	
1隻当たり	0.44	0.79 ▼	0.48 →	0.77	0.67 →	

平年値は過去10年平均
単位：トン

他府県漁獲状況 (7月：定置網)

	アジ類	カタクチイワシ	マイワシ	マサバ	サワラ	トビウオ類	マダイ	スルメイカ
舞鶴	157.1	146.1	10.6	43.3	18.1	25.4	0.7	0.0
氷見	20.0	25.6	0.1	1.4	0.0	0.0	8.9	4.6

各府県水試調べによる(速報値)



定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

まき網漁業

	7月漁獲量 (トン)				累計漁獲量 (1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延隻数	43	15 △△	57 ▼		322	334	→
マヅ	63	26 △△	190 ▼▼		1,121	2,715	▼▼
ガント	62	6 △△△	4 △△△		1,214	55	△△△
マイヅ	49	0 —	166 ▼▼		49	2,187	▼▼
クロマグロ	23	103 ▼▼	43 ▼		73	49	△
ブリ	3	21 ▼▼	4 ▼		290	31	△△△
マサバ	3	259 ▼▼	160 ▼▼		1,704	3,547	▼▼
ウルメイヅ	2	1 △△	65 ▼▼		16	146	▼▼
その他	2	11 ▼▼	47 ▼▼		213	859	▼▼
合計	207	427 ▼▼	679 ▼▼		4,682	9,589	▼▼
1隻当たり	5	28 ▼▼	12 ▼▼		15	29	▼

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	7月漁獲量 (トン)				累計漁獲量 (1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
刺網漁業							
延隻数	5,163	5,691 →	6,445 ▼		24,993	28,868	→
サザエ	52	49 →	51 →		117	114	→
ウマヅラハギ	24	12 △	19 △		82	78	→
アマダイ類	12	12 →	15 ▼		31	36	→
キダイ	9	10 →	9 →		28	23	△
チダイ	7	5 △	4 △		13	11	→
アカガレイ	5	7 ▼	4 △		49	41	→
マダコ	4	6 ▼	8 ▼		14	30	▼▼
マダイ	3	2 △	3 →		33	40	▼
ウスハバル	3	4 ▼	14 ▼▼		87	159	▼
アカムツ	2	3 →	2 △		13	7	△
ヤギムシガレイ	2	3 ▼	1 →		6	4	△
その他	37	82 ▼▼	84 ▼▼		825	977	→
合計	161	193 →	215 ▼		1,297	1,521	→
1隻当たり	0.03	0.03 →	0.03 →		0.05	0.05	→
釣り							
延隻数	1,444	1,837 ▼	1,688 →		6,934	7,173	→
マダイ	4	8 ▼	5 ▼		29	34	→
ホッケ	4	2 △	3 △		6	10	▼
ウスハバル	3	8 ▼▼	6 ▼		20	32	▼
ガント	1	0 △△△	0 △△△		53	20	△△△
チウオ	1	13 ▼▼	2 ▼▼		3	4	▼
その他	24	34 ▼	52 ▼▼		123	183	▼
合計	37	66 ▼	68 ▼		234	283	▼
1隻当たり	0.03	0.04 ▼	0.04 ▼		0.03	0.04	→
イカ釣り(小型)							
延隻数	292	445 ▼	409 ▼		7,071	4,821	△
スルメイカ	142	160 →	291 ▼▼		4,898	2,715	△
1隻当たり	0.49	0.36 △	0.71 ▼		0.69	0.56	△

※表 (比率) の見方

▼▼ ~ 50% △ 120~199%
 ▼ 51~ 83% △△ 200~299%
 → 84~119% △△△ 300~

■■■石川県水産総合センター漁海況情報 第117号■■■

電話：0768-62-1324 <http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm>

底びき網漁業の水揚げ状況について（平成17年漁期）

- ① 集計期間：平成17年漁期（平成17年9月～18年6月）
- ② 集計対象港と漁業種類：石川県主要10港の沖合底びき網漁業と小型底びき網第1種漁業
（橋立港・金沢港（県漁連・南浦）・富来港・輪島港・蛸島港・鶴飼港・松波港・宇出津港・七尾地区）

1 水揚げ量

石川県内主要10港における平成17年漁期の総水揚げ量は6,067トンで、平年（過去10年の平均）の96%、前年の90%でした（図1）。

平成14年以降、はたはたの好漁が続いたことなどから水揚げ量は増加傾向にありましたが、平成17年は前年を下回りました。

2 水揚げ金額

総水揚げ金額は38億85百万円で、平年の80%、前年の92%でした（図1）。

平成14年には平成7年の60%にまで減少しましたが、その後は横ばいで推移しています。

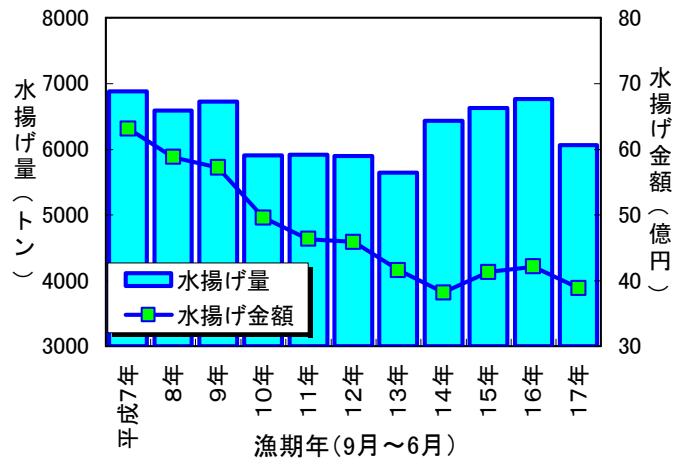


図1 底びき網漁業の水揚げ量と金額

3 年間出漁回数

年間の延べ出漁回数は13,031回で、平年の89%、前年の94%でした（図2上）。

操業隻数の減少が続いていることから延べ出漁回数は減少傾向にあります。特に平成17年は年末に荒天が続いたことから、12月の出漁回数が平年の46%と大きく減少しました。

4 平均単価

全銘柄の平均単価は1kg当たり640円で、平年の84%、前年の103%でした（図2下）。

平成14年には平成7年の64%まで下がりましたが、平成15年以降ではやや上向きとなっています。

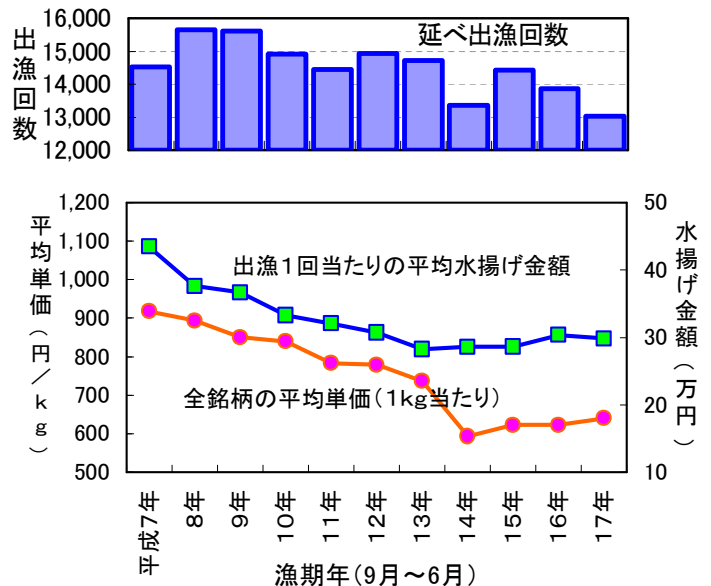


図2 底びき網漁業の出漁回数・平均単価
出漁1回当たりの水揚げ金額

5 出漁1回当たりの水揚げ金額

出漁1回当たりの平均水揚げ金額は30万円で、平年の90%、前年の98%でした（図2下）。

平成13年まで減少傾向が続いていましたが、その後はやや上向きとなっています。

6 主要魚種の水揚げ状況

(1) ずわいがに・こうばこがに

ずわいがに（雄）の出漁1回当たりの漁獲量は56kgで、平年の89%、前年の118%でした。低い水準で横ばい傾向にあります。過去6カ年では最も高い値となりました。

こうばこがにの出漁1回当たりの漁獲量は90kgで、平年の131%、前年の127%でした。

(2) あまえび・がすえび類(トゲザコエビ他)

あまえびの出漁1回当たりの漁獲量は44kgで、平年の99%、前年の107%でした。平成7年頃をピークに減少傾向が続いていますが、平成16年以降は増加傾向にあります。

がすえび類の出漁1回当たりの漁獲量は18kgで、平年の79%、前年の109%でした。

(3) はたはた

出漁1回当たりの漁獲量は94kgで、平年の217%、前年の96%でした。平成14年に急増しておりその後も高い水準で推移しています。

(4) にぎす

出漁1回当たりの漁獲量は68kgで、平年の111%、前年の106%でした。平成14年には平成7年の51%にまで減少しましたが、その後は増加傾向にあります。

(5) かれい類

あかがれいの出漁1回当たりの漁獲量は47kgで、平年の89%、前年の87%で、近年は比較的安定した漁獲が続いています。

めがれい(ヤギムガレい)の出漁1回当たりの漁獲量は8kgで、平年の100%、前年の84%でした。すがれい(ムガレい)の出漁1回当たりの漁獲量は8kgで、平年の106%、前年の117%でした。

7 主要魚種の産地価格

主要魚種の産地価格の推移を図4に示します。

平成7年以降で価格が上昇傾向にあるのはずわいがに（雄）で、平成7年を100とした産地価格指数で見ると、平成17年は120でした。

その他の魚種では、あまえびが73、あかがれいが84、にぎすが77、こうばこがにが45でした。はたはたは水揚げ量が急増した平成14年に大きく下がり、平成17年は42でした。

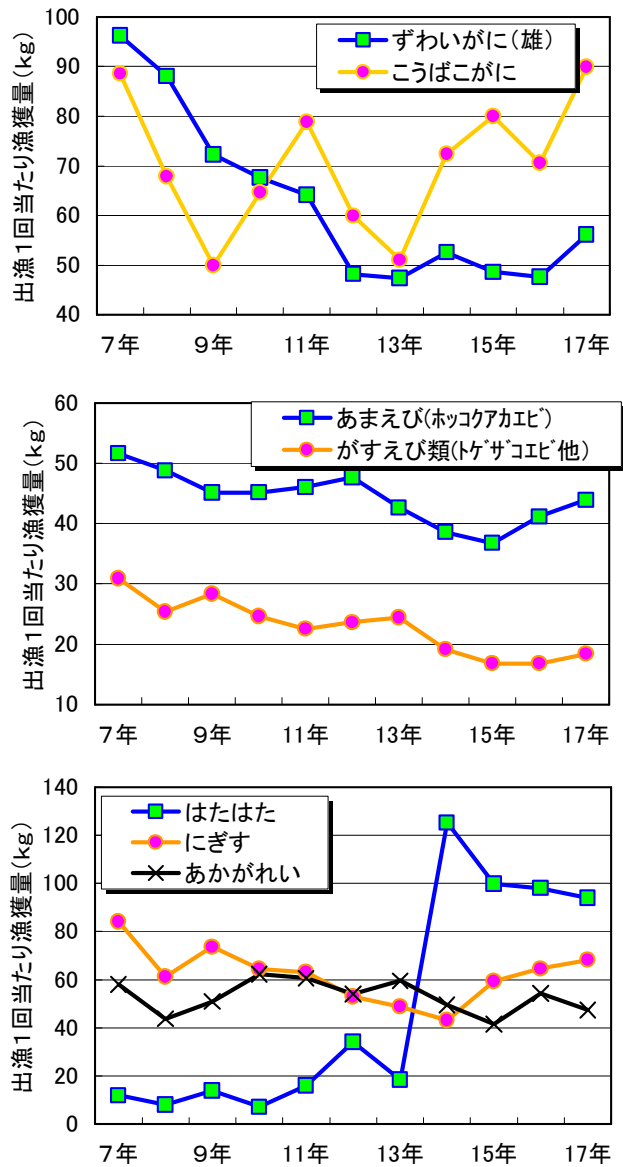


図3 底びき網漁業の出漁1回当たり漁獲量

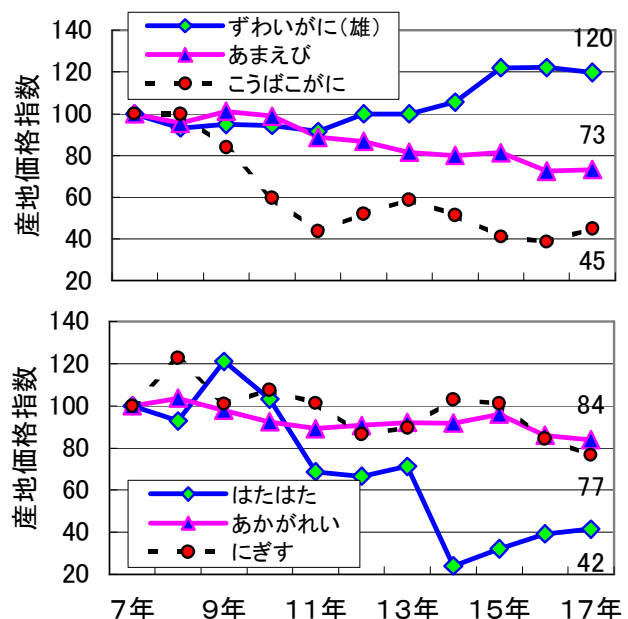


図4 主要魚種の産地価格指数（平成7年=100）

石川県水産総合センター漁海況情報 第118号

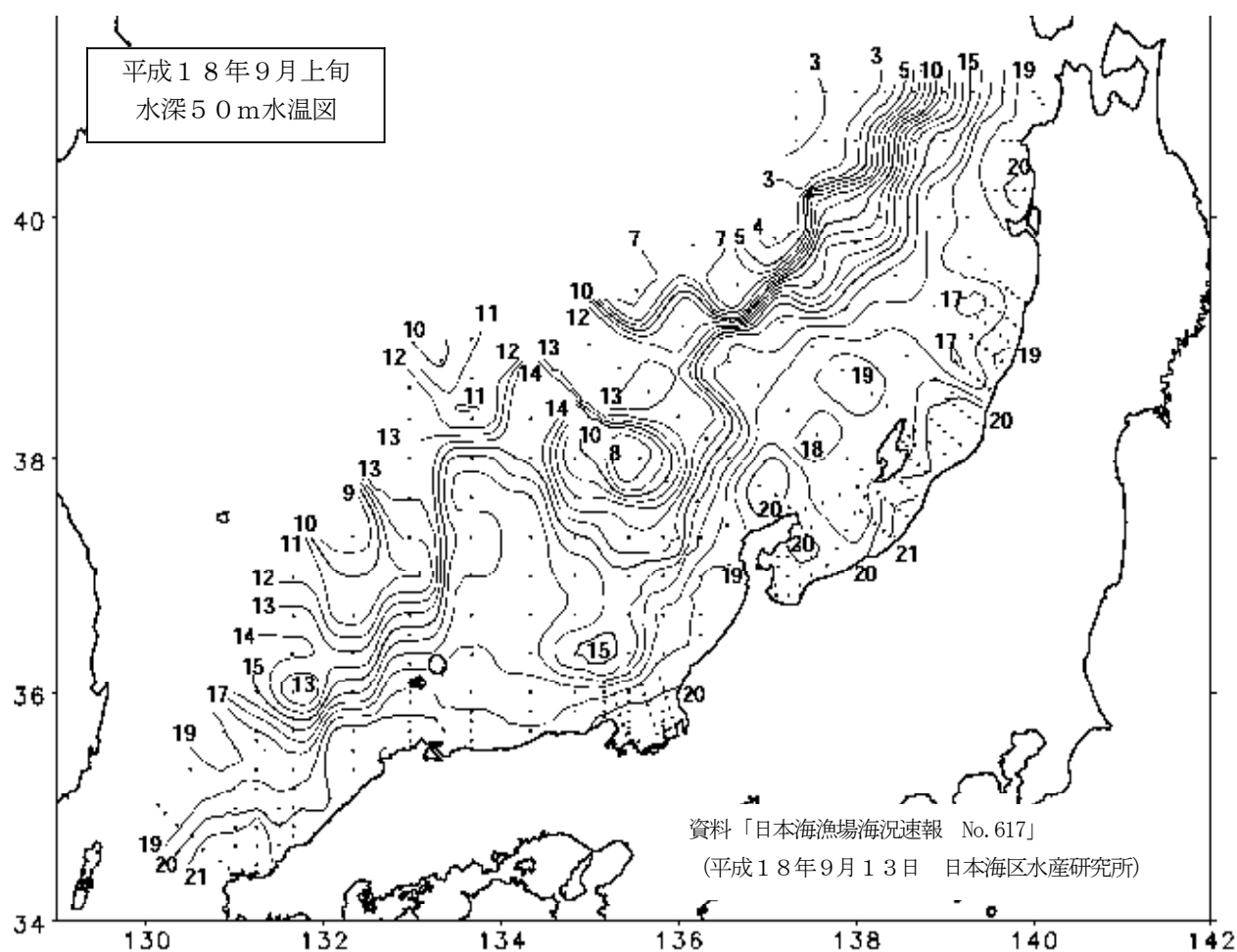
電話：0768-62-1324 <http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm>

本県周辺海域の水深50m水温は、加賀沖から能登半島西方沖で“やや低め”、能登半島北方沖で“平年並み”から“やや高め”、富山湾で“やや低め”。

外浦海域の定置網でサワラ、まき網でガンドが好漁、刺網でサザエ、釣りでマアジが最も多く漁獲された。

1 水温の状況 — 9月定線観測結果 —

- (1) 本県周辺の水深50m水温は14～20℃台を示し、加賀沖・能登半島西方沖では“やや低め”（平年より1～2℃低め）、能登半島北方沖では“平年並み”から“やや高め”（0～1℃高め）、富山湾では“やや低め”（1～2℃低め）の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は26～27℃台を示し、加賀沖では“平年並み”、能登半島西・北方沖では“やや高め”（0～2℃高め）、富山湾では“平年並み”の水温分布を示しています。
- (3) 若狭湾沖の冷水域の張り出しは、加賀沖から能登半島西方沖で引き続き接岸する傾向にあります。
- (4) 対馬暖流域全体の水深50m水温分布を見ると、山陰沖から能登半島西方沖は平年と比べて低め、能登半島北方沖から男鹿半島西方沖は平年並みから高めの海域が広がっています。



2 漁獲の動向 — 8月の漁獲量から —

【定置網】

主要10港合計は**716トン**で、**平年（過去10か年の平均）並の漁獲量**でした。
 最も多く漁獲された魚種はマアジで152トンと平年並でした。
 フクラギ・コゾクラは132トンで平年をやや下回りました。
 サワラは118トンで前月に引き続き平年をかなり上回りました。

【まき網】

主要10港合計は**745トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。
 最も多く漁獲された魚種はガンドで279トンと平年をかなり上回りました。
 マアジは167トンで平年をやや下回りました。
 マサバは153トンで平年をやや下回りました。

【刺網】

主要10港合計は**162トン**で、**平年並の漁獲量**でした。
 最も多く漁獲された魚種はサザエで30トンと平年をやや上回りました。
 ウマヅラハギ（かわはぎ）は23トンで平年をやや上回りました。
 ハタハタは20トンで平年をやや上回りました。

【釣り】

釣りの主要10港合計は**36トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。
 最も多く漁獲された魚種はマアジで5トンと平年をかなり上回りました。
いか釣り（小型）の主要10港合計は**9トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

底びき網漁業の水揚げ状況（9月1日～15日の速報値）

石川県沖では9月1日から底びき網漁業の操業が始り、橋立港・金沢港・蛸島港の9月15日までの漁獲量は146トンで、平年の94%、前年の139%となっています。
 アマエビは、橋立港・金沢港で好漁となっており、漁獲量は平年の130%、前年の149%でした。
 ハタハタも橋立港・金沢港で好漁となっていますが、最も水揚げの多い蛸島港では前年同期をやや下回っています。漁獲量は平年の242%、前年の105%でした。
 アンコウは橋立港で好漁となっており、漁獲量は平年の142%、前年の355%でした。サイズは小型が主体となっています。
 ニギスは平年の59%、アカガレイは平年の76%で、いずれの港でも平年を下回る漁獲量となっています。
 平均単価は、ハタハタ・アカガレイが前年より高め、アマエビ・ニギス・アンコウが前年より低めとなっており、全魚種の平均単価は前年の99%となっています。

橋立港・金沢港・蛸島港の底びき網漁業漁獲量（9月1日～15日まで）

	漁獲量(トン)				
	本年	前年	前年比	平年	平年比
はたはた	26	25	105%	11	242%
にぎす	37	30	124%	62	59%
あんこう	13	4	355%	9	142%
あかがれい	12	10	123%	15	76%
すがれい(ムシガレイ)	4	1	520%	4	107%
あまえび	61	41	149%	47	130%
がすえび(トゲザコエビ他)	7	4	179%	8	92%
まついか(ヤリカ)	4	1	451%	6	73%
その他	39	32	122%	55	71%
合計	203	146	139%	217	94%

各港の毎日の漁獲量は水産総合センターのホームページで確認できます。
<http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm>

漁獲量統計 (加賀市、漁連、南浦、石川とぎ、輪島市、蛸島、宝立町、内浦、能都町、七尾地区)

定置網漁業

	8月漁獲量 (トン)			累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延統数	1,687	1,763 →	1,574 →	18,853	20,964 →	
マアジ	152	232 ▼	127 →	2,792	2,944 →	
フクラギ,コゾクラ	132	427 ▼▼	160 ▼	599	1,055 ▼	
サワラ	118	100 →	21 △△△	401	246 △	
カクチイワシ	91	50 △	101 →	3,054	1,898 △	
ガンド	40	3 △△△	4 △△△	690	95 △△△	
マサバ	26	9 △△△	30 →	531	784 ▼	
ブリ	24	0 △△△	2 △△△	417	402 →	
マダイ	19	14 △	13 △	199	199 →	
マイワシ	16	5 △△△	23 ▼	214	1,049 ▼▼	
ウマヅラハギ	14	12 →	10 △	343	740 ▼▼	
シラ	13	37 ▼▼	38 ▼▼	175	352 ▼▼	
トビウオ類	11	16 ▼	7 △	438	232 △	
ソウダカツオ	4	23 ▼▼	13 ▼▼	796	498 △	
ヒラメ	3	2 △	1 △△	24	13 △	
ウルメイワシ	3	10 ▼▼	3 →	138	451 ▼▼	
その他	49	100 ▼▼	89 ▼	3,040	2,770 →	
合計	716	1,039 ▼	644 →	13,850	13,729 →	
1隻当たり	0.42	0.59 ▼	0.41 →	0.73	0.65 →	

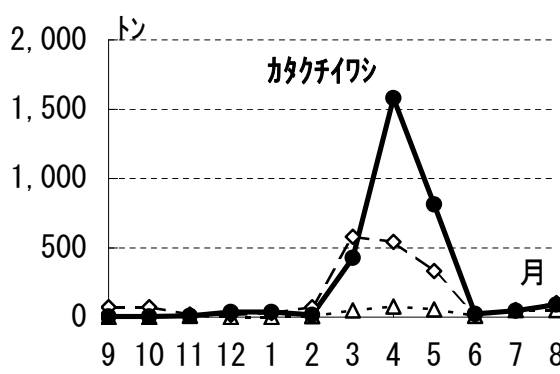
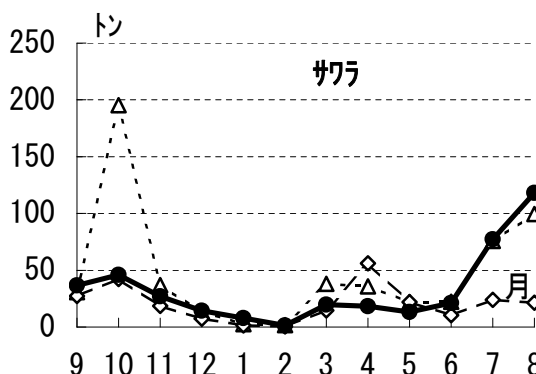
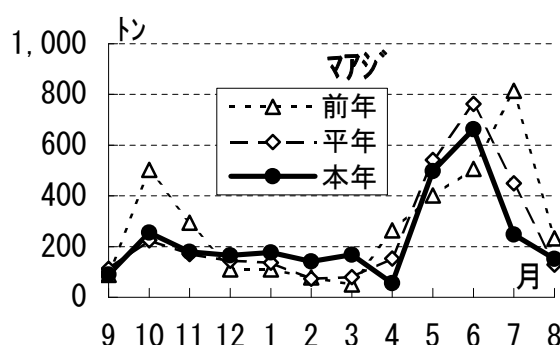
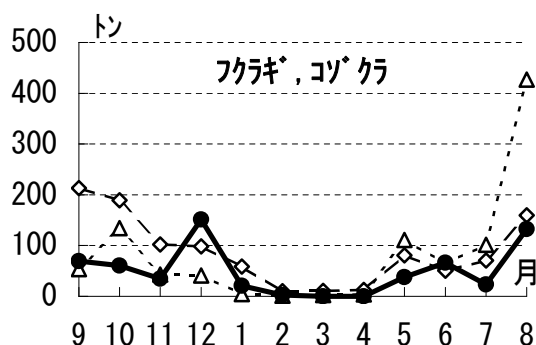
平年値は過去10年平均

他府県漁獲状況 (8月：定置網)

単位：トン

	アジ類	カクチイワシ	マサバ	フクラギ	サワラ	シラ	マダイ	ソウダカツオ
舞鶴	90.0	283.8	31.4	149.8	117.0	0.3	0.9	0.7
氷見	10.9	43.2	2.9	89.4	0.0	27.0	6.9	7.3

各府県水試調べによる(速報値)



定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

まき網漁業

	8月漁獲量（トン）				累計漁獲量（1月より）		
	本年	前年（比率）	平年（比率）		本年	平年（比率）	
延隻数	100	81 △	97 →		422	431 →	
ガント	279	205 △	109 △△		1,493	164 △△△	
マヅ	167	21 △△△	293 ▼		1,289	3,008 ▼▼	
マサバ	153	314 ▼▼	267 ▼		1,857	3,813 ▼▼	
フクラギ・コゾクラ	137	145 →	93 △		271	230 →	
ブリ	5	40 ▼▼	71 ▼▼		295	102 △△	
マイヅ	2	0 △△△	13 ▼▼		52	2,200 ▼▼	
その他	2	52 ▼▼	98 ▼▼		170	1,014 ▼▼	
合計	745	777 →	943 ▼		5,427	10,532 ▼	
1隻当たり	7	10 ▼	10 ▼		13	24 ▼	

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	8月漁獲量（トン）				累計漁獲量（1月より）		
	本年	前年（比率）	平年（比率）		本年	平年（比率）	
刺網漁業							
延隻数	5,301	5,072 →	4,876 →		30,294	33,744 →	
サザエ	30	25 →	25 △		146	138 →	
ウマヅラハギ	23	8 △△	16 △		105	95 →	
ハタハタ	20	84 ▼▼	11 △		26	18 △	
アカガレイ	13	5 △△	3 △△△		62	45 △	
アマダイ類	12	14 →	13 →		43	49 →	
キダイ	8	10 ▼	7 →		36	29 △	
マダコ	6	5 △	5 →		20	36 ▼	
ニギス	5	8 ▼	12 ▼▼		7	26 ▼▼	
ハツメ	4	8 ▼	9 ▼▼		49	64 ▼	
アカムツ	4	4 →	2 △		17	9 △	
マダイ	3	3 →	4 ▼		36	44 ▼	
その他	34	45 ▼	43 ▼		913	1,118 ▼	
合計	162	219 ▼	150 →		1,458	1,670 →	
1隻当たり	0.03	0.04 ▼	0.03 →		0.05	0.05 →	
釣り							
延隻数	1,516	1,328 →	1,477 →		8,450	8,650 →	
マヅ	5	1 △△△	2 △△△		7	4 △	
ウスメバル	4	3 △	6 ▼		23	37 ▼	
マダイ	3	3 →	4 ▼		32	38 →	
ホッケ	2	1 →	2 →		8	12 ▼	
アカムツ	1	0 △△△	0 △△		2	2 △	
その他	21	28 ▼	39 ▼		197	242 ▼	
合計	36	36 →	52 ▼		270	335 ▼	
1隻当たり	0.02	0.03 →	0.04 ▼		0.03	0.04 ▼	
イカ釣り(小型)							
延隻数	104	175 ▼	203 ▼		7,175	5,023 △	
ルメカ	9	146 ▼▼	226 ▼▼		4,907	2,941 △	
1隻当たり	0.09	0.83 ▼▼	1.11 ▼▼		0.68	0.59 →	

※表（比率）の見方

▼▼	～ 50%	△	120～199%
▼	51～ 83%	△△	200～299%
→	84～119%	△△△	300～

石川県水産総合センター漁海況情報 第119号

電話：0768-62-1324 <http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm>

定置網漁業の水揚げ状況について（平成17年漁期）

- ① 集計期間：平成17年漁期（平成17年9月～18年8月）
- ② 漁業種類：石川県内主要港の大型定置網漁業と小型定置網漁業
- ③ 集計対象港：橋立港・金沢港・富来港・輪島港・蛸島港・鶴飼港・松波港・宇出津港・七尾地区

1 漁獲量

石川県内主要港における平成17年漁期（平成17年9月～18年8月）の総漁獲量は13,850トンで、平年（過去10年の平均）の101%、前年の106%でした（図1）。

まいわし資源の減少により平成12年まで減少傾向にありましたが、その後は少し持ち直しています。

2 水揚金額

水揚金額は平年の96%、前年の110%でした（図1）。

平成12年・13年漁期はさわら好漁のため増加しましたが、その後は減少傾向にあります。

3 年間出漁日数

年間の延べ出漁日数は18,853日で、平年の90%、前年の99%でした（図2）。

平成17年漁期は、台風14号に伴う急潮被害に加えエチゼンクラゲの来襲により9月が平年の70%、荒天が続いたことにより12月が平年の78%と大きく減少しました。

年間出漁日数は過去10年間で減少傾向が続いており、平成17年漁期は平成7年漁期の81%でした。

4 県内の産地価格

県内産地価格（定置網漁業）の推移について、平成7年を100とした産地物価指数で見ると、平成17年漁期は92でした（図3）。

マアジ・クロマグロの価格が高めとなったことなどから前年を上回りましたが、過去10年間では低下傾向にあります。

国内製造業の商品価格の指標である国内企業物価指数と比較しても、県内産地物価指数はこれを下回る水準で推移しています。

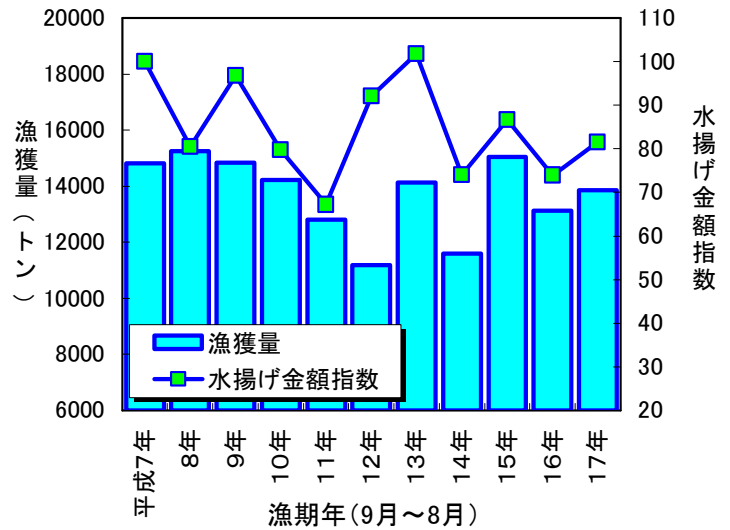


図1 定置網漁業の漁獲量と金額の推移（金額指数については平成7年を100）

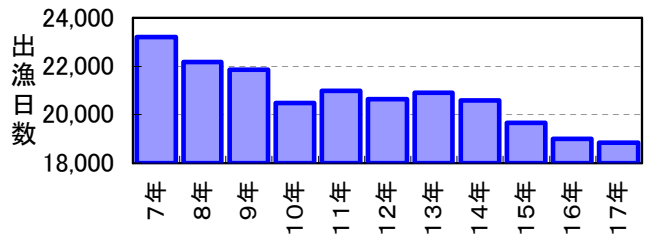


図2 定置網漁業の年間出漁日数の推移

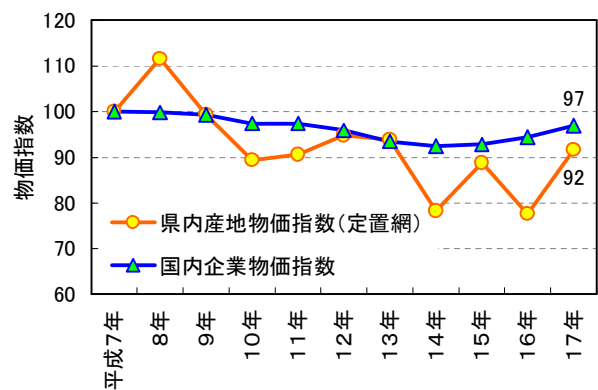


図3 県内産地物価指数（定置網漁業）の推移

5 主要魚種の水揚げ状況(図4)

(1) ぶり・がんど・ふくらぎ

ぶりの漁獲量は417トンで、平年の103%、前年の67%でした。「寒ぶり」の盛漁期である1・2月に限ると、平成15年・16年漁期は平年をかなり上回りましたが、平成17年漁期は平年を下回りました。

がんどの漁獲量は690トンで、平年の690%、前年の496%と、周年にわたって平年を大きく上回る漁獲が続きました。

ふくらぎ(こぞくらを含む。)は599トンで、平年の57%、前年の64%と低調でした。

(2) まあじ

まあじの漁獲量は2,742トンで、平年の94%、前年の82%でした。盛漁期(5~6月)の魚体サイズは例年より大型主体となりました。

(3) まさば

まさばの漁獲量は505トンで、平年の64%、前年の25%と低調でした。

(4) するめいか

するめいかの漁獲量は1,726トンで、平年の189%、前年の287%でした。特に1月・2月が平年の3倍以上と好漁でした。

(5) くろまぐろ・まだい・さわら

くろまぐろの漁獲量は90トンで、平年の96%、前年の83%でした。

まだいの漁獲量は199トンで、平年の100%、前年の128%でした。

さわらの漁獲量は401トンで、平年の162%、前年の70%でした。秋及び春に低調であったため、漁獲量が急増した平成12年以降では最も少ない値となりました。7月以降、外浦海域で小銘柄主体に好漁が続きました。

6 主要魚種の平均単価

過去10年間で主要魚種の平均単価は低下傾向にあります(図5)。

平成7年漁期を100とした指数で見ると、平成17年漁期はぶり77、がんど30、ふくらぎ109、まあじ85、まだい64、するめいか68でした。がんどについては、日本海中部で好漁が続いたこともあり、過去10年間で最も低い値となりました。

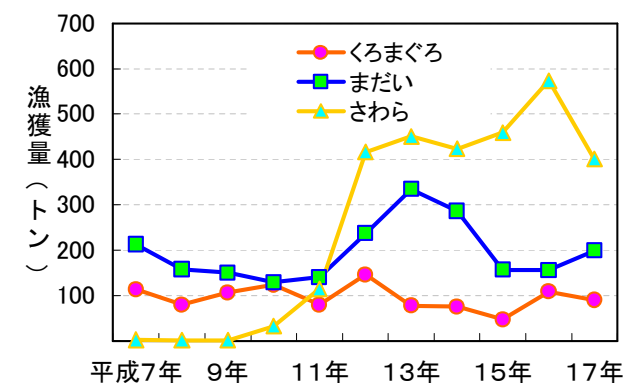
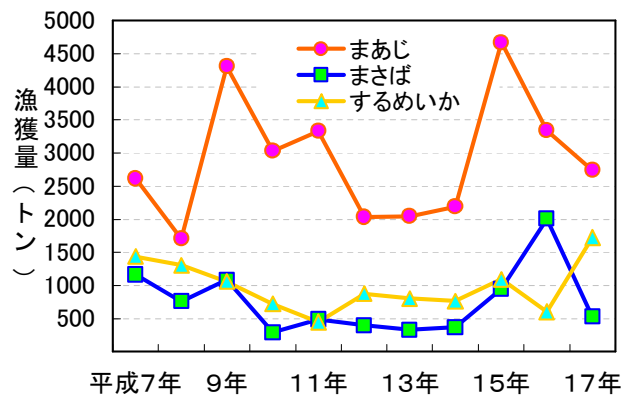
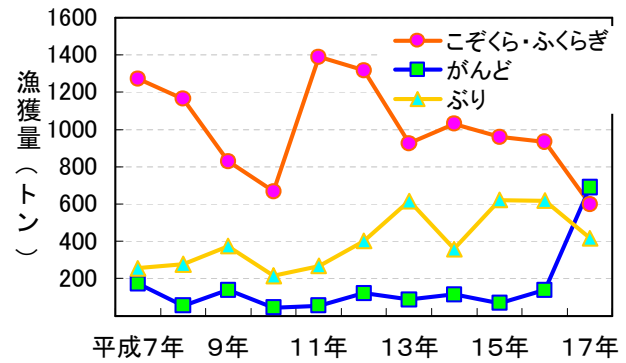


図4 主要魚種の漁獲量の推移

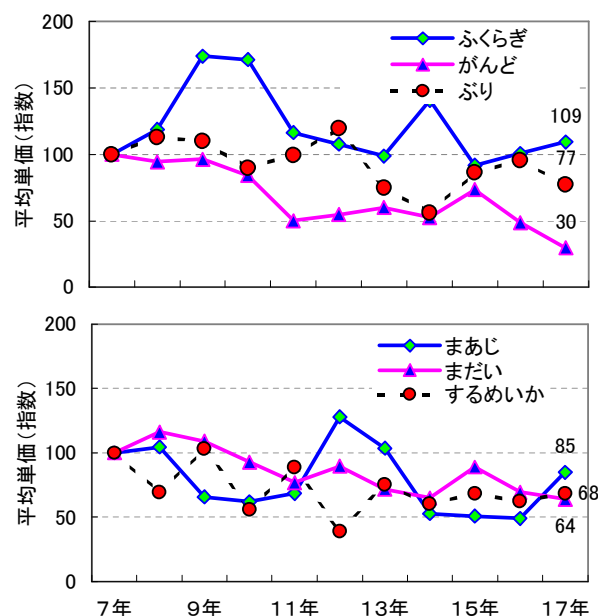


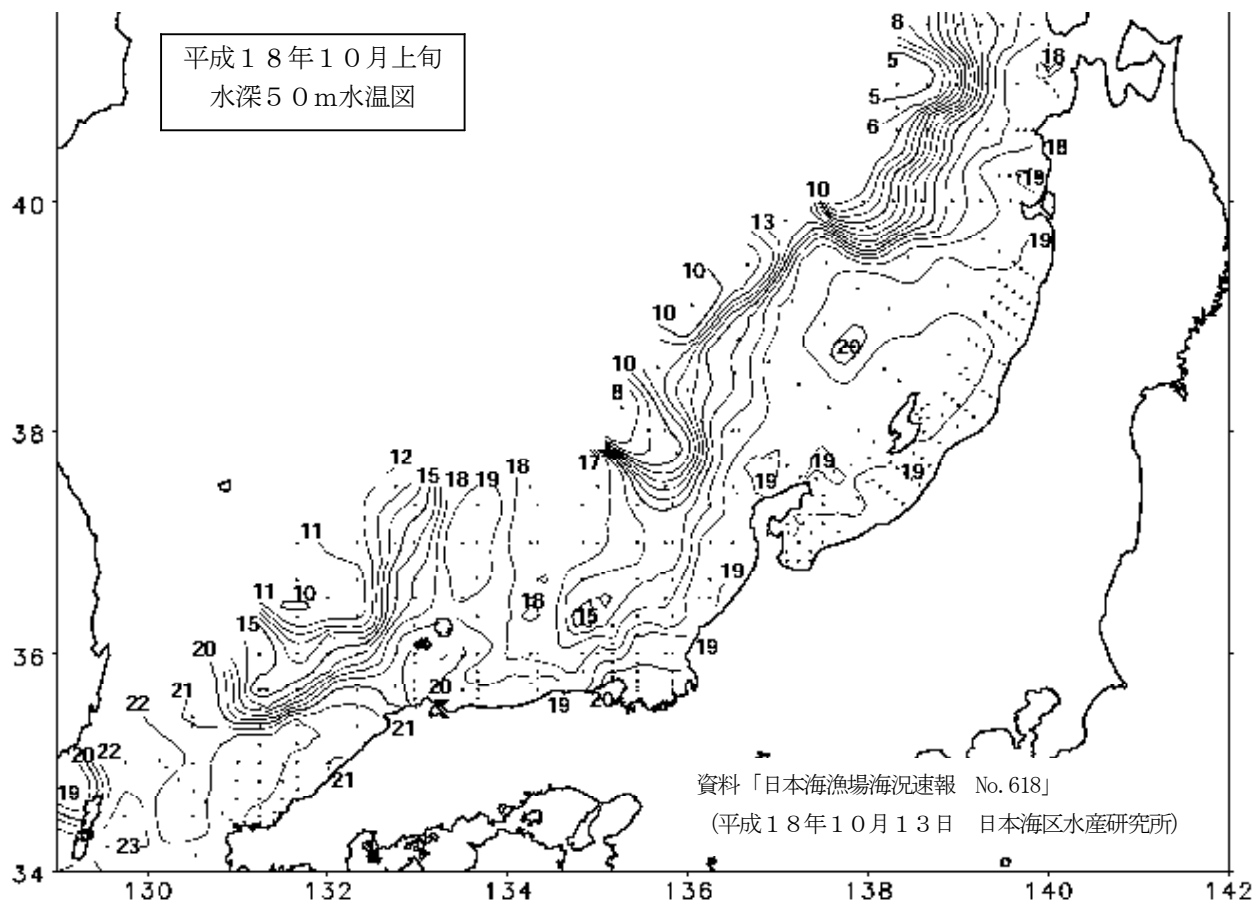
図5 主要魚種の平均単価(指数)の推移 (平成7年=100)

本県周辺海域の水深50m水温は、加賀沖から能登半島西方沖で“やや低め”から“かなり低め”、能登半島北方沖で“平年並み”から“やや低め”、富山湾で“やや低め”。

定置網でフクラギ・コソクラ、底びき網でアマエビ、まき網でマサバ、刺網・釣りでウマツラハギが最も多く漁獲された。

1 水温の状況 — 10月定線観測結果 —

- (1) 本県周辺の水深50m水温は15～19℃台を示し、加賀沖・能登半島西方沖では“やや低め”から“かなり低め”（平年より1～3℃低め）、能登半島北方沖では“平年並み”から“やや低め”（0～1℃低め）、富山湾では“やや低め”（1～2℃低め）の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は21～22℃台を示し、加賀沖・能登半島西方沖では“やや低め”（0～1℃低め）、能登半島北方沖・富山湾では“平年並み”の水温分布を示しています。
- (3) 若狭湾沖の冷水域の張り出しは、加賀沖から能登半島西方沖で引き続き接岸する傾向にあります。
- (4) 対馬暖流域全体の水深50m水温分布を見ると、能登半島北西沖合や島根県沖合は平年と比べてかなり低め、佐渡島北方沖合から山形県沖合はやや高めの海域が広がっています。



2 漁獲の動向 — 9月の漁獲量から —

【定置網】

主要10港合計は**997トン**で、**平年（過去10か年の平均）をやや上回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はフクラギ・コゾクラで402トンと、平年の約2倍に達しました。

サワラは161トンで、外浦海域を主体に平年をかなり上回りました。

マサバは142トンで平年をかなり上回りました。

【底びき網】

主要10港合計は**486トン**で、**平年（過去10か年の平均）をやや下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はアマエビで97トンと平年並でした。

ニギスは61トンで平年をかなり下回りました。

ハタハタは59トンで平年をかなり上回りましたが、最も漁獲量の多い蛸島港では今年5月以降、前年同期を下回る状況が続いています。

【まき網】

主要10港合計は**647トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はマサバで241トンと平年をやや下回りました。

ブリは120トンで平年をかなり上回りました。

ガンドは115トンで平年をかなり下回りました。

【刺網】

主要10港合計は**82トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はウマヅラハギで31トンと平年をやや上回りました。

アマダイは7トンで平年をやや下回りました。

サザエは6トンで平年並でした。

【釣り】

釣りの主要10港合計は**24トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はウマヅラハギで8トンと平年をかなり上回りました。

いか釣り（小型）の主要10港合計は**7トン**で、日本海沖を台風が通過したため**平年を大幅に下回る漁獲量**でした。

3 「平成18年度第3回日本海海況予報」の概要

10月4日に日本海区水産研究所から、10月～12月の海況の見通しが以下のとおり発表されました。

- 対馬暖流域の表面水温は“やや高め”で経過する。
- 対馬暖流の水深50メートルの水温は、日本海西部では“やや低め”、北部では“平年並み”で経過する。
- 山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、やや強い。
- 佐渡島沖の冷水域の張り出しは、やや弱い。

漁獲量統計 (加賀市、漁連、南浦、石川とぎ、輪島市、蛸島、宝立町、内浦、能都町、七尾地区)

定置網漁業

	9月漁獲量 (トン)			累計漁獲量 (9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延統数	1,163	1,041 →	1,429 ▼	1,163	1,429 ▼	
フクラギ、コゾクラ	402	69 △△△	202 △	402	202 △	
サワラ	161	37 △△△	31 △△△	161	31 △△△	
マサバ	142	24 △△△	35 △△△	142	35 △△△	
マアジ	92	90 →	106 →	92	106 →	
シイラ	53	32 △	79 ▼	53	79 ▼	
カタクチイワシ	41	5 △△△	69 ▼	41	69 ▼	
ガンド	11	0 △△△	2 △△△	11	2 △△△	
アオリイカ	10	9 →	11 →	10	11 →	
ブリ	8	0 △△△	1 △△△	8	1 △△△	
マダイ	8	4 △	6 △	8	6 △	
ウマヅラハギ	7	15 ▼▼	19 ▼▼	7	19 ▼▼	
アカカマス	6	4 △	45 ▼▼	6	45 ▼▼	
マイワシ	4	2 △△	28 ▼▼	4	28 ▼▼	
ウルメイワシ	2	18 ▼▼	10 ▼▼	2	10 ▼▼	
マルソウダ	2	7 ▼▼	19 ▼▼	2	19 ▼▼	
その他	48	30 △	82 ▼	48	82 ▼	
合計	997	346 △△	746 △	997	746 △	
1隻当たり	0.86	0.33 △△	0.52 △	0.86	0.52 △	

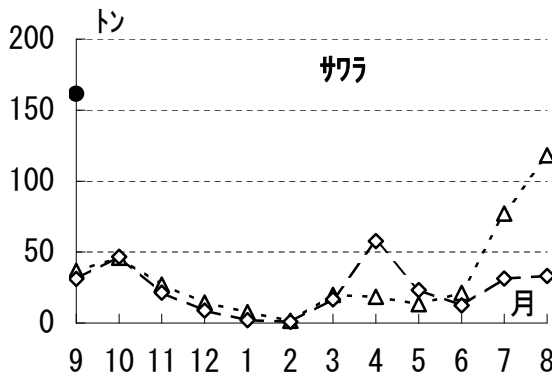
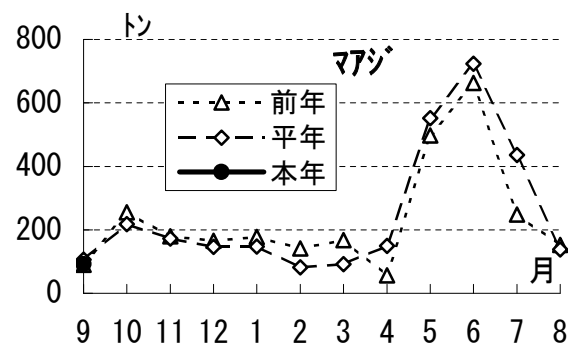
平年値は過去10年平均

他府県漁獲状況 (9月：定置網)

単位：トン

	アジ類	カタクチイワシ	マサバ	フクラギ	サワラ	シイラ	アカカマス	アオリイカ
舞鶴	54.1	66.0	8.7	157.0	225.3	25.9	8.3	2.2
氷見	10.1	13.3	1.0	390.5	0.0	117.9	21.1	32.4

各府県水試調べによる(速報値)

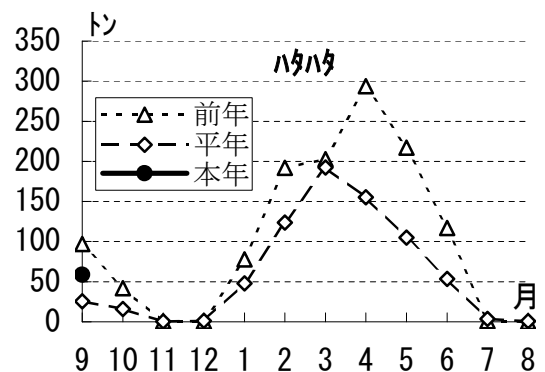
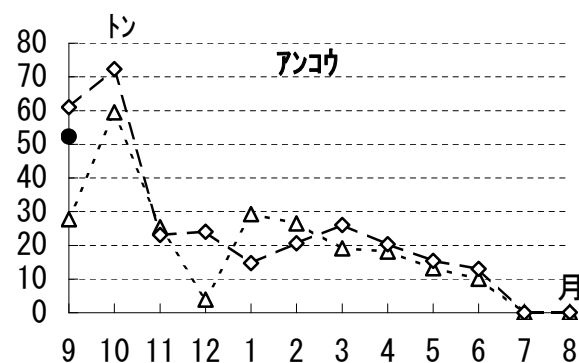
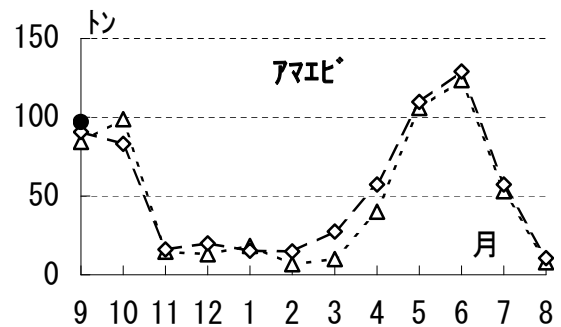
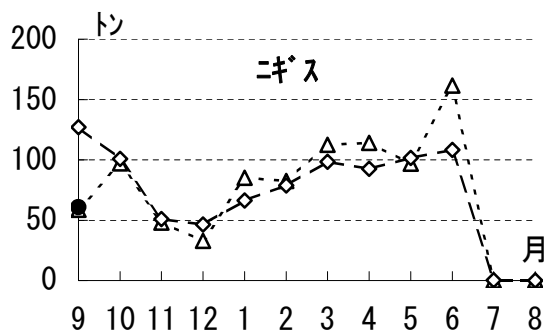


定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

底びき網漁業

	9月漁獲量 (トン)				累計漁獲量 (9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	
延隻数	1,252	1,290 →	1,640 ▼	1,252	1,640 ▼		
アマビ	97	84 →	91 →	97	91 →		
ニギス	61	59 →	127 ▼▼	61	127 ▼▼		
ハタハタ	59	97 ▼	26 △△	59	26 △△		
アンコウ	52	28 △	61 →	52	61 →		
アカガレイ	25	29 →	31 ▼	25	31 ▼		
ヤナギムシガレイ	20	14 △	22 →	20	22 →		
マガレイ	19	14 △	25 ▼	19	25 ▼		
ムシガレイ	18	20 →	25 ▼	18	25 ▼		
ホッケ	13	10 △	10 △	13	10 △		
ガスイビ	12	9 △	16 ▼	12	16 ▼		
ヤリイカ	8	2 △△△	28 ▼▼	8	28 ▼▼		
キダイ	8	6 △	12 ▼	8	12 ▼		
マダイ	7	5 △	10 ▼	7	10 ▼		
ソウハチ	6	10 ▼	13 ▼▼	6	13 ▼▼		
ヒレグロ	5	5 →	5 →	5	5 →		
マコガレイ	4	4 →	4 →	4	4 →		
チダイ	3	2 △	5 ▼	3	5 ▼		
ウマヅラハギ	3	1 △△△	7 ▼▼	3	7 ▼▼		
アカムツ	2	2 →	4 ▼	2	4 ▼		
ハツメ	2	3 ▼	5 ▼▼	2	5 ▼▼		
その他	62	61 →	97 ▼	62	97 ▼		
合計	486	467 →	623 ▼	486	623 ▼		
1隻当たり	0.39	0.36 →	0.38 →	0.39	0.38 →		

平年値は過去10年平均



底びき網における主要魚種別漁獲量の経月変化

まき網漁業

	9月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
延隻数	104	101	→	113	→	526	544	→
マサバ	241	306	▼	414	▼	2,099	4,228	▼▼
ブリ	120	62	△	41	△△	415	143	△△
ガンド	115	302	▼▼	319	▼▼	1,608	483	△△△
マヅ	69	133	▼	298	▼▼	1,358	3,306	▼▼
フクラギ、コブクラ	48	135	▼▼	185	▼▼	319	415	▼
マイワシ	23	0	△△△	37	▼	74	2,237	▼▼
その他	31	7	△△△	136	▼▼	201	1,150	▼▼
合計	647	945	▼	1,430	▼▼	6,074	11,962	▼
1隻当たり	6	9	▼	13	▼▼	12	22	▼

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	9月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
刺網漁業								
延隻数	2,493	2,382	→	3,087	▼	32,787	36,830	→
ウマヅラハギ	31	19	△	25	△	136	120	→
アマダイ類	7	8	▼	10	▼	50	59	→
サザエ	6	5	△	6	→	153	144	→
ハツメ	5	4	→	10	▼▼	54	74	▼
ハタハタ	5	6	▼	1	△△△	30	19	△
キダイ	4	7	▼	6	▼	40	35	→
マダイ	3	4	▼	5	▼	38	49	▼
アカガレイ	2	2	→	1	△	64	46	△
アカムツ	1	2	▼	2	▼	18	11	△
ウスメバル	1	2	▼	3	▼▼	90	167	▼
マダコ	1	1	△	2	▼	21	37	▼
その他	16	23	▼	37	▼▼	847	1,017	→
合計	82	82	→	109	▼	1,540	1,779	→
1隻当たり	0.03	0.03	→	0.04	→	0.05	0.05	→
釣り								
延隻数	1,305	1,538	→	1,634	▼	9,755	10,284	→
ウマヅラハギ	8	3	△△	2	△△△	9	13	▼
マダイ	3	4	→	6	▼	36	44	▼
アカムツ	1	1	△△	1	△	4	3	△
アオリイカ	1	3	▼	2	→	2	2	→
キダイ	1	1	→	0	△	2	1	△
その他	9	27	▼▼	31	▼▼	242	315	▼
合計	24	37	▼	43	▼	294	378	▼
1隻当たり	0.02	0.02	▼	0.03	▼	0.03	0.04	▼
イカ釣り(小型)								
延隻数	5	58	▼▼	150	▼▼	7,180	5,174	△
スルメイカ	7	98	▼▼	237	▼▼	4,914	3,179	△
1隻当たり	1.39	1.70	▼	1.58	→	0.68	0.61	→

※表(比率)の見方

▼▼ ~ 50% △ 120~199%
 ▼ 51~ 83% △△ 200~299%
 → 84~119% △△△ 300~

石川県水産総合センター漁海況情報 第121号

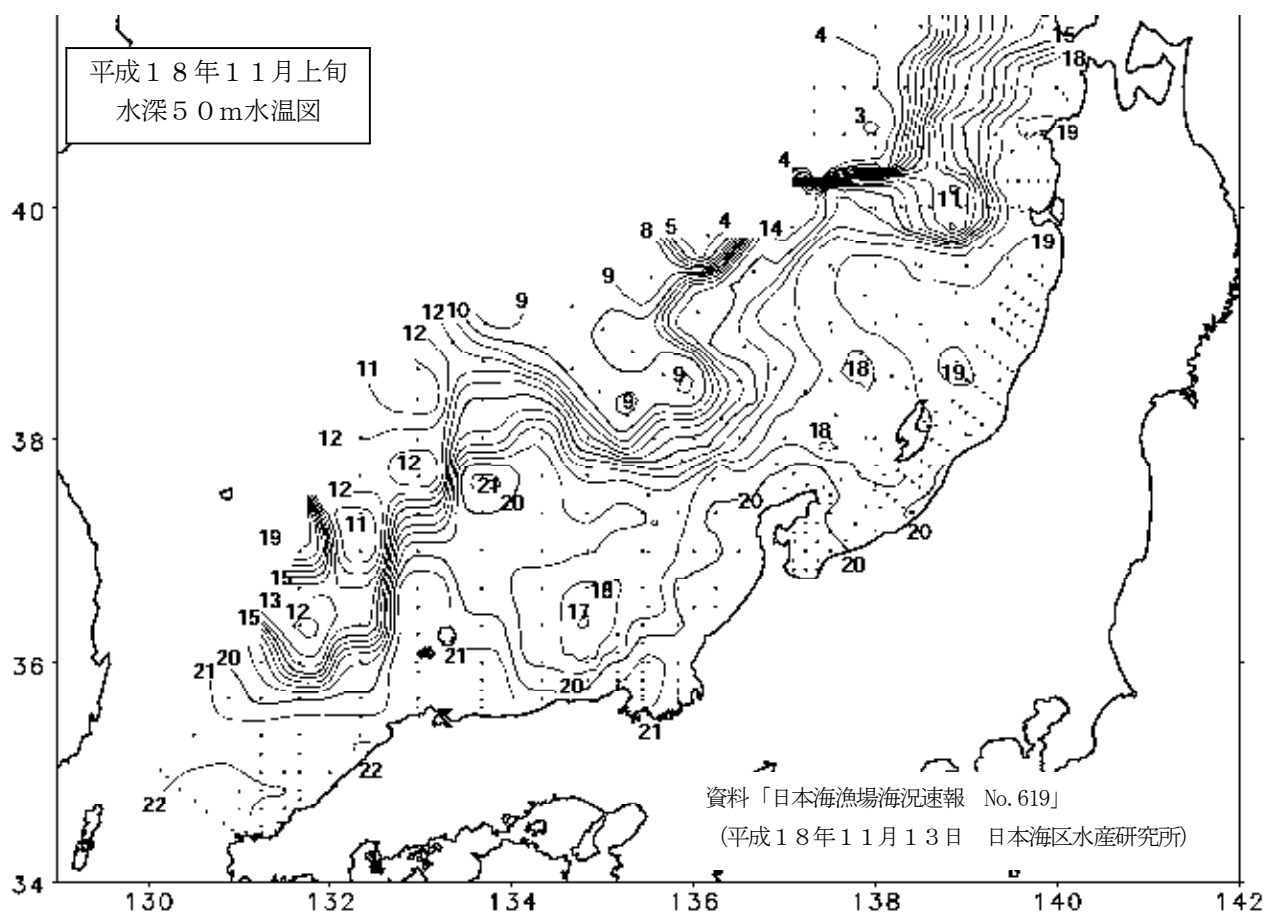
電話：0768-62-1324 <http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm>

本県周辺海域の水深50m水温は、加賀沖から能登半島北方沖で“**平年並み**”から“**やや高め**”、富山湾で“**平年並み**”。

定置網でマアジ、底びき網でニギス、まき網でフクラギ、刺網・釣りでウマツラハギが最も多く漁獲された。

1 水温の状況 — 11月定線観測結果 —

- (1) 本県周辺の水深50m水温は17～20℃台を示し、加賀沖から能登半島北方沖にかけての海域では“平年並み”から“やや高め”(0～1℃高め)、富山湾では“平年並み”の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は19～21℃台を示し、加賀沖から能登半島北方沖にかけての海域では“やや高め”(0～1℃高め)、富山湾では“平年並み”の水温分布を示しています。
- (3) 若狭湾沖の冷水域の張り出しは、先月と比較すると能登半島西方から離岸する傾向にあります。
- (4) 禄剛埼北方、佐渡島北方沖には暖水域が分布しています。
- (5) 対馬暖流域全体の水深50m水温分布を見ると、日本海西部・北部とも沿岸域では“平年並み”から“やや高め”の海域が広がっています。



2 漁獲の動向 — 10月の漁獲量から —

【定置網】

主要10港合計は**1,031トン**で、**平年（過去10か年の平均）並みの漁獲量**でした。
 最も多く漁獲された魚種はマアジで168トンと平年をやや下回りました。
 サワラは164トンで、外浦海域を主体に8月から平年をかなり上回る漁獲が続きました。
 フクラギは133トンで平年をやや下回りました。

【底びき網】

主要10港合計は**816トン**で、**平年をやや上回る漁獲量**でした。
 最も多く漁獲された魚種はニギスで124トンと平年をやや上回りました。
 アマエビは117トンで平年をやや上回りました。
 アンコウは103トンで平年をやや上回りました。

【まき網】

主要10港合計は**802トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。
 最も多く漁獲された魚種はフクラギで279トンと平年並みでした。
 マサバは155トンで平年をかなり下回りました。
 ガンドは128トンで平年をやや下回りました。

【刺網】

主要10港合計は**142トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。
 最も多く漁獲された魚種はウマヅラハギで43トンと平年並みでした。
 ハツメ（あからばちめ）は31トンで平年をかなり上回りました。
 ウスメバル（やなぎばちめ）は9トンで平年をかなり上回りました。

【釣り】

釣りの主要10港合計は47トンで、**平年をやや下回る漁獲量**でした。
 最も多く漁獲された魚種はウマヅラハギで12トンと平年をかなり上回りました。
いか釣り（小型）の主要10港合計は29トンで、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

ズワイガニ・コウバコガニの水揚げ状況（11月6日～20日の速報値）

石川県沖では11月6日からズワイガニ・コウバコガニの漁期が始まっています。
 11月20日までの橋立港・金沢港・蛸島港におけるズワイガニ(雄)の漁獲量は32トンで、前年比63%、平年（過去10か年の平均）比52%と低調なスタートになりました。
 荒天が続いたことから延べ出漁回数が平年の66%と大幅に減少したこともありますが、出漁1回当たりの漁獲量をみても前年比82%、平年比78%と低い値になっています。
 近年のズワイガニ(雄)漁獲量は低い水準で横ばい傾向にあり、この傾向は今漁期も続いています。
 また、この期間のコウバコガニの漁獲量は77トンで、前年比94%、平年比119%と好漁であった昨年並みの水揚げとなっています。
 出漁1回当たりの漁獲量をみても前年比125%、平年比176%と過去10年間で最も高い値となっています。
 コウバコガニ漁獲量は平成14年漁期以降で増加傾向にありますが、今漁期も安定した水揚げが続いています。

橋立港・金沢港・蛸島港のズワイガニ漁獲量（11月6日～20日まで）

	漁獲量(トン)					出漁1回当たりの平均漁獲量	
	本年	前年	前年比	平年	平年比	前年比	平年比
ずわいがかに	32	50	63%	62	52%	85%	80%
こうばこがに	78	83	94%	66	119%	125%	176%
合計	110	133	83%	128	86%	110%	131%

各港の毎日の漁獲量は水産総合センターのホームページで確認できます。
<http://www.pref.ishikawa.jp/suisan/center/sigenbu.htm>

漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鶴飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

定置網漁業

	10月漁獲量 (トン)			累計漁獲量 (9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延統数	1,532	1,662 →	1,873 ▼	2,695	3,301 ▼	
マアジ	168	255 ▼	218 ▼	260	324 ▼	
サワラ	164	46 △△△	47 △△△	326	78 △△△	
フクラギ	133	61 △△	169 ▼	535	371 △	
シイラ	113	54 △△	107 →	166	186 →	
マルソウダ	98	373 ▼▼	164 ▼	100	183 ▼	
マサバ	87	31 △△	39 △△	229	74 △△△	
アオリイカ	62	39 △	39 △	72	51 △	
アカカマス	44	32 △	97 ▼▼	50	142 ▼▼	
マダイ	23	8 △△	7 △△△	31	14 △△	
ウマヅラハギ	10	43 ▼▼	45 ▼▼	17	65 ▼▼	
ウルメイワシ	6	12 ▼▼	25 ▼▼	8	35 ▼▼	
ブリ	4	1 △△△	4 →	12	5 △△	
ヒラメ	3	1 △	1 △△	4	2 △△	
ソデイカ	2	1 △△	6 ▼▼	2	7 ▼▼	
ガンド	2	32 ▼▼	8 ▼▼	13	10 △	
その他	113	59 △	205 ▼	204	383 ▼	
合計	1,031	1,048 →	1,181 →	2,028	1,927 →	
1隻当たり	0.67	0.63 →	0.63 →	0.75	0.58 △	

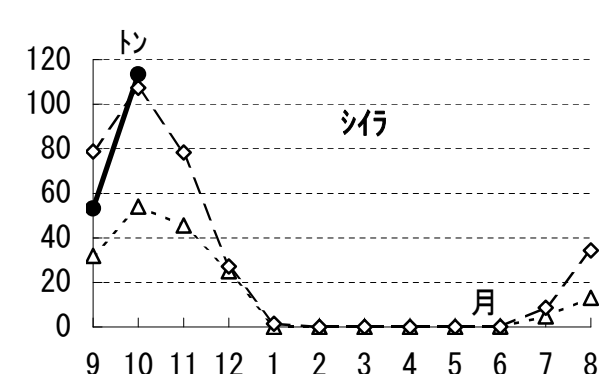
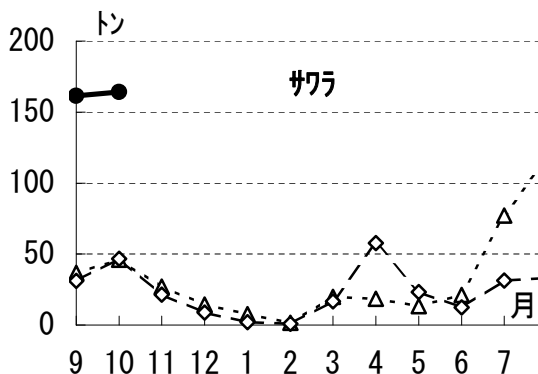
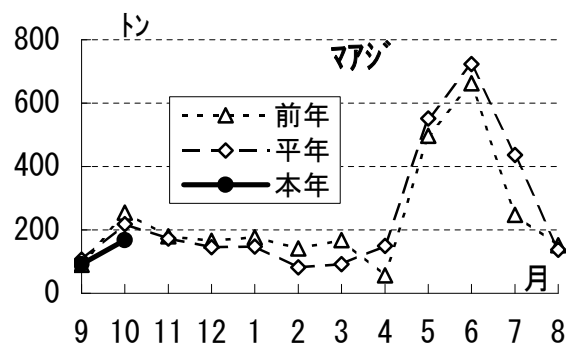
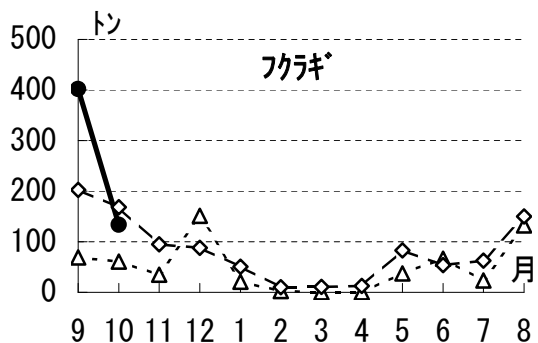
平年値は過去10年平均

単位：トン

他府県漁獲状況 (10月：定置網)

	フクラギ	アジ類	アカカマス	シイラ	マルソウダ	アオリイカ	サワラ	カワハギ類
舞鶴	162.7	170.5	11.4	13.1	6.0	7.9	61.8	12.4
氷見	107.4	7.5	105.6	95.6	75.3	65.9	0.0	19.8

各府県水試調べによる(速報値)

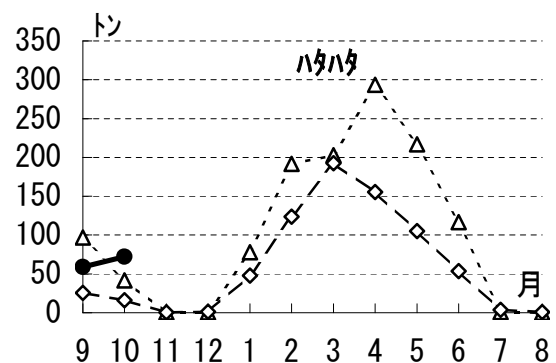
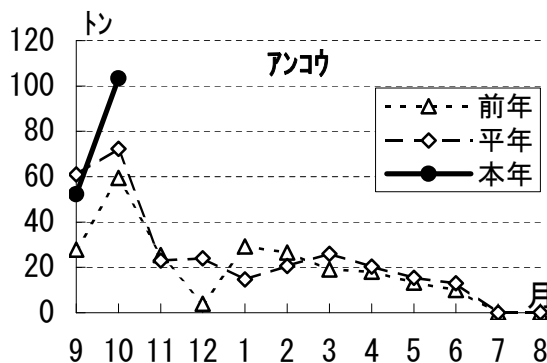
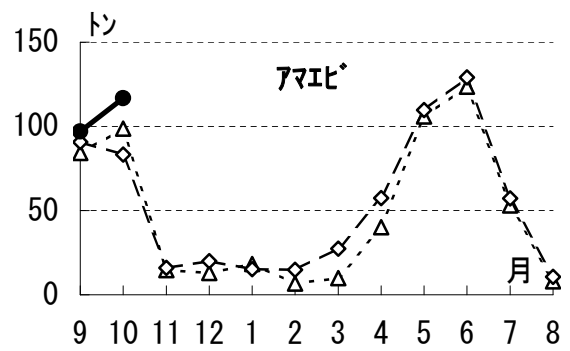
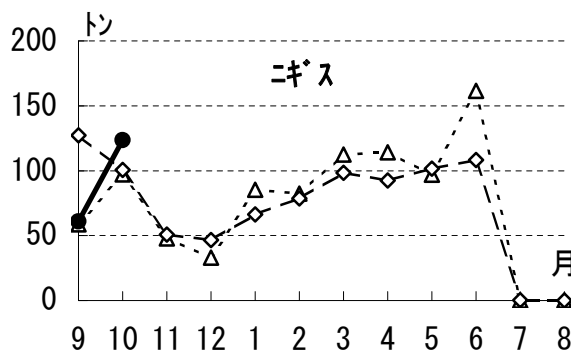


定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

底びき網漁業

	10月漁獲量 (トン)				累計漁獲量 (9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延隻数	1,816	1,486 △	1,583 →		3,068	3,223 →	
ニギス	124	97 △	101 △		184	228 ▼	
アマビ	117	99 →	83 △		214	174 △	
アンコウ	103	59 △	72 △		156	133 →	
ホッケ	97	26 △△△	21 △△△		110	31 △△△	
ハタハタ	72	42 △	16 △△△		131	42 △△△	
マガレイ	36	14 △△	20 △		55	44 △	
ヤキムシガレイ	31	13 △△	20 △		50	42 →	
ヤリカ	29	39 ▼	43 ▼		38	71 ▼	
ムシガレイ	29	16 △	21 △		47	46 →	
アカガレイ	24	19 △	27 →		49	58 →	
ガスイビ	11	9 △	15 ▼		23	32 ▼	
キダイ	9	6 △	7 △		17	19 →	
マダイ	9	5 △	7 △		16	17 →	
ソウハチ	6	4 △	8 ▼		11	21 ▼	
ヒレグロ	5	5 →	5 →		10	10 →	
アカムツ	4	2 △△	3 △		6	7 →	
マコガレイ	3	3 →	2 △		7	6 →	
チダイ	3	2 △	3 →		6	8 ▼	
マアジ	3	3 →	5 ▼		4	8 ▼	
マダラ	2	3 ▼	4 ▼		4	6 ▼	
その他	98	105 →	108 →		162	211 ▼	
合計	816	572 △	592 △		1,302	1,215 →	
1隻当たり	0.45	0.38 →	0.37 △		0.42	0.38 →	

平年値は過去10年平均



底びき網における主要魚種別漁獲量の経月変化

まき網漁業

	10月漁獲量 (トン)				累計漁獲量 (1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延隻数	123	53 △△	96 △		649	640	→
フクラギ	279	85 △△△	328 →		597	743	▼
マサバ	155	532 ▼▼	467 ▼▼		2,253	4,695	▼▼
ガンド	128	44 △△	254 ▼		1,736	737	△△
ブリ	119	9 △△△	54 △△		534	197	△△
マヅ	106	28 △△△	349 ▼▼		1,464	3,655	▼▼
サワ	7	2 △△△	13 ▼		9	15	▼
その他	9	21 ▼▼	211 ▼▼		283	3,595	▼▼
合計	802	720 →	1,675 ▼▼		6,876	13,637	▼
1隻当たり	7	14 ▼▼	17 ▼▼		11	21	▼▼

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	10月漁獲量 (トン)				累計漁獲量 (1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
刺網漁業							
延隻数	3,184	2,474 △	2,681 →		35,971	39,511	→
ウマヅラハギ	43	35 △	38 →		179	157	→
ハツメ	31	16 △	15 △△		85	89	→
ウスメバル	9	10 →	5 △△		99	172	▼
アマダイ類	8	8 →	8 →		58	68	→
キダイ	6	6 →	5 →		45	40	→
マダイ	4	3 △	4 →		42	52	▼
ガンド	4	12 ▼▼	4 →		80	79	→
フクラギ	3	1 △△	2 △		201	264	▼
サザエ	3	1 △△	2 △		156	146	→
ヒラメ	2	1 △△	2 △		17	18	→
メダイ	2	2 →	3 ▼		23	47	▼▼
その他	26	30 →	35 ▼		697	767	→
合計	142	125 →	121 →		1,682	1,900	→
1隻当たり	0.04	0.05 →	0.05 →		0.05	0.05	→
釣り							
延隻数	1,927	2,408 ▼	2,192 →		11,682	12,476	→
ウマヅラハギ	12	10 △	5 △△		21	18	→
ガンド	7	24 ▼▼	10 ▼		60	35	△
フクラギ	5	5 →	5 →		24	24	→
マダイ	4	7 ▼	8 ▼		40	51	▼
サワ	3	2 △	1 △△△		3	1	△△△
その他	15	32 ▼▼	40 ▼▼		193	316	▼
合計	47	80 ▼	68 ▼		341	445	▼
1隻当たり	0.02	0.03 ▼	0.03 ▼		0.03	0.04	▼
イカ釣り(小型)							
延隻数	14	22 ▼	141 ▼▼		7,194	5,314	△
スルメイカ	29	25 →	168 ▼▼		4,943	3,347	△
1隻当たり	2.07	1.14 △	1.19 △		0.69	0.63	→

※表 (比率) の見方

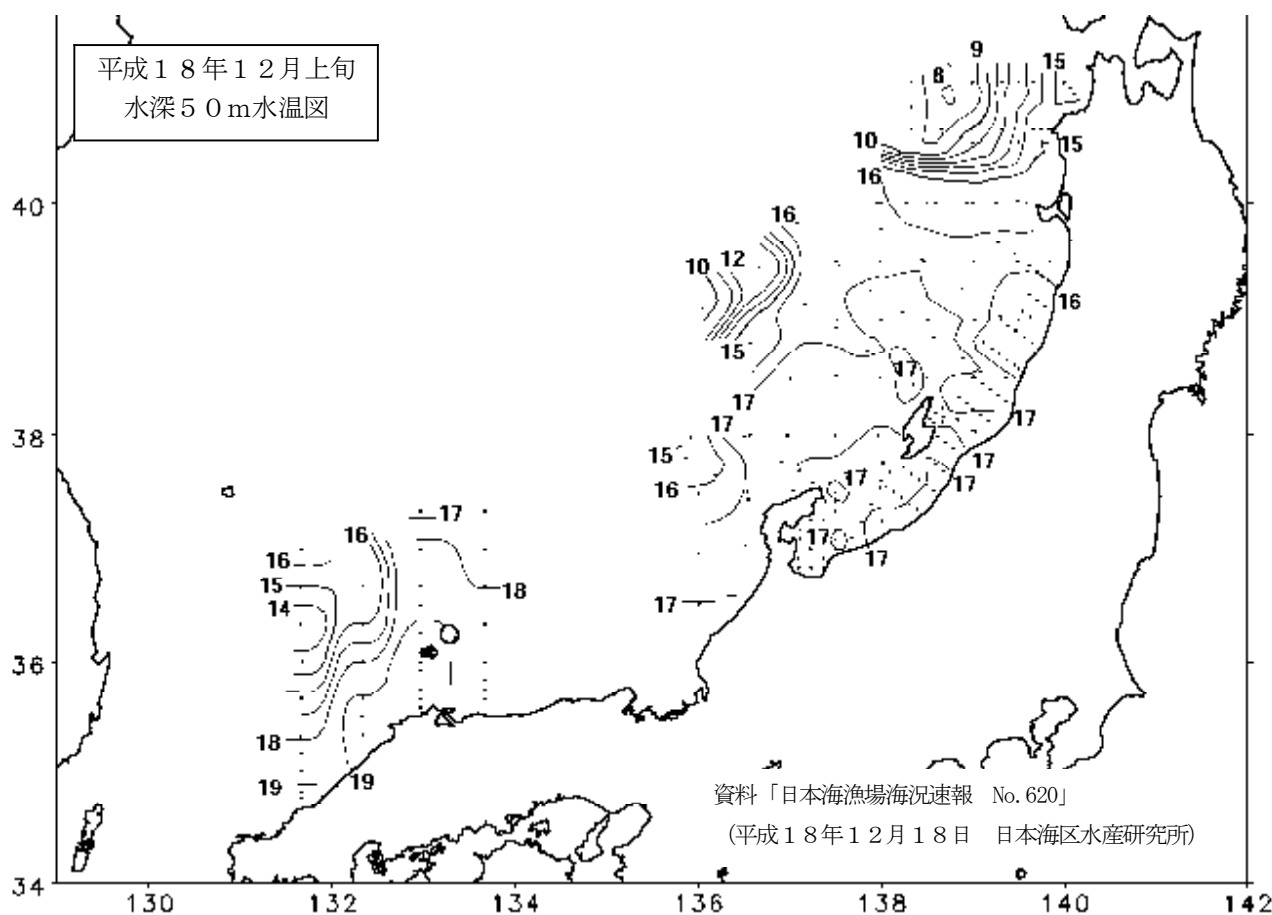
▼▼	~ 50%	△	120~199%
▼	51~ 83%	△△	200~299%
→	84~119%	△△△	300~

本県周辺海域の水深50m水温は、能登半島北方沖で“やや高め”から“かなり高め”、富山湾で“平年並み”。

定置網でサワラ・カタクチイワシが好漁、底びき網でズワイガニ(雄)が平年を下回り、コウバコガニが平年並みとなった。

1 水温の状況 — 12月定線観測結果 —

- (1) 本県周辺の水深50m水温は16～17℃台を示し、能登半島北方沖では“やや高め”から“かなり高め”(0～1℃高め)、富山湾では“平年並み”の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は16～17℃台を示し、能登半島北方沖では“やや高め”(0～1℃高め)、富山湾では“平年並み”の水温分布を示しています。
- (3) 禄剛埼北方から佐渡島北方沖には、先月から引き続き暖水域が分布しています。
- (4) 対馬暖流域全体の水深50m水温分布を見ると、日本海西部・北部とも沿岸域では“平年並み”から“かなり高め”の海域が広がっています。



2 漁獲の動向 — 11月の漁獲量から —

【定置網】

主要10港合計は**1,169トン**で、**平年（過去10か年の平均）並みの漁獲量**でした。
最も多く漁獲された魚種はソウダガツオで244トンと平年をやや上回りました。
カタクチイワシは197トンで、11月では過去10か年で最も多い漁獲量となり、12月以降も好漁が続いています。
マアジは117トンで平年をやや下回りました。
サワラ（さごしも含む）は99トンで平年をかなり上回り、内浦全域で好漁となりました。

【底びき網】

主要10港合計は**366トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。
11月6日からズワイガニ漁が始まりましたが、ズワイガニ（雄）は72トンで平年をやや下回りました。コウバコガニは125トンで平年並みでした。
ニギスは22トンで平年をかなり下回りました。
アマエビは22トンで平年をやや上回りました。

【まき網】

主要10港合計は**829トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。
最も多く漁獲された魚種はフクラギで468トンと平年をやや上回りました。
ブリは155トンで平年をかなり上回りました。
ガンドは112トンで平年並でした。

【刺網】

主要10港合計は**100トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。
最も多く漁獲された魚種はアンコウで30トンと平年をやや下回りました。
ウマヅラハギ（かわはぎ）は19トンで平年をやや下回りました。
ハツメ（あからばちめ）は3トンで平年をかなり下回りました。

【釣り】

釣りの主要10港合計は**50トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。
最も多く漁獲された魚種はフクラギで11トンと平年並みでした。
いか釣り（小型）の主要10港合計は**33トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鶴飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

定置網漁業

	11月漁獲量 (トン)			累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延統数	1,430	1,640 →	1,705 →	4,125	5,006 ▼	
ソウダカツオ	244	224 →	177 △	344	360 →	
カタチイワシ	197	10 △△△	18 △△△	240	160 △	
マアジ	117	179 ▼	173 ▼	377	496 ▼	
サワラ	99	27 △△△	21 △△△	424	99 △△△	
アオリイカ	84	91 →	65 △	156	116 △	
シイラ	77	46 △	78 →	243	264 →	
フクラギ	60	35 △	95 ▼	595	466 △	
アカマス	54	19 △△	67 ▼	104	208 ▼▼	
マサバ	35	13 △△	21 △	264	95 △△	
ブリ	22	2 △△△	21 →	34	25 △	
マダイ	17	8 △△	8 △	47	22 △△	
タチウオ	11	1 △△△	2 △△△	12	4 △△△	
ウマヅラハギ	11	50 ▼▼	65 ▼▼	28	130 ▼▼	
ソデイカ	10	2 △△△	12 ▼	12	19 ▼	
ウルメイワシ	6	11 ▼	14 ▼▼	14	48 ▼▼	
その他	125	100 △	174 ▼	303	425 ▼	
合計	1,169	819 △	1,011 →	3,197	2,938 →	
1隻当たり	0.82	0.50 △	0.59 △	0.78	0.59 △	

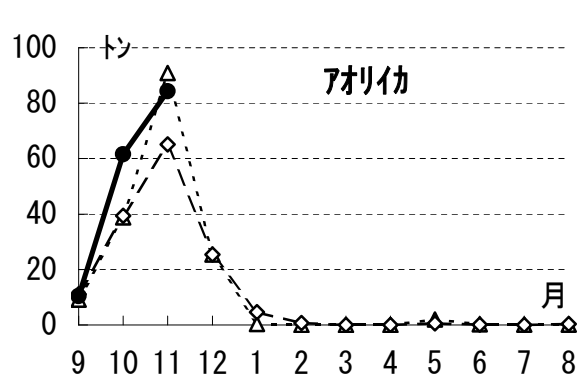
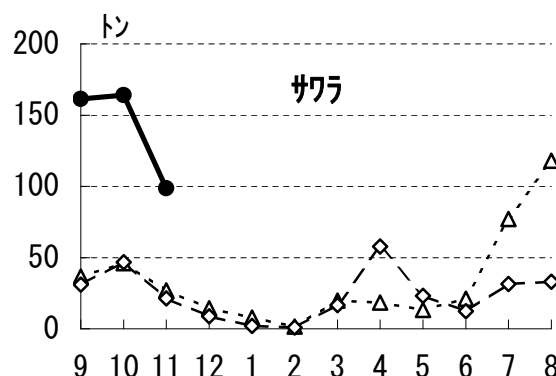
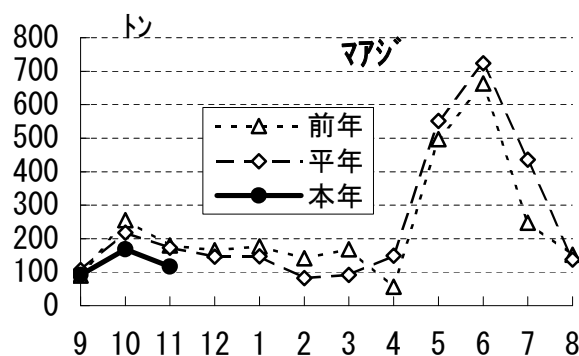
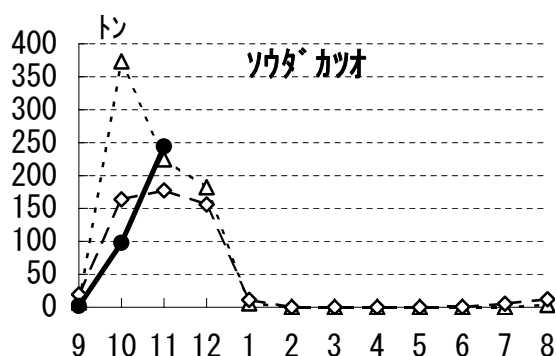
平年値は過去10年平均

他府県漁獲状況 (11月：定置網)

単位：トン

	マルソウダ	サワラ	アジ類	フクラギ	カタチイワシ	アオリイカ	シイラ	マサバ
舞鶴	1.3	287.3	156.5	18.3	43.7	15.8	19.4	38.1
氷見	437.8	0.0	10.5	93.2	22.5	49.9	36.0	5.4

各府県水試調べによる(速報値)

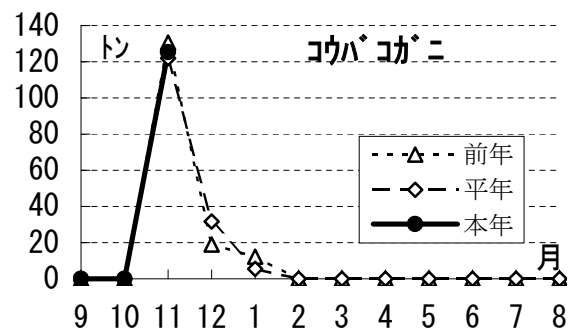
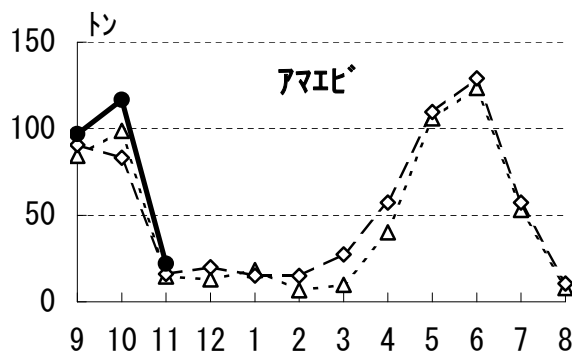
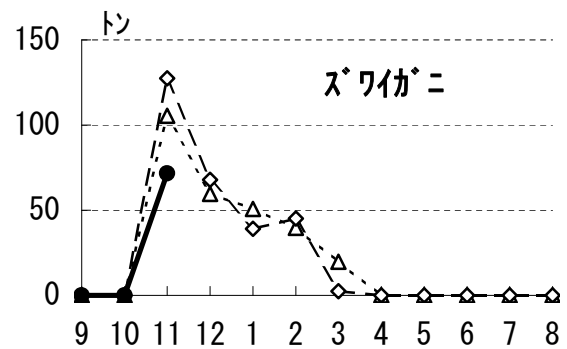
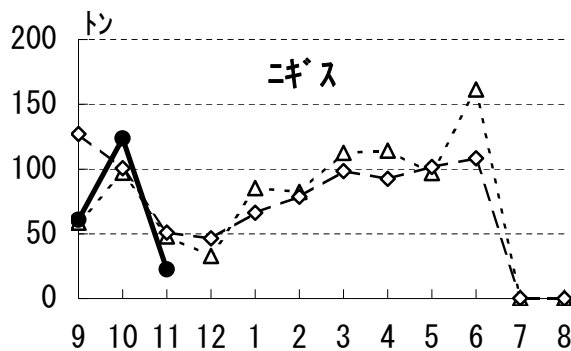


定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

底びき網漁業

	11月漁獲量 (トン)				累計漁獲量 (9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延隻数	851	1,271 ▼	1,265 ▼		3,919	4,488 →	
コウバコガニ	125	131 →	122 →		125	122 →	
スライガニ	72	106 ▼	127 ▼		72	127 ▼	
ホッケ	26	7 ▲▲▲	7 ▲▲▲		136	38 ▲▲▲	
ニギス	22	48 ▼▼	51 ▼▼		207	279 ▼	
アマビ	22	15 ▲	16 ▲		236	190 ▲	
アカガレイ	21	52 ▼▼	72 ▼▼		70	131 ▼	
アンコウ	9	25 ▼▼	23 ▼▼		165	156 →	
マダラ	8	9 ▼	10 ▼		12	16 ▼	
ヒレゴロ	6	9 ▼	9 ▼		16	20 ▼	
ハツメ	6	3 ▲	10 ▼		9	20 ▼▼	
ガスイビ	5	6 ▼	7 ▼		28	38 ▼	
ハタハタ	4	0 ▲▲▲	0 ▲▲▲		135	42 ▲▲▲	
カニ類	4	3 →	1 ▲▲▲		8	6 ▲	
ヤリカ	4	5 ▼	8 ▼▼		41	79 ▼	
ヤナギムシガレイ	3	8 ▼▼	7 ▼▼		53	49 →	
ムシガレイ	2	5 ▼▼	4 ▼▼		49	50 →	
キダイ	1	4 ▼▼	2 ▼		19	21 →	
マダイ	1	2 ▼	2 ▼		18	20 →	
ソウハチ	1	1 ▼	2 ▼▼		12	23 ▼	
マガレイ	1	4 ▼▼	4 ▼▼		56	49 →	
その他	24	39 ▼	46 ▼		202	271 ▼	
合計	366	482 ▼	532 ▼		1,668	1,747 →	
1隻当たり	0.43	0.38 →	0.42 →		0.43	0.39 →	

平年値は過去10年平均



底びき網における主要魚種別漁獲量の経月変化

まき網漁業

	11月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
延隻数	114	103	→	98	→	763	738	→
フナギ	468	151	△△△	282	△	1,065	1,024	→
ブリ	155	11	△△△	14	△△△	689	211	△△△
ガント	112	9	△△△	109	→	1,848	846	△△
マヅ	54	45	→	553	▼▼	1,517	4,208	▼▼
マサバ	34	237	▼▼	560	▼▼	2,287	5,255	▼▼
サワ	2	6	▼▼	5	▼▼	10	20	▼
その他	5	22	▼▼	62	▼▼	288	3,657	▼▼
合計	829	482	△	1,586	▼	7,705	15,223	▼
1隻当たり	7	5	△	16	▼▼	10	21	▼▼

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	11月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
刺網漁業								
延隻数	1,639	1,831	→	2,134	▼	37,610	41,645	→
アコウ	30	29	→	44	▼	47	84	▼
ウマヅラハギ	19	17	→	27	▼	198	184	→
ハツメ	3	6	▼	8	▼▼	88	97	→
アマダイ類	3	3	→	3	▼	60	71	→
サエ	2	1	△	2	△	158	148	→
ウスメバル	2	2	→	1	△	102	173	▼
ガント	2	1	△	1	△	82	81	→
マダイ	2	1	△	2	▼	44	55	▼
マダコ	2	1	→	3	▼▼	24	42	▼
ミスダコ	2	2	→	1	△	26	34	▼
ホッケ	1	0	△△△	1	△	8	30	▼▼
その他	32	35	→	36	→	944	1,032	→
合計	100	99	→	131	▼	1,782	2,031	→
1隻当たり	0.06	0.05	→	0.06	→	0.05	0.05	→
釣り								
延隻数	1,147	1,668	▼	1,587	▼	12,829	14,063	→
フナギ	11	8	△	11	→	34	35	→
マダラ	11	62	▼▼	22	▼▼	25	33	▼
ガント	10	8	△	5	△	70	40	△
ウマヅラハギ	4	11	▼▼	5	▼	25	23	→
サワ	3	2	△	1	△△△	6	2	△△△
ブリ	2	0	△△△	3	▼	18	17	→
その他	10	14	▼	28	▼▼	212	371	▼
合計	50	105	▼▼	76	▼	391	521	▼
1隻当たり	0.04	0.06	▼	0.05	→	0.03	0.04	▼
イカ釣り(小型)								
延隻数	17	20	→	102	▼▼	7,211	5,416	△
スルメイカ	33	21	△	250	▼▼	4,976	3,597	△
1隻当たり	1.93	1.06	△	2.45	▼	0.69	0.66	→

※表(比率)の見方

▼▼ ~ 50% △ 120~199%
 ▼ 51~ 83% △△ 200~299%
 → 84~119% △△△ 300~

定置網では寒ブリが平年をやや上回り、カタクチイワシが平年をかなり上回った。底びき網ではズワイガニ(雄)が平年並み、コウバコガニが平年をやや上回った。

1 水温の状況

ー沿岸・沖合水温観測結果ー

平成18年に石川県外浦海域で実施した沿岸・沖合水温観測結果は表1のとおりです。(観測海域：珠洲市禄剛埼および輪島市猿山岬から北西方向に概ね200kmの範囲)

水深0～50m層の水温は、8月まで概ね「平年並み」で推移しましたが、9月以降は冷水域が能登半島西岸に近づいたことから、30m・50m層で「かなり低め」から「はなはだ低め」となりました。

水深100m以深の水温は、4月まで「平年並み」から「やや高め」で推移しましたが、5月以降に「やや低め」に転じ、9月には「かなり低め」から「はなはだ低め」となりました。

表1 平成18年の石川県外浦海域における水深別の平均水温と平年差

水深	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
0m		10.5 ▼	9.9 →	10.1 →	11.1 ▼▼	16.6 →		24.3 →	26.3 △	21.8 ▼	19.8 △	
10m		10.5 ▼	9.9 →	10.0 →	11.1 ▼▼	16.3 →		23.5 →	26.1 △	21.8 ▼	19.6 △	
30m		10.5 ▼	9.9 →	10.0 →	10.9 ▼	14.2 →		18.8 →	19.0 ▼▼▼	20.2 ▼▼	19.3 →	
50m		10.5 ▼	9.9 →	9.9 →	10.7 →	12.6 →		16.5 →	15.3 ▼▼	14.4 ▼▼▼	15.6 ▼▼▼	
100m		9.9 →	9.6 →	9.1 →	9.1 ▼	9.4 ▼		10.6 →	8.7 ▼▼▼	8.1 ▼▼▼	8.0 ▼▼▼	
150m		8.5 →	8.6 △	6.7 →	6.0 ▼▼	5.2 ▼▼		5.0 ▼▼	3.4 ▼▼▼	3.3 ▼▼▼	2.9 ▼▼▼	
200m		5.9 △	6.2 △	4.0 →	3.7 ▼	3.0 ▼		2.6 ▼	2.1 ▼▼	1.9 ▼▼	1.8 ▼▼	
300m		1.8 △	2.1 △	1.2 →	1.1 ▼	1.1 ▼		1.1 ▼	1.0 ▼	0.9 ▼	0.9 ▼	

凡 例

△△△	はなはだ高い	▼	やや低い
△△	かなり高い	▼▼	かなり低い
△	やや高い	▼▼▼	はなはだ低い
→	平年並み		

ー地先水温観測結果ー

平成18年に加賀市橋立港・志賀町赤住地先・能登町宇出津新港・七尾市石崎港で実施した水温観測結果は表2のとおりです。

3月～7月はすべての観測点で平年(過去20年間の平均水温)を下回りました。特に4月は橋立で「かなり低め」、志賀町・宇出津・石崎で「はなはだ低め」となりました。

8月以降は概ね「平年並み」に戻り、11月・12月はすべての観測点で「平年並み」ないし平年を上回りました。

表2 平成18年の石川県沿岸における地先水温と平年差

観測点		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
外浦	橋立港	月平均(°C)	9.7	9.1	9.6	11.4	15.5	19.7	23.6	27.2	22.9	20.5	17.2	13.6
		平年差(°C)	-0.9	-0.4	-0.9	-1.8	-1.3	-0.9	-1.3	-0.1	-1.9	-0.2	0.4	0.4
	評価	▼	→	▼	▼▼	▼▼	▼	▼	→	▼▼	→	→	→	
志賀町地先	月平均(°C)	10.7	9.0	8.9	10.7	14.8	18.9	22.8	26.3	22.3	19.9	17.0	14.0	
		平年差(°C)	0.3	-0.3	-1.1	-1.6	-0.9	-0.6	-0.8	0.2	-1.8	-0.5	0.4	0.8
	評価	→	▼	▼▼▼	▼▼▼	▼	▼▼	▼	→	▼▼	→	→	△	
内浦	宇出津港	月平均(°C)	12.4	10.5	9.9	10.6	14.5	19.1	22.4	27.2	24.9	21.6	19.0	16.2
		平年差(°C)	0.7	0.3	-0.3	-1.3	-1.1	-0.8	-1.1	0.3	-0.3	0.1	1.0	1.5
	評価	△	→	→	▼▼▼	▼▼	▼	▼	→	→	→	△	△△	
七尾湾	石崎港	月平均(°C)	7.4	8.1	9.2	11.2	16.6	21.2	23.7	29.9	24.7	20.8	15.0	11.4
		平年差(°C)	-0.8	0.0	-0.6	-2.2	-0.6	-0.3	-1.1	1.8	-0.3	0.6	0.0	0.6
	評価	▼	→	→	▼▼▼	▼	→	▼	△	→	△	→	→	

平年差は過去20年間の平均水温との差
(志賀町については15年間の平均を用いた。)

凡	例		
△△△	はなはだ高い	▼	やや低い
△△	かなり高い	▼▼	かなり低い
△	やや高い	▼▼▼	はなはだ低い
→	平年並み		

2 漁獲の動向 - 12月の漁獲量から -

【定置網】

主要10港合計は**2,306トン**で、**平年(過去10か年の平均)をかなり上回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はカタクチイワシで908トンと平年をかなり上回りました。11月以降、好漁が続いており、12月では過去10か年で最も多い漁獲量となりました。

ソウダガツオは434トンで平年をかなり上回りました。

ブリは303トン、フクラギは132トンで平年をやや上回りました。

【底びき網】

主要10港合計は**421トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はニギスで72トンと平年をやや上回りました。

ズワイガニは66トンで平年並み、コウバコガニは45トンで平年をやや上回りました。

アマエビは40トンで平年をかなり上回りました。

【まき網】

主要10港合計は**862トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はマサバで238トンと平年をかなり下回りました。

ブリは148トン、フクラギは235トンで、平年をかなり上回りました。ガンドは19トンで平年をかなり下回りました。

【刺網】

主要10港合計は**186トン**で、**平年をやや上回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はマダラで100トンと平年をかなり上回りました。

アンコウは19トンで平年をかなり下回りました。

ウマヅラハギ(かわはぎ)は12トンで平年並みでした。

【釣り】

釣りの主要10港合計は**53トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はマダラで27トンと平年をやや上回りました。

いか釣り(小型)の主要10港合計は**93トン**で、**平年をやや下回る漁獲量**でした。

漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鵜飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

定置網漁業

	12月漁獲量 (トン)				累計漁獲量(9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)		本年	平年 (比率)	
延統数	1,529	1,409 →	1,739 →		5,654	6,746 →	
カタチイワシ	908	37 △△△	20 △△△		1,148	180 △△△	
マルソウダ	434	182 △△	156 △△		778	516 △	
ブリ	303	166 △	191 △		337	216 △	
フクラギ	132	151 →	88 △		458	469 →	
マアジ	103	166 ▼	146 ▼		480	642 ▼	
アカマス	52	9 △△△	12 △△△		156	221 ▼	
マサバ	42	56 ▼	31 △		306	127 △△	
シイラ	41	25 △	27 △		284	292 →	
サワラ	36	14 △△	9 △△△		460	108 △△△	
マダイ	28	27 →	12 △△		76	34 △△	
アオリイカ	26	25 →	25 →		182	141 △	
ウマヅラハギ	22	48 ▼▼	125 ▼▼		50	254 ▼▼	
メジ	17	8 △△	23 ▼		22	46 ▼▼	
ヤリイカ	15	1 △△△	3 △△△		18	3 △△△	
スルメイカ	13	18 ▼	53 ▼▼		19	62 ▼▼	
その他	134	114 →	118 →		731	667 →	
合計	2,306	1,048 △△	1,041 △△		5,503	3,978 △	
1隻当たり	1.51	0.74 △△	0.60 △△		0.97	0.59 △	

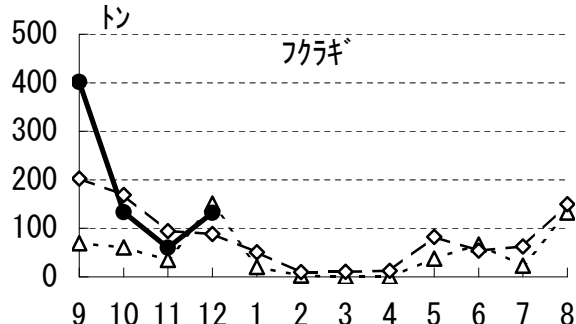
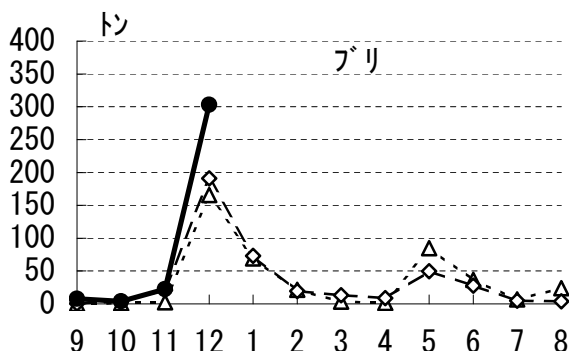
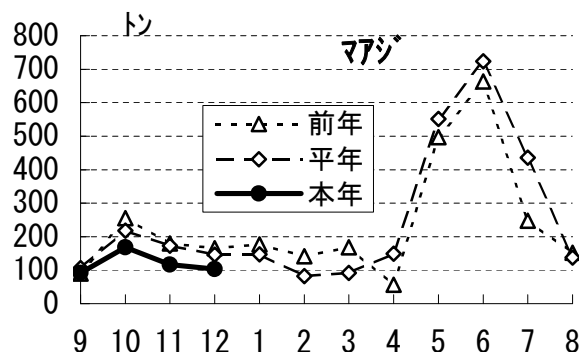
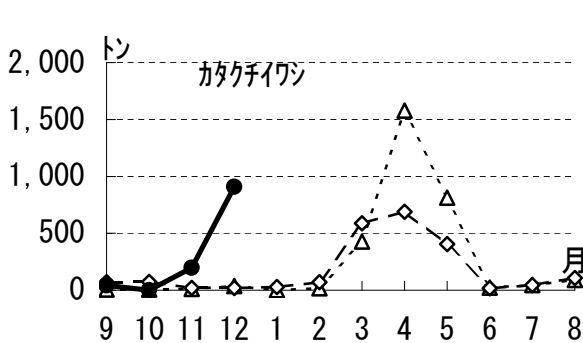
平年値は過去10年平均

他府県漁獲状況 (12月：定置網)

単位：トン

	マルソウダ	アジ類	カタチイワシ	サワラ	ブリ、ガント	シイラ	マクロ類	マサバ
舞鶴	72.7	121.5	46.8	122.0	13.7	9.4	1.5	28.4
氷見	193.1	21.1	95.5	0.0	82.2	61.1	35.3	5.5

各府県水試調べによる(速報値)

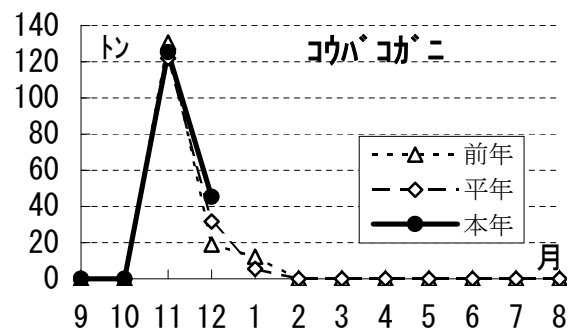
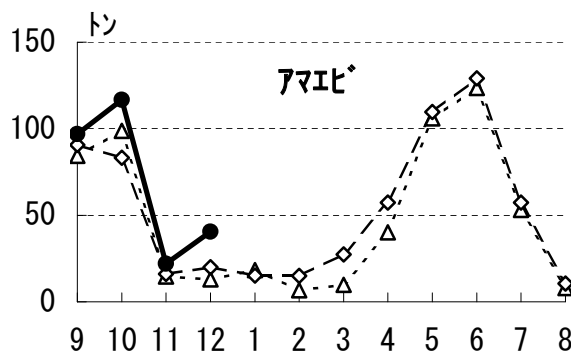
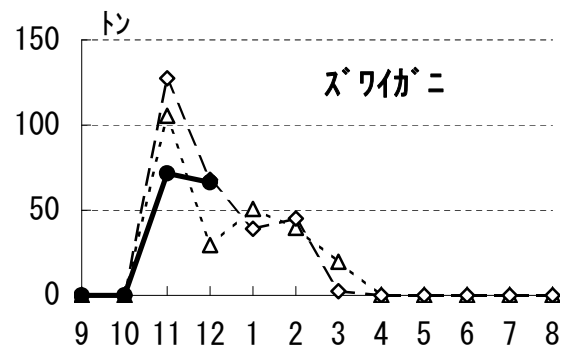
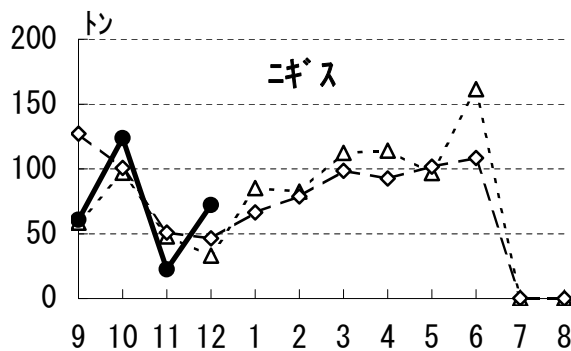


定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

底びき網漁業

	12月漁獲量 (トン)				累計漁獲量 (9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)		
延隻数	1,236	534 △△	1,101 →	5,155	5,589 →		
ニギス	72	33 △△	47 △	279	325 →		
スワイガニ	66	30 △△	68 →	138	195 ▼		
コウバコ	45	19 △△	32 △	171	154 →		
アンコウ	42	4 △△△	24 △	207	180 →		
アマヒ	40	13 △△△	20 △△	276	210 △		
アカガレイ	27	14 △	52 ▼	97	183 ▼		
ガスヒ	11	8 △	16 ▼	39	54 ▼		
ヤナギムシガレイ	11	1 △△△	4 △△	65	53 △		
アカムツ	8	0 △△△	1 △△△	15	8 △		
ヒレグロ	7	4 △△	7 →	23	26 →		
マダラ	7	3 △△	6 →	19	23 ▼		
ヤリイカ	6	2 △△	10 ▼	47	89 ▼		
ホッケ	5	2 △△	5 →	141	44 △△△		
カニ類	5	2 △△	2 △△	13	7 △		
ミスガニ	5	2 △△	4 →	5	5 →		
ハツメ	4	3 △	8 ▼	13	28 ▼▼		
マガレイ	4	0 △△△	3 △	61	52 →		
ムシガレイ	4	1 △△△	3 △	53	53 →		
イカ類	3	0 △△△	1 △△	8	30 ▼▼		
マダイ	1	4 ▼▼	4 ▼▼	19	24 ▼		
その他	46	20 △△	71 ▼	401	392 →		
合計	421	165 △△	388 →	2,089	2,135 →		
1隻当たり	0.34	0.31 →	0.35 →	0.41	0.38 →		

平年値は過去10年平均



底びき網における主要魚種別漁獲量の経月変化

まき網漁業

	12月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
延隻数	93	42	△△	63	△	856	801	→
マサバ	238	49	△△△	735	▼▼	2,525	5,990	▼▼
フクラギ	235	51	△△△	92	△△	43	90	▼▼
マサジ	186	14	△△△	330	▼	1,704	4,538	▼▼
ブリ	148	3	△△△	11	△△△	837	222	△△△
ガント	19	69	▼▼	41	▼▼	1,867	887	△△
マルウダ	6	0	—	3	△	6	23	▼▼
その他	29	3	△△△	37	▼	1,585	4,721	▼▼
合計	862	190	△△△	1,248	▼	8,567	16,471	▼
1隻当たり	9	5	△△	20	▼▼	10	21	▼▼

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	12月漁獲量(トン)				累計漁獲量(1月より)			
	本年	前年	(比率)	平年	(比率)	本年	平年	(比率)
刺網漁業								
延隻数	1,976	598	△△△	1,667	→	39,586	43,312	→
マダラ	100	4	△△△	6	△△△	278	58	△△△
アンコウ	19	15	△	47	▼▼	66	131	▼
ウマヅラハギ	12	3	△△△	11	→	210	195	→
ガント	8	0	△△△	5	△	89	85	→
アカガレイ	5	4	△	5	→	71	52	△
ミスダコ	4	1	△△△	7	▼	30	41	▼
メダイ	4	2	△	5	▼	27	55	▼▼
マダイ	3	0	△△△	1	△△	47	56	→
サザエ	2	1	△△△	2	△	160	149	→
マダコ	2	1	△△	3	▼	26	45	▼
フクラギ	2	0	△△△	1	△	204	267	▼
その他	26	6	△△△	20	△	759	1,008	▼
合計	186	38	△△△	113	△	1,968	2,143	→
1隻当たり	0.09	0.06	△	0.07	△	0.05	0.05	→
釣り								
延隻数	778	532	△	829	→	13,607	14,892	→
マダラ	27	0	△△△	17	△	52	49	→
フクラギ	11	0	△△△	9	△	45	44	→
ガント	4	1	△△△	2	△△	74	42	△
ウマヅラハギ	1	1	→	2	▼	27	25	→
サワラ	1	0	△△△	0	△△△	7	2	△△△
ブリ	1	0	△△△	1	▼	19	18	→
その他	7	8	▼	24	▼▼	219	395	▼
合計	53	11	△△△	55	→	444	576	▼
1隻当たり	0.07	0.02	△△△	0.07	→	0.03	0.04	→
イカ釣り(小型)								
延隻数	82	20	△△△	101	▼	7,293	5,517	△
スルメイカ	93	4	△△△	121	▼	5,068	3,718	△
1隻当たり	1.13	0.18	△△△	1.20	→	0.69	0.67	→

※表(比率)の見方

▼▼ ~ 50% △ 120~199%
 ▼ 51~ 83% △△ 200~299%
 → 84~119% △△△ 300~

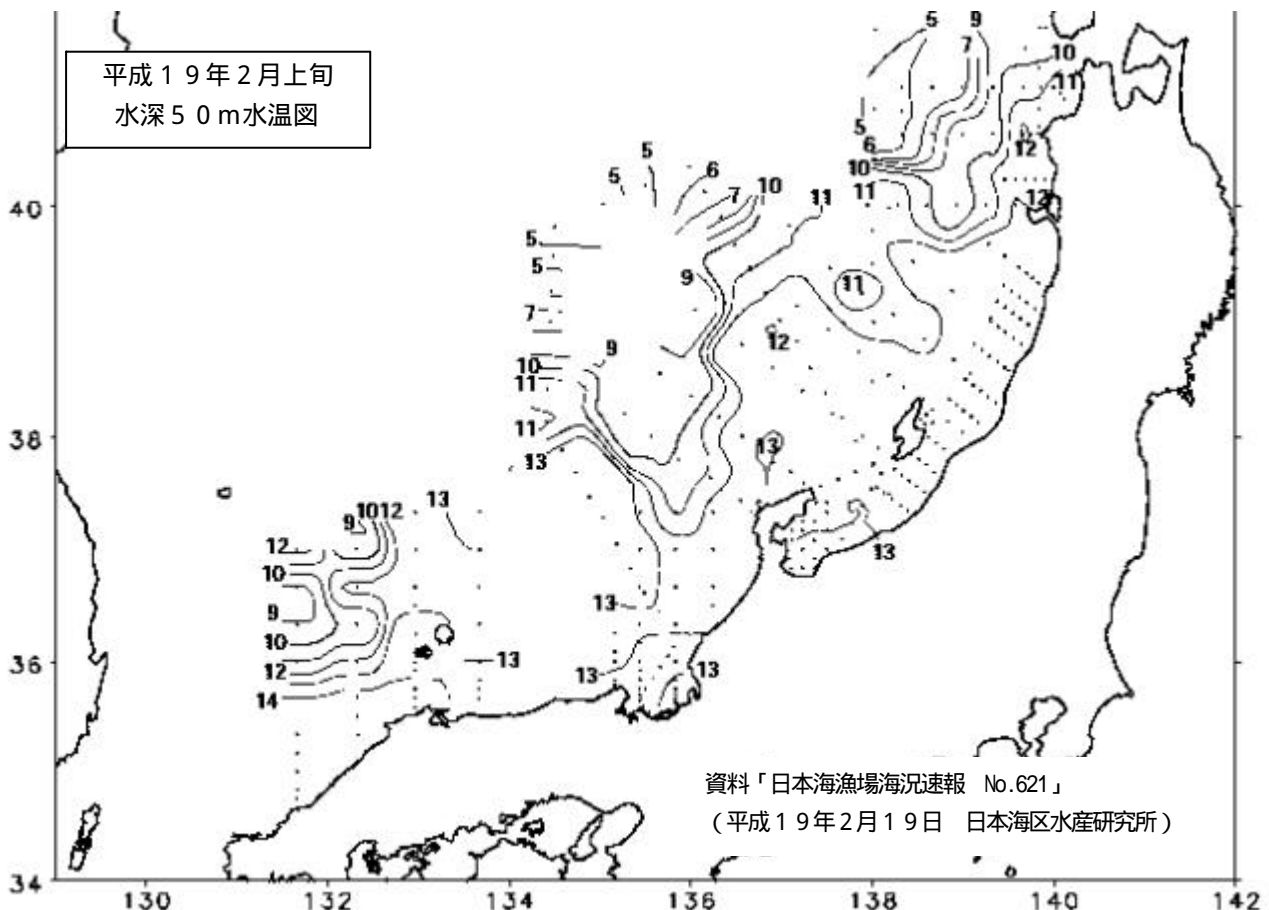


本県周辺海域の水深50m水温は、加賀沖で「やや高め」、能登半島北方沖・富山湾で「かなり高め」。

定置網ではブリが平年をかなり上回り、スルメイカが平年をかなり下回った。底びき網ではズワイガニ(雄)が平年並み、アマエビが平年をかなり上回った。

1 水温の状況 - 2月定線観測結果 -

- (1) 本県周辺の水深50m水温は12～13 台を示し、加賀沖から能登半島西方沖にかけての海域では「やや高め」(0～1 高め)、能登半島北方沖から富山湾にかけての海域では「かなり高め」(1～2 高め)の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は12～13 台を示し、加賀沖では「やや高め」(0～1 高め)、能登半島西方沖から富山湾にかけての海域では「かなり高め」から「はなはだ高め」(1～2 高め)の水温分布を示しています。
- (3) 若狭沖の冷水域の張り出しは、能登半島西方沖でやや接岸しています。
- (4) 佐渡沖の冷水域の張り出しは、能登半島からかなり離れています。
- (5) 対馬暖流域全体の水深50m水温分布を見ると、日本海西部・北部とも「やや高め」から「かなり高め」の海域が広がっています。



2 漁獲の動向 - 1月の漁獲量から -

【定置網】

主要10港合計は1,036トンで、**平年（過去10か年の平均）並みの漁獲量**でした。
最も多く漁獲された魚種はカタクチイワシで447トンと平年をかなり上回り、11月以降、好漁が続いています。

ブリは181トンで平年をかなり上回りました。寒ブリの漁期である12月から1月の累計は484トンで平年（264トン）を上回りました。

スルメイカは25トンで平年をかなり下回りました。

【底びき網】

主要10港合計は503トンで、**平年をやや上回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はニギスで114トンと平年をやや上回りました。

ズワイガニ（雄）は40トン、コウバコガニは6トンでいずれも平年並みでした。コウバコガニは1月10日で終漁となり、解禁からの累計は176トンで平年（159トン）並みでした。アマエビは31トンで平年をかなり上回りました。

【まき網】

主要10港合計は247トンで、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はマサバで121トンと平年をかなり下回りました。

マアジは105トンで平年をかなり下回りました。

【刺網】

主要10港合計は132トンで、**平年並みの漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はマダラで48トンと平年をやや上回りました。

ウマヅラハギ（かわはぎ）は19トンで平年をかなり上回りました。

アカガレイは13トンで平年並みでした。

【釣り】

釣りの主要10港合計は11トンで、**平年をやや下回る漁獲量**でした。

最も多く漁獲された魚種はマダラで1トンと平年をかなり下回りました。

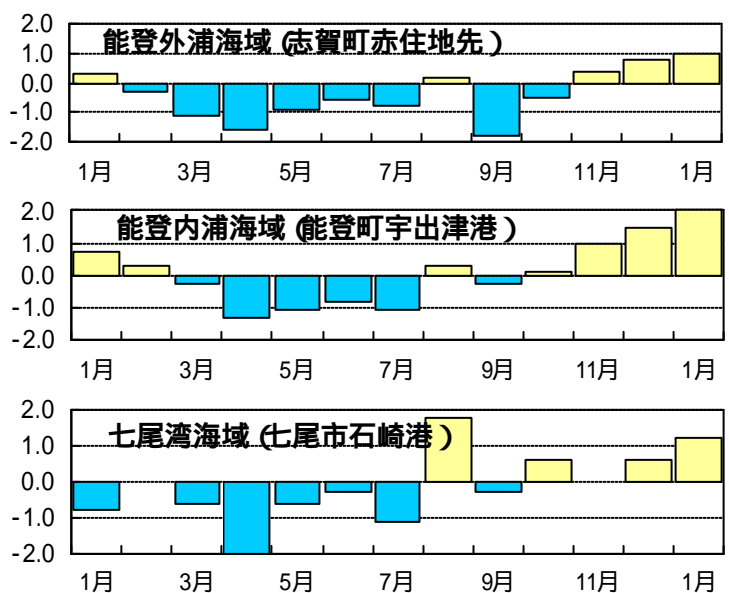
いか釣り（小型）の主要10港合計は17トンで、**平年並みの漁獲量**でした。

冬季の地先水温について

今冬は気温が高く、降雪量が非常に少ない状況が続いていますが、地先水温も平年と比べてかなり高めで推移しています。

県内各地先における1月の月平均水温は以下のとおりです。

- ・志賀町赤住地先 11.4 （平年差 +1.0）
- ・能登町宇出津港 13.7 （平年差 +2.0）
- ・七尾市石崎港 9.4 （平年差 +1.2）



石川県沿岸における地先水温の平年差
（平成18年1月～19年1月）

漁獲量統計（橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鵜飼港、松波港、宇出津港、七尾地区）

定置網漁業

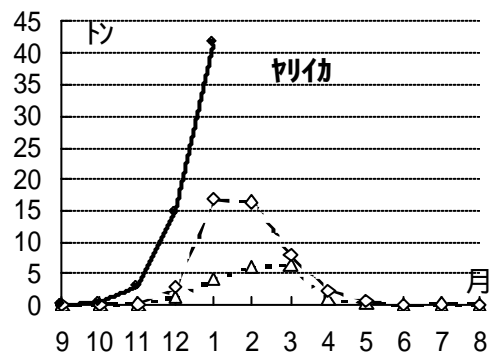
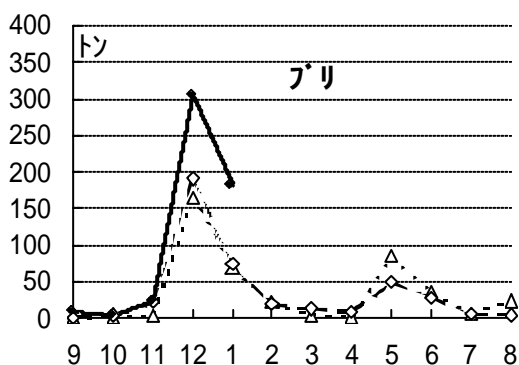
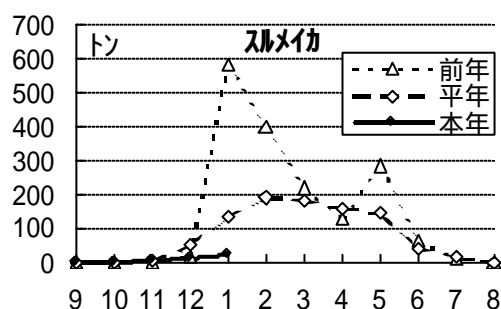
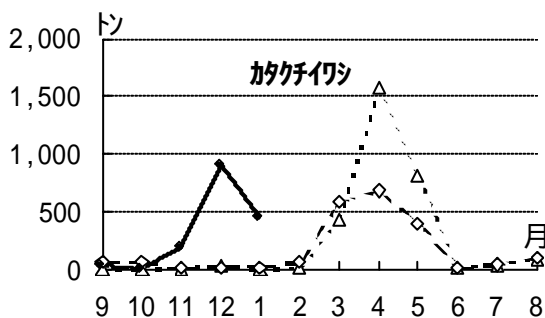
	1月漁獲量（トン）			累計漁獲量(9月より)	
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)
延統数	1,264	1,267	1,409	6,918	8,155
カクチイワシ	447	0	27	1,594	207
ブリ	181	69	73	518	290
マアジ	77	177	148	557	790
ウマツラハキ	75	66	224	125	479
ヤリイカ	41	4	17	59	20
マルソウダ	27	6	11	805	527
スルメイカ	25	585	136	44	198
フクラギ	24	21	51	751	605
メジ	13	32	18	34	64
マイワシ	11	0 --	29	19	76
ウルメイワシ	10	1	34	33	99
マサハ	7	36	70	313	197
マダイ	6	15	6	82	40
サワラ	6	8	2	467	110
ガンド	6	185	27	27	46
その他	80	96	87	1,111	1,190
合計	1,036	1,300	959	6,539	4,937
1隻当たり	0.82	1.03	0.68	0.95	0.61

平年値は過去10年平均
単位：トン

他府県漁獲状況（1月：定置網）

	アジ類	カクチイワシ	ブリ・ガンド	サワラ	カハギ類	ソウダカツオ	マグロ類	マサハ
舞鶴	141.4	14.8	76.2	55.0	1.6	0.0	1.1	21.5
氷見	12.9	124.8	31.5	0.0	35.1	34.1	28.7	7.0

各府県水試調べによる（速報値）

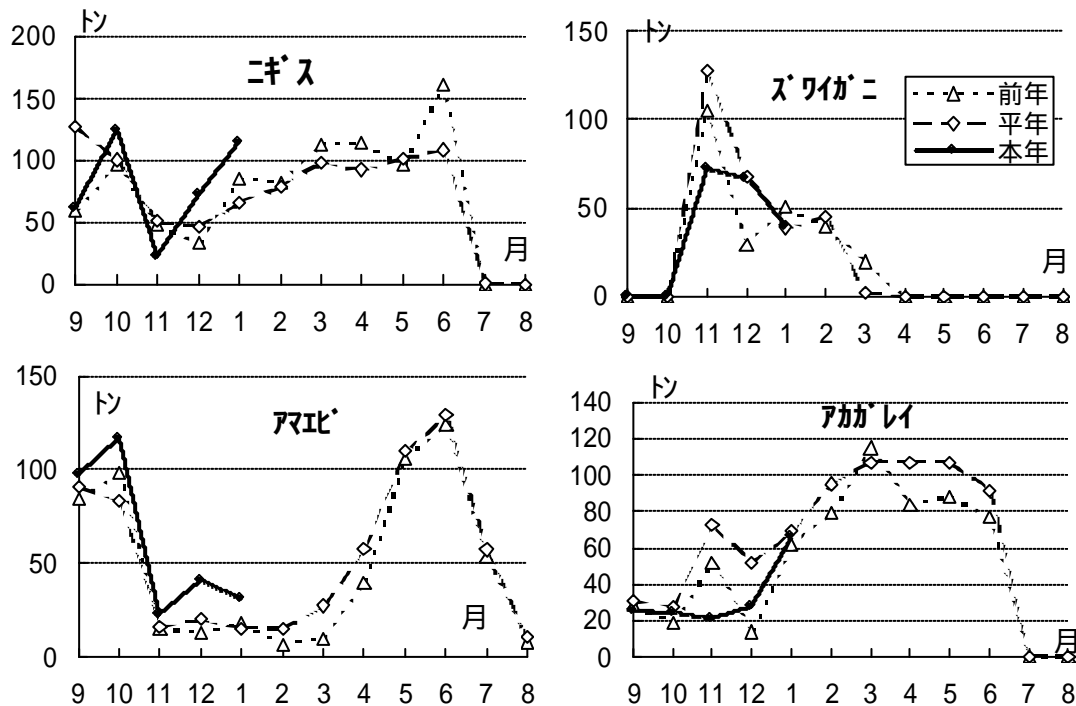


定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

底びき網漁業

	1月漁獲量(トン)			累計漁獲量(9月より)	
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)
延隻数	1,084	1,084	848	6,239	6,437
ニギス	114	85	66	393	392
アカガレイ	65	61	69	162	252
アソコウ	45	29	15	253	195
ズワイガニ	40	51	39	178	234
アマビ	31	18	15	307	225
ホタルイカ	26	8	9	27	10
ガスイ	24	22	18	63	72
ミスガニ	16	14	11	20	16
ハタハタ	13	78	48	148	91
ソウハチ	9	5	7	22	35
ヤリイカ	8	5	7	55	95
マダラ	8	15	8	27	30
ヒレグロ	7	13	7	30	33
ヤキムシガレイ	7	3	3	71	56
マガレイ	6	3	2	67	54
コウバコ	6	12	5	176	159
ムシガレイ	5	2	2	58	55
カニ類	4	5	2	16	9
ホッケ	3	0	2	144	45
ウマヅラハキ	3	3	5	9	28
その他	64	59	58	365	443
合計	503	492	398	2,592	2,533
1隻当たり	0.46	0.45	0.47	0.42	0.39

平年値は過去10年平均



底びき網における主要魚種別漁獲量の経月変化

まき網漁業

	1月漁獲量(トン)			累計漁獲量(1月より)	
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)
延隻数	44	53	35	44	35
マハ	121	1,112	867	121	867
マヅ	105	244	231	105	231
その他	21	12	138	21	138
合計	247	1,368	1,236	247	1,236
1隻当たり	6	26	35	6	35

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	1月漁獲量(トン)			累計漁獲量(1月より)	
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)
刺網漁業					
延隻数	1,635	1,597	1,333	1,635	1,333
マダラ	48	127	27	48	27
ウマヅラハキ	19	19	7	19	7
アカガレイ	13	11	11	13	11
ガンド	9	24	12	9	12
フケキ	7	26	26	7	26
アソコウ	4	8	16	4	16
ミダコ	4	3	6	4	6
ハツメ	3	3	2	3	2
マダコ	2	1	2	2	2
サガエ	2	1	1	2	1
メダイ	2	5	8	2	8
その他	20	30	20	20	20
合計	132	258	138	132	138
1隻当たり	0.08	0.16	0.10	0.08	0.10
釣り					
延隻数	485	449	461	485	461
マダラ	1	14	9	1	9
メダイ	1	0	0	1	0
メダイ	1	1	0	1	0
ウズバル	1	1	1	1	1
ヤリカ	1	0	0	1	0
キダイ	1	0	0	1	0
その他	6	5	10	6	10
合計	11	22	20	11	20
1隻当たり	0.02	0.05	0.04	0.02	0.04
イカ釣り(小型)					
延隻数	40	54	40	40	40
メカ	17	10	16	17	16
1隻当たり	0.43	0.18	0.39	0.43	0.39

表(比率)の見方

~ 50%
51 ~ 83%
84 ~ 119%

120 ~ 199%
200 ~ 299%
300 ~



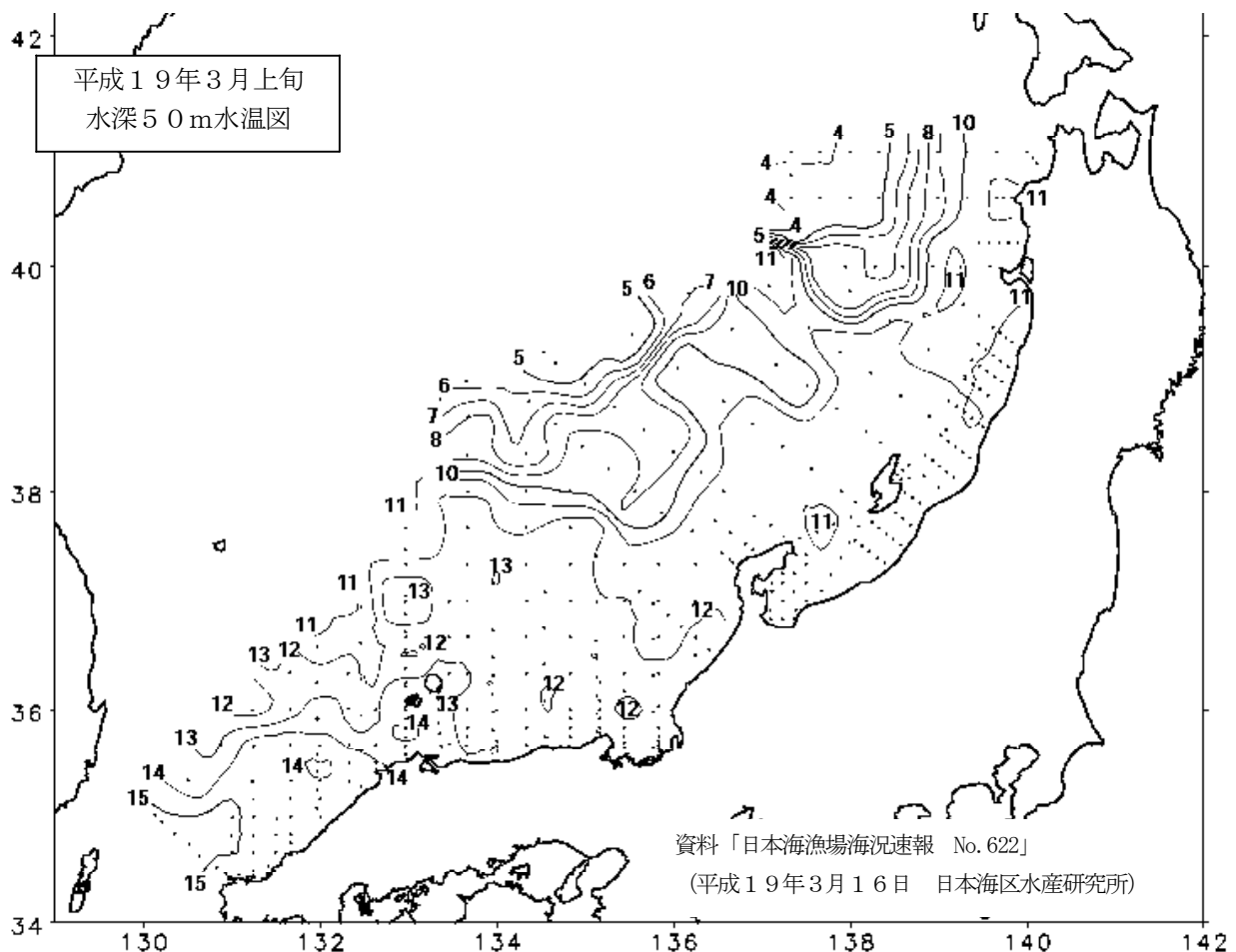
本県周辺海域の水深50m水温は、加賀沖・能登半島沖・富山湾のいずれの海域においても“やや高め”から“かなり高め”。

定置網ではブリ・フクラギが平年をかなり上回り、スルメイカが平年をかなり下回った。

底びき網ではアカガレイ・ニギスが平年並み、アンコウが平年をかなり上回った。

1 水温の状況 — 3月定線観測結果 —

- (1) 本県周辺の水深50m水温は11～12℃台を示し、加賀沖・能登半島沖・富山湾では、いずれも“やや高め”から“かなり高め”(1～2℃高め)の水温分布を示しています。
- (2) 表面水温は11～12℃台を示し、加賀沖から能登半島沖にかけての海域では“かなり高め”から“はなはだ高め”(1～2℃高め)、富山湾では“はなはだ高め”(1～2℃高め)の水温分布を示しています。
- (3) 若狭沖の冷水域の張り出しは、能登半島からやや離れています。
- (4) 佐渡沖の冷水域の張り出しは、能登半島からやや離れています。
- (5) 対馬暖流域全体の水深50m水温分布を見ると、日本海西部・北部とも“かなり高め”から“はなはだ高め”の海域が広がっていますが、能登半島北西沖合から大和堆周辺にかけての海域は“平年並み”から“やや低め”となっています。



2 漁獲の動向 — 2月の漁獲量から —

【定置網】

主要10港合計は**675トン**で、**平年（過去10か年の平均）並みの漁獲量**でした。
 最も多く漁獲された魚種はカタクチイワシで140トンと平年をかなり上回り、11月以降、好漁が続いています。
 ブリは105トン、フクラギは128トンで平年をかなり上回りました。能都支所では2月下旬に5～6キロ台サイズ主体でまとまった水揚げがありました。
 スルメイカは51トンで平年をかなり下回りました。

【底びき網】

主要10港合計は**597トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。
 最も多く漁獲された魚種はアカガレイで91トンと平年並みでした。
 ニギスは89トンで平年並みでした。
 アンコウは64トンで平年をかなり上回りました。

【まき網】

主要10港合計は**504トン**で、**平年をかなり下回る漁獲量**でした。
 最も多く漁獲された魚種はブリで334トンと平年をかなり上回りました。
 マサバは114トンで平年をかなり下回りました。

【刺網】

主要10港合計は**222トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。
 最も多く漁獲された魚種はフクラギで118トンと平年をやや上回りました。
 マダラは25トンで平年並みでした。
 アカガレイは15トンで平年並みでした。

【釣り】

釣りの主要10港合計は**13トン**で、**平年並みの漁獲量**でした。
 最も多く漁獲された魚種はウスメバルで2トンと平年をかなり下回りました。
いか釣り（小型）の主要10港合計は**23トン**で、**平年をやや上回る漁獲量**でした。

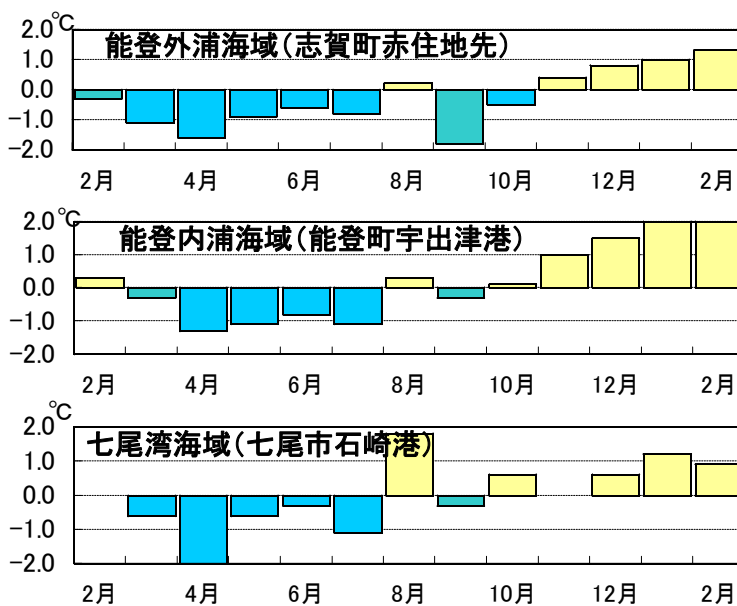
冬季の地先水温について

今冬は気温が高く、地先水温も平年と比べかなり高めで推移しています。

県内各地先における2月の月平均水温は以下のとおりです。

- ・ 志賀町赤住地先 10.6℃（平年差+1.3℃）
- ・ 能登町宇出津港 12.2℃（平年差+2.0℃）
- ・ 七尾市石崎港 9.0℃（平年差+0.9℃）

志賀町・能登町では1月に続きかなり高め、七尾市では1月に比べ平年との差は縮まりやや高めでした。



石川県沿岸における地先水温の平年差
（平成18年2月～19年2月）

漁獲量統計 (橋立港、金沢港、富来港、輪島港、蛸島港、鶴飼港、松波港、宇出津港、七尾地区)

定置網漁業

	2月漁獲量 (トン)			累計漁獲量 (9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延統数	1,174	1,190 →	1,363 →	8,092	9,518 →	
カタクチイシ	140	16 △△△	70 △△	1,734	277 △△△	
フクラギ	128	2 △△△	10 △△△	879	615 △	
ブリ	105	21 △△△	19 △△△	622	309 △△	
マアジ	93	142 ▼	82 →	650	872 ▼	
スルメイカ	51	401 ▼▼	193 ▼▼	94	390 ▼▼	
マサバ	48	4 △△△	43 →	361	240 △	
ヤリイカ	25	6 △△△	16 △	84	36 △△	
ウルメイワシ	12	9 △	100 ▼▼	45	200 ▼▼	
ウマヅラハギ	11	26 ▼▼	59 ▼▼	136	538 ▼▼	
メジ	7	12 ▼	4 △	41	67 ▼	
マイワシ	6	0 △△△	75 ▼▼	24	151 ▼▼	
マダラ	4	8 ▼	6 ▼	5	7 ▼	
アンコウ	4	6 ▼	4 →	7	9 →	
ミスダコ	2	2 →	4 ▼	4	7 ▼	
サワラ	1	2 →	1 △	468	111 △△△	
その他	40	123 ▼▼	90 ▼▼	2,059	1,885 →	
合計	675	778 →	777 →	7,214	5,714 △	
1隻当たり	0.57	0.65 →	0.57 →	0.89	0.60 △	

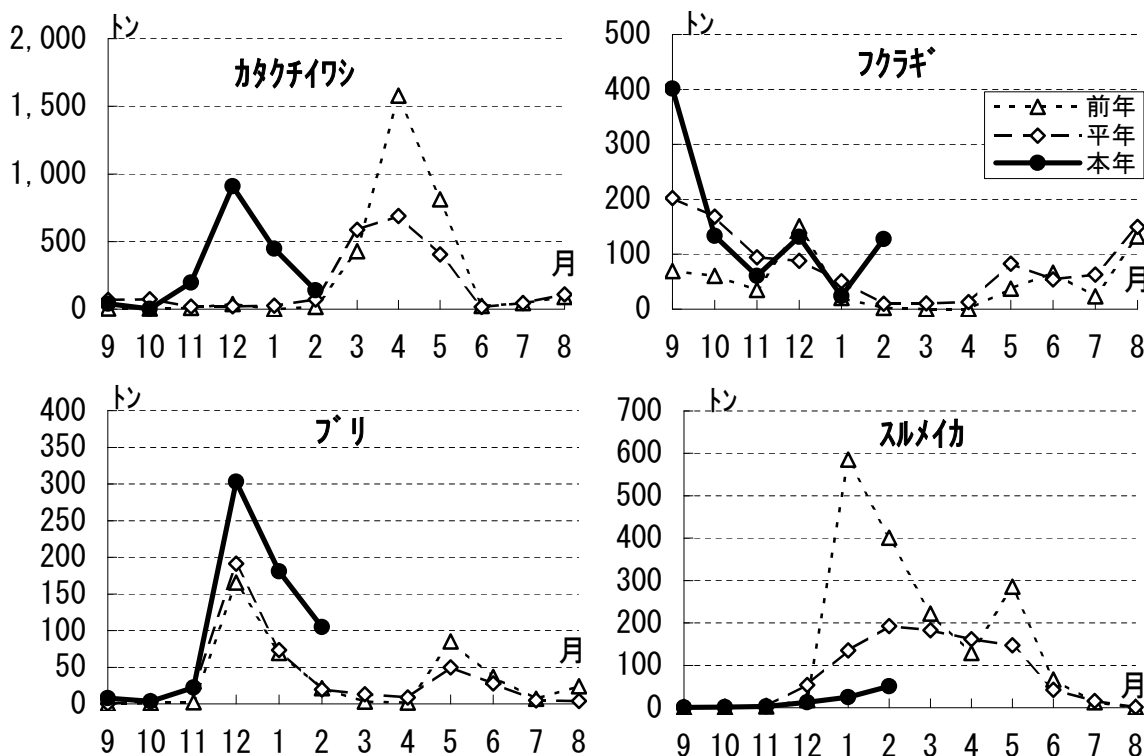
平年値は過去10年平均

他府県漁獲状況 (2月：定置網)

単位：トン

	フクラギ	アジ類	カタクチイシ	スルメイカ	ブリ、ガント	サワラ	ヤリイカ	マサバ
舞鶴	0.0	103.3	35.4	0.1	7.3	23.6	7.6	1.4
氷見	176.7	55.3	37.8	60.5	31.6	0.0	11.4	13.7

各府県水試調べによる (速報値)

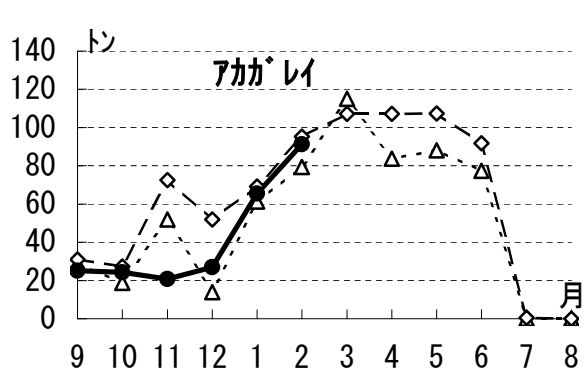
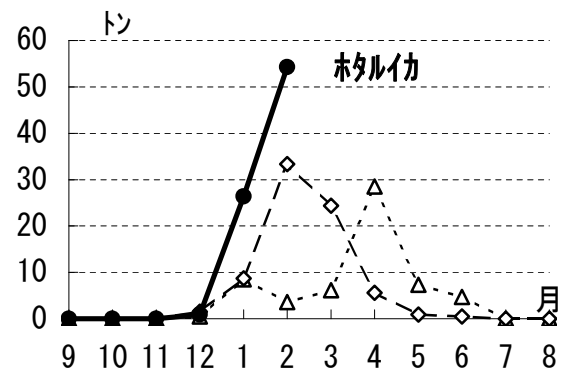
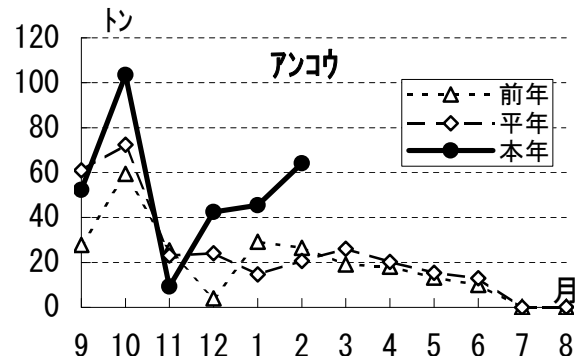
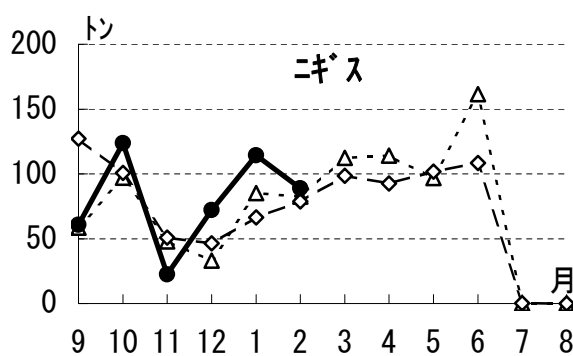


定置網における主要魚種別漁獲量の経月変化

底びき網漁業

	2月漁獲量 (トン)				累計漁獲量 (9月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)		
延隻数	1,404	1,025 △	1,141 △	7,643	7,578 →		
アカガレイ	91	79 →	95 →	254	347 ▼		
ニギス	89	82 →	79 →	482	470 →		
アンコウ	64	27 △△	21 △△△	317	216 △		
ホタルイカ	54	4 △△△	33 △	82	44 △		
ズワイガニ	44	40 →	45 →	222	280 ▼		
ハタハタ	40	192 ▼▼	124 ▼▼	189	215 →		
アマエビ	33	7 △△△	15 △△	340	240 △		
ガスエビ	20	15 △	17 →	83	90 →		
ミスガニ	13	14 →	16 ▼	34	32 →		
ソウハチ	10	7 △	10 →	32	46 ▼		
ヒレグロ	10	11 →	9 →	40	42 →		
ヤナギムシガレイ	8	9 →	6 △	80	62 △		
マダラ	8	6 △	8 →	34	38 →		
ムシガレイ	8	4 △	4 △	65	59 →		
ホッケ	5	1 △△△	11 ▼▼	149	57 △△		
マガレイ	5	4 →	5 →	71	60 →		
ウマヅラハギ	3	3 ▼	4 ▼	12	32 ▼▼		
カニ類	3	2 →	2 →	19	12 △		
ヒラメ	2	2 →	2 △	7	6 →		
アカムツ	2	0 △△△	1 △△△	19	9 △△		
その他	84	64 △	91 →	659	776 →		
合計	597	575 →	598 →	3,189	3,131 →		
1隻当たり	0.42	0.56 ▼	0.52 ▼	0.42	0.41 →		

平年値は過去10年平均



底びき網における主要魚種別漁獲量の経月変化

まき網漁業

	2月漁獲量(トン)			累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
延隻数	43	64 ▼	43 →	87	79 →	
ブリ	334	4 △△△	3 △△△	334	3 △△△	
マサバ	114	58 △	646 ▼▼	235	1,513 ▼▼	
マヅ	40	354 ▼▼	466 ▼▼	145	697 ▼▼	
フクラギ	10	32 ▼▼	10 →	30	24 △	
かたぢイワシ	3	0 --	5 ▼	3	5 ▼	
その他	56	462 ▼▼	1,049 ▼▼	183	1,417 ▼▼	
合計	504	524 →	1,698 ▼▼	751	2,934 ▼▼	
1隻当たり	12	8 △	39 ▼▼	9	37 ▼▼	

平年値は過去10年平均

その他の漁業

	2月漁獲量(トン)			累計漁獲量(1月より)		
	本年	前年 (比率)	平年 (比率)	本年	平年 (比率)	
刺網漁業						
延隻数	1,954	1,887 →	1,961 →	3,589	3,294 →	
フクラギ	118	80 △	70 △	125	96 △	
マダラ	25	26 →	25 →	73	52 △	
アカガレイ	15	18 →	15 →	28	26 →	
ハツメ	12	8 △	9 △	15	11 △	
メダイ	5	5 →	16 ▼▼	7	24 ▼▼	
ウマヅラハギ	4	4 →	3 →	22	10 △△	
アカムツ	4	2 △△	1 △△△	4	1 △△△	
ミスダコ	3	3 →	6 ▼	7	11 ▼	
マガレイ	3	3 →	5 ▼	3	5 ▼	
マヅ	2	4 ▼	2 △	3	3 →	
メダイ	2	3 ▼	2 →	3	3 →	
その他	30	44 ▼	51 ▼	63	99 ▼	
合計	222	199 →	205 →	354	343 →	
1隻当たり	0.11	0.11 →	0.10 →	0.10	0.10 →	
釣り						
延隻数	447	397 →	473 →	932	934 →	
ウスマル	2	2 →	4 ▼▼	3	6 ▼▼	
トラフグ	1	0 △△	0 △△	2	1 △△	
マダラ	1	0 △△△	0 △	2	9 ▼▼	
その他	10	8 △	7 △	18	17 →	
合計	13	11 △	12 →	24	32 ▼	
1隻当たり	0.03	0.03 →	0.03 →	0.03	0.03 ▼	
イカ釣り(小型)						
延隻数	33	73 ▼▼	69 ▼▼	73	109 ▼	
スルメイカ	23	11 △△	18 △	40	34 →	
1隻当たり	0.71	0.15 △△△	0.27 △△	0.55	0.31 △	

※表(比率)の見方

▼▼ ~ 50% △ 120~199%
 ▼ 51~ 83% △△ 200~299%
 → 84~119% △△△ 300~